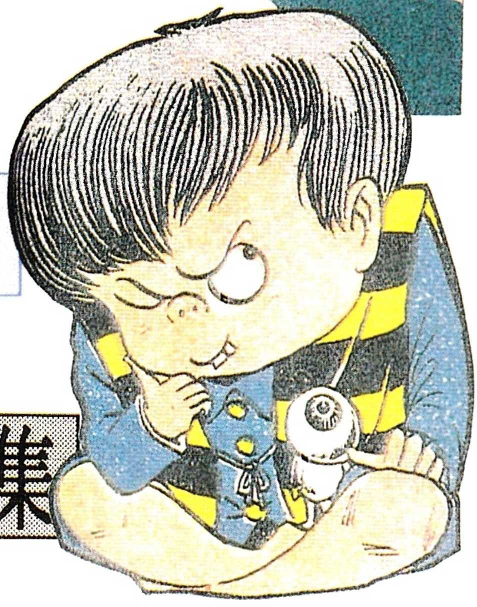
フハッ

第41号



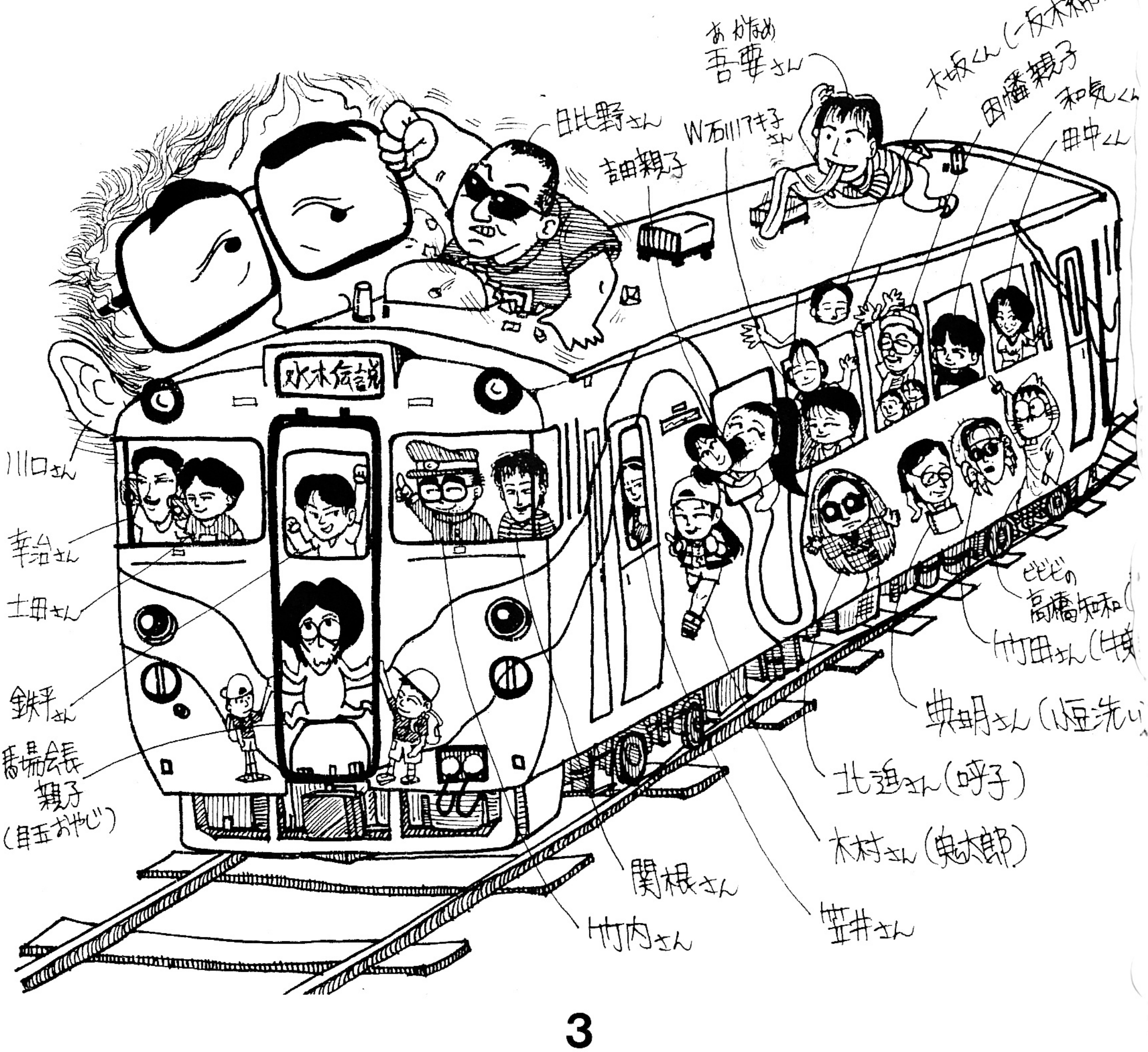
● 鬼太郎マルチ特集！



● GEGEGE TOUR '97 特集

● T・カード「妖怪伝」特集

GEGEGE TOUR '97 特集



●GEGEGE TOUR '97《特別編》 参加者一覧●

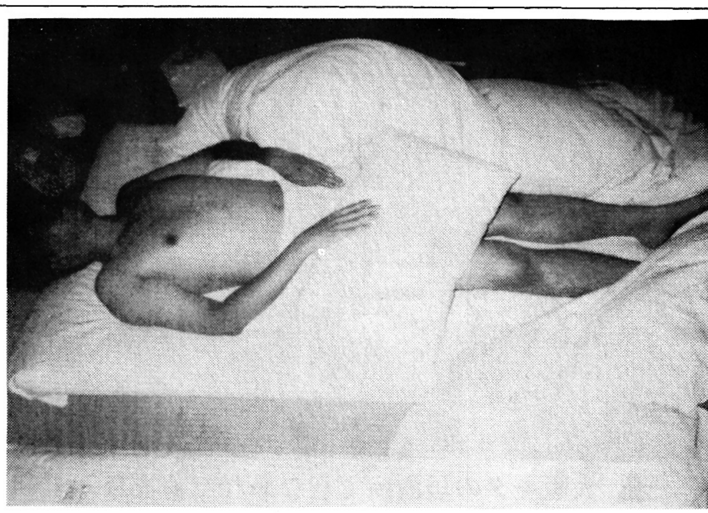
馬場　茂幸	☞（兵庫県神戸市）	今年10周年を迎えた水木伝説の会長。昨年はバスの中で隣の客にコーヒーを溢し、今年は境港行きの列車に乗り遅れるという大失態をやらかす。
馬場　大輔	☞（兵庫県神戸市）	会長の長男、今年12歳である。会員の幸治氏に大変懐いており、そのお陰で列車に乗り遅れずにすんだ。
馬場　友英	☞（兵庫県神戸市）	会長の次男、今年９歳である。盛り上がる『妖怪伝』カード交換会に夜中の１時半に付き合い現在不良になっている？
北迫　耕治	☞（兵庫県西宮市）	水伝の運営に10年間携わっている副会長。会長不在の時には指揮をとり、トレーディングカードを販売しツアーを盛り上げる。
米吉　和久	☞（兵庫県川西市）	夏のイベントには欠かせない男も今回は諸事情でツアーには参加出来ず。しかし、前夜祭と大阪でのバスお見送りには出席したため参加者とみなす。
吉田　温代	☞（兵庫県西宮市）	前回もそうであったが、この人無しではこのツアーも開催出来なかっただろう。参加申込みの手続きからバスと「夢みなと博」のチケット購入。影の功労者。
吉田　良恵	☞（兵庫県西宮市）	影の功労者の娘。ツアー参加時は中３で受験前なのに遊んでいて大丈夫？でも今年のツアーが一番良かったって言ってましたよ！
栗本　典明	☞（和歌山県有田郡）	御存知「豆本男」　今年は前夜祭から最後の最後までイベントに４日間も参加！参加者最年長なのに疲れませんでした？
竹田　勝二	☞（京都府京都市）	♪貴方のお名前なんて～の「竹田勝二と申します」…そろばん持てばトニー谷に似ていると思っているのは私だけか？
川口　彰敬	☞（大阪府大阪市）	第２回のイベント以外は全てのイベントに参加。オークションでは大変元気な彼も水伝イベントの顔ですよね？顔！
笠井友紀子	☞（香川県大川郡）	何度目の参加ですか？本当に良くイベントに参加してくれる水伝ギャル西の横綱ってところでしょうか？今回は良恵ちゃんと鬼太郎のプリクラ写せてラッキー。
木村　香織	☞（神奈川県横浜市）	笠井さんが西の横綱なら東の横綱は彼女でしょうか？水伝イーストのスタッフ。アミーゴのスタッフと忙しそうですが実はアミーゴの会長の座を狙っている。
土田　重之	☞（神奈川県川崎市）	仕事の都合で今年も途中参加となりましたがハンディカメラで押さえるところは押さえているしっかりもの。これからも頼みまっせ！
竹内　　丈	☞（鳥取県境港市）	第１回のイベントから殆どのイベントに参加している超常連。開催場所の地元出身ということで、案内やオークションの荷物運びなどがんばってくれた。
幸治　　亮	☞（東京都品川区）	昨年は兄貴の結婚式で参加できなかったが、今回は仕事をさぼって参加。社会人の鏡です。しかし、全裸で寝るのはやめてくれ！（私と同室でした。）
関根　　剛	☞（東京都世田谷区）	昨年に引き続き２度目の参加！今年は前夜祭にも参加してくれて「アッ」と驚く自慢の御宝を披露し他の参加者を驚かせる。さて、御宝とは何でしょう？
高橋　知和	☞（神奈川県相模原市）	前会長大西いずるに良く似ていると噂の現役大学生。今年も手作りのゲームを持参してイベントを盛り上げた。ビビビのビン
石川　明子	☞（大阪府大阪市）	初参加の時は、恥ずかしくて他の参加者とお話できなかったが、今ではすっかりとけこんでいます。人見知りをしなくなったのが水伝のお陰なら会長は本当にうれしいぞ。
石川　顕子	☞（奈良県大和郡山市）	４年前から「行きたい行きたい」と思っていたイベントに初めて参加できた。夢みなと博の「鬼太郎シアター」の不出来に切れかかる。
和気　雅俊	☞（東京都日野市）	イベント名物「三馬鹿カラス」の一人。今年は仲間のナベ＆クロが不参加だったため、やたらおとなしかった。会長に愛されていると嘆く。
大阪　貴広	☞（新潟県新潟市）	「三馬鹿カラス」の三人とは同い年だが、一切彼らの悪行に加わらないマイペース男。本当におとなしい方で、今年も遠方よりの参加でドラコン賞を受賞。
因幡　秀幸	☞（愛知県名古屋市）	昨年に続き、今年は家族で参加。名古屋で開催された「妖怪スタンプラリー」の終了証書を水伝に進呈。この業績が評価され、今回の水伝ＭＶＰ大賞を受賞する。
因幡しのぶ	☞（愛知県名古屋市）	御世辞抜きで、本当に美しい因幡さんの奥様。宿舎での食事の時等、目に見えないところで本当に頑張ってくれました。帰りのバス内で、70年代ヒーローの話で盛り上がる。
因幡　啓太	☞（愛知県名古屋市）	昨年はお父さんと一緒に「スタンプラリー」を完遂する５歳の子。会長の友くんと仲良くなり本当に楽しそうでした。
糸永　正明	☞（大阪府東大阪市）	御存知「あかなめ」。昨年に続き、今年も幸治氏と一緒にスタッフのおもちゃにされていた。寝起きが良いらしく、同室の者たちの顔を「ペロリ」と嘗めて起こしたそうな。
原嶋　秀行	☞（東京都中野区）	初じめてのイベントに張り切り過ぎて、前日から集合場所に泊込んでいた。（んな、アホな）男前の多い水伝の中でも特にカッコイイ男前である。
日比野聖巳	☞（東京都町田市）	今年の新人は元気がいい。彼も張り切り過ぎて、前日から集合場所に待っていた。プロレスラーを思わせるビルドアップされた肉体で、会長から「天山」というあだ名をもらう。
田中	☞（神奈川県相模原市）	会員ではないが、~~大西~~高橋の紹介で参加。会員の紹介で参加した奴には、ろくなのがいないが彼は例外でおとなしくしていた。



☝ 宿泊先『まつかぜ荘』のロビーに集合した夜遊び組。

インデックス

☞ 裸で寝るなよ！



8月14日前夜祭について

副会長　米吉　和久

　8月14日、愛娘を早めに風呂に入れ、PM8：58の電車で大阪駅に向かう。昨年から鳥取県は水木先生の故郷である境港市でイベントが開催されているので、遠方から参加する人の事を考え、大阪はキタのビジネスホテルを利用するようになったので、翌朝までの空き時間を利用し、前夜祭と銘うって、そのビジネスホテルの近く居酒屋で大宴会を催すことになった。昨年は初めての事もあり、盛り上げには欠けたらしい。そんな話を会長からお聞きしていたので、今回はどうかなと思い、大阪駅の改札口を出た。

　集合場所に行くと、**会長**を始め、**高橋君**、**糸永あかなめ師匠**と顔は覚えていたけれど名前を忘れていた**関根君**、そして高橋君の友人の**田中君**がもうすでに集合していた。失礼な事を書くが、今回の前夜祭組で**覚えていたのは**糸永あかなめ師匠と会長くらいで、残りの方々は誰が誰だかで、**高橋君**などは2年前に比べてすっかり大人であり、大学生という感じがぷんぷんと漂っていた。糸永君は変わらず、しかし、話はやっぱり落語会。オモシロイ。自分が少し老けたのかと思った。

　そこへ、**原嶋君**と**栗本氏**がきて、前夜祭集合が完了した。まずは、ビジネスホテル関西へチエックイン。そして、前夜祭の会場となる居酒屋へGO!

　乾杯が会長の音頭で終わると、すでに全員の気分は最高潮に達している。会話はというと、水木マンガの事や霊体験、果ては下半身の事などチャンポン状態。今年参加できない私には、その居酒屋の我等水伝のテーブルが、まつかぜ荘の一室になったようで、前夜祭なのにサマーイベントに行ってきたみたいであった。惜しむらくは、時間がもっとあれば…というゼイタクな注文が頭にあった。

（サマーイベントに参加してもそうだ）

　会長と私は電車の都合で先に失敬したが、その続きはどんな風景なんだろうと思う。

関西の方で、イベントには参加できなくとも、私のようにイベントに参加した疑似体験ができるので、ヒマと時間にゆとりのある人は、出発前のハイテンションをさらに上げる為、前夜祭にふるって参加しよう。

遠方からの初参加の人、不安な気持ちで集合場所に来るより、前夜祭で、いろいろ不安な気持ちをとりのぞこう。

次の日には、すっかり十数年来の友達気分で、イベントが増々楽しくなるのである。

「夏」といえば思い出すのが、恒例の『水木伝説サマーイベント』。昨年のイベント終了時点で「来年はどんな人が参加するのカナー。」と今年の事を想像しながら帰路についたのだが…。

　今年といっても昨年末、我が家に一人の家族が増えた。妻にそのことが解った時点で『来年のサマーイベントの参加禁止令』が発令されていた。他の家はどうか知らないが、仕事で疲れている夫の唯一の楽しみをとるなんてと思いつつ、参加申し込みギリギリまで、妻と「行くや行かんや」で大ゲンカをしていたのも事実。仕事柄、いろいろと現場を行くのでウソついて会社のトラックで境港市まで行ったろかと先月まで考えていたのも事実。

　経験者ならご存知だと思うが、サマー



▲ 大阪キタの居酒屋で行なわれた前夜祭

イベントを一回でも抜けると翌年には意味不明の事だらけ。サマーイベントは、実像版冒険大活劇であり、再放送は絶対出来ない『遊星より愛をこめて』と『狂鬼人間』と『恐怖奇形人間』よりスゴイ内容なのだ。

だから、私のような安月給のサラリーマンにとって、一種のストレス発散場所がサマーイベントなのだといっても、それが妻には理解できないというのだ。私はだから最近、『ウルトラQ』の第28話「あけてくれ」の異次元列車に乗車したサラリーマンの気持ちが理解できるようになった。それはそれとして妻にも言い分はあるだろう。それも私は理解している。私なりに。

しかし、サマーイベントを私から取り上げるなんて、ヒドイの一言。ああ、参加できる人がウラヤマシイ。だから先月くらいから、妻のいうことは聞かないようにしている。「せん」と「りつ」の様にガミガミといわれ、うわの空でそれを聞いている中村主水のように。それに最近、愛娘も我々の言葉が理解できるようになってきたので『ウルトラマンティガ』を絶対見せるようにしている。「ティガ」が登場したら、その小さな手をたたいて喜んでいる。「ウルトラ」づけに成功しつつある。それが成功したら、今度は『水木しげる』づけにして「鬼太郎」づけにし、「妖怪」づけにするつもりである。風呂で愛娘によく歌うのが『カランコロンの歌』である。

と、ほとんどサマーイベントと関係ない事が続いたが、私に代わって遂に念願が叶ってサマーイベントに参加する**文月さん**、多いに楽しんできて、その感想を聞かせて下さい。親子で参加の**因幡さん**、私もイベントが続くのであれば、いつか親子で参加しまっせ！**あかなめ師匠**、来年は座布団を十枚とりまっせ。**大坂君**、元気でハリキッて。**でえもん氏**とは会いたかった。**コージ**、手数をかけるがビデオよろしく！**吉田さん**、女性会員の事、たのんまっせ。**他の参加者のみなさん**、サマーイベントを多いに盛り上げたってや。**川口さん**、私はあなたの「テイガ」感を聞いてみたかった。**馬場さん**、どうか無事にサマーイベントを完遂して下さい。今年は手伝いが出来ないですが、来年はどんな手段を使ってでも絶対参加します。来年は今年の分も含めて「河童のとむらい合戦や。」

どうか参加者のみなさん、イベント感想文をどしどし書いて、当日の事や近況を教えて下さい。今年行けなかった人の為に、そのオモシロさを伝えて下さい。水伝では他にもイベントを続々企画中にといっていたら会報や会誌の発行が遅れますので、どうか今イベントのエピソードを読んで行った気分になりますので。どうかヨロシク。

尚、ここまで書きましたが、家庭円満ですので、この文章の冒頭は、あくまでもフィクションです。また変な文章なので没になりそうです。皆さんのご無事、祈っております。



▲NO. 275 原嶋 秀行

山陰・夢みなと博覧会

珍品 逸品 情報

**鳥取県・境港市で開催される
この夏のビッグイベントと言えば、
「山陰・夢みなと博覧会」
中国、韓国、ロシア、モンゴルの人々が、
日本の私たちと、日本海を通じて、
もっともっと交流を深めようと、
貴重な文化遺産や伝統芸能などをドドーンと
披露してくれます 今回は、
そんな「夢みなと博」だからこそ集まった
「珍品・逸品」の数々を、開幕に先がけ
ダイジェスト版でお目にかけます**

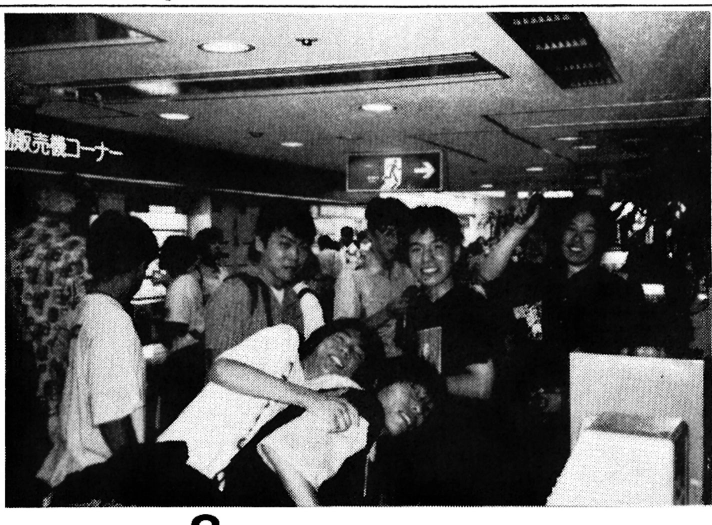




今年のイベントは昨年より楽しい思い出になりました。

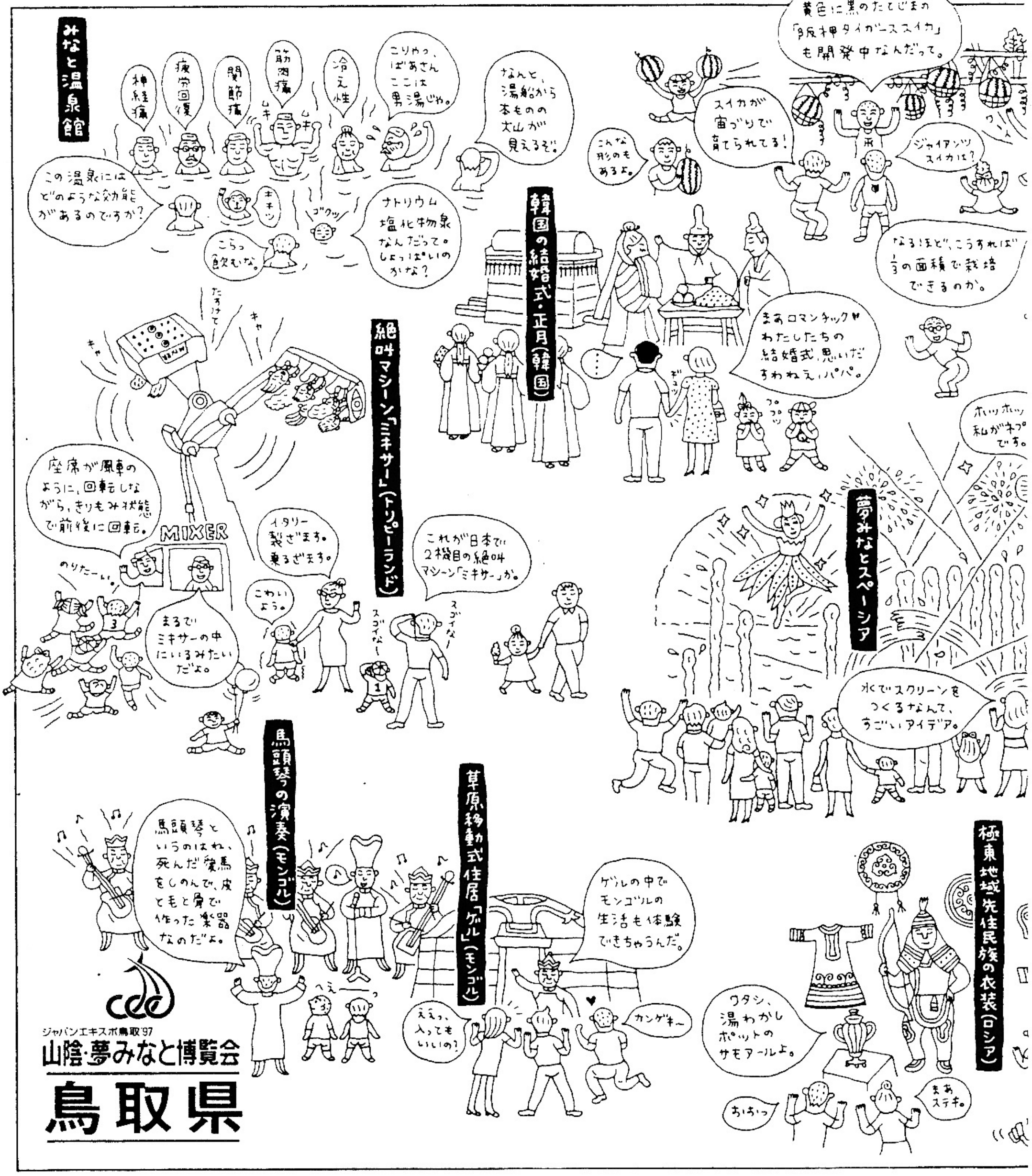
水木ロードでは、なかった店とみやげがふえてたりしてよかったし、民宿も夕食の品数がふえていたりと、うれしいことつづき。

オークションでは何も買いませんでしたが、**水伝10周年記念Tシャツ**を買えたことはよかった。アッキーと同じように手をあげて同じ言葉をいった時は自分でおかしかったです。



◀出発前にはしゃぐ男性陣。大阪・梅田バスターミナルにて。

▶朝日新聞



NO.141 石川明子

▶

2日目の夢みなと博も、1番の目玉だという「鬼太郎ワンダーシアター」を。待ち時間100分もなんのその、たくさんの仲間とワイワイならんでいると、それはそれでたのしかった。

今までは話さなかった人と話せたことは、私にとっては大事件です。

「世界妖怪会議」もねむかったですが、水木センセに今年もお会いできたことに感謝です。お元気そうで…。かっこいい京極氏の顔がスクリーンにうつるたびにフラッシュがひかるのにはまいった。

「憂歌団」のライブは、ちょっとみなかったのですが、外にまで熱気がつたわってました。

会場をすべてみてまわるのは大変です。すっかりやけてしまい健康そのものとなりました。

今年鳥取にきて思ったこと。それはスタッフの方たちのやさしさと、参加したすべての人がとてもいい人たちばかりで、感動しました。これも会長の馬場さんの人柄によるものでしょうか。水伝に入ってよかったと心から思いました。

来年もイベントしてくださいね。そしてあたたかいスタッフの人たちと一緒にすごしたいです。

どうもありがとうございました。

アッキーへ。
たのしかった？参加できてよかったね。べんきょう、がんばって。よしえちゃんもね。

水木伝説 サマーイベント，97リポート
「世界妖怪会議2」

副会長　北迫耕治

今年も8月15・16日と水木ファンの聖地、鳥取は境港で25名の水伝会員と一緒に無事楽しんできました。
今回は私、妖怪伝カード集めにはまっている北迫が感想をかきます。

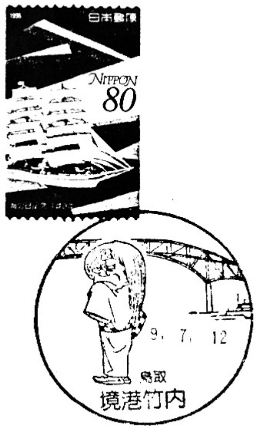
「山陰・境港」へようこそ



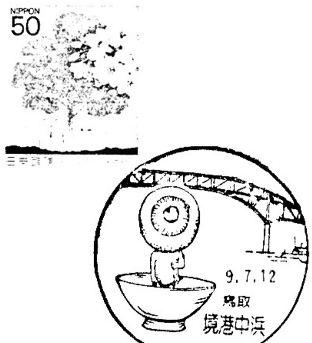
（一反木綿）



（児啼爺）



（砂かけ婆）



（目玉おやじ）

8月15日

※残念なことに今回は**瀬戸・米吉**両氏が不参加！！

米吉君は梅田のバス乗り場まで見送りに来てくれましたが、さみしそうでした。来年はぜったいに一緒に行きましょう！！（第3回世界妖怪会議は東京でしたっけ広島でしたっけ？）

米子行きのバスが2時間遅れで到着、6時間で腰に爆弾を抱えている私はフラフラになりましたよ本当！2時間のロスタイムのせいで水木ロードに早く行きたい私たちは、米子駅に大変な忘れ物をしてしまいました。そうです。水伝のつげ義春**馬場会長**を一人駅にのこしてきたのです。

それでも境港駅に着くと全員水木グッズを買いに走る走る。そういう私も、大量に買いました。以下リスト。

砂かけ婆・こなき爺の酒ボトル各1個・ねずみ男センヌキ・妖怪ポスト貯金箱・鬼太郎絵皿・センス・提灯・テレカ

と買ってしまいました。すみません会長。

しかし、水木ロードも人波ができるほどになりましたね〜。3年前はどこに行ってもガラガラだったのに、村おこし大成功ですよね。

あと毎年買えなかった郵便局のスタンプ、今年は平日だったのでやっとゲットできました。

夕食時の恒例のオークションはおもしろかったですね。水伝のオークションはお金よりもジャンケンの強い人が有利ですね。**日比野さん**？

あと部屋に帰っての妖怪伝カードの交換会&販売すごいですね。東京の**土田さん**、**原嶋さん**などはもう2／3位集めてましたね。すごいですよ。みんなガンバッテ、コンプリートめざしましょう。年末にはPart2の西洋妖怪編とカードのバインダーがでますので今からお金をためましょう。

▼妖怪伝カード



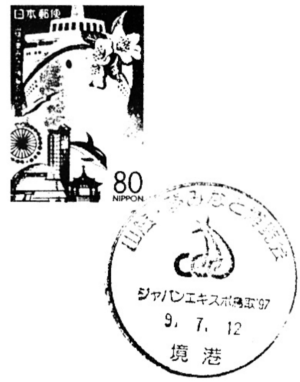


▶水木ロードにある郵便局で売っている切手&日付印集。今年はみなと博開催記念日付印も入っていました。

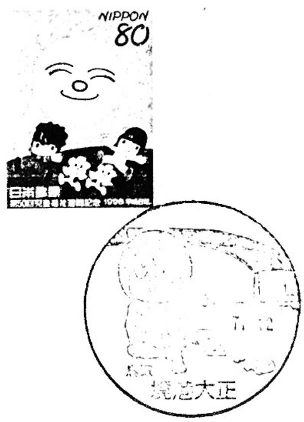
緑と文化のまち

水木しげるロード

境港市出身の漫画家・水木しげるさんの描くゲゲゲの鬼太郎、ネズミ男など妖怪たち80体のブロンズ像が並んでいる楽しい通りです。



山陰・夢みなと博



（鬼太郎）



（ねずみ男）

8月16日

※夢みなと博で2時間半並んで観た鬼太郎ワンダーシアター、並ぶんじゃなかったかな〜。（でもカードをもらったのでよしとしよう）

順番で二人づつショップなどで水木グッズを探していて、鬼太郎の張り子の面を発見。私と土田君は最後の2個を入手できましたが、どうもある人たちがほとんど買ってしまったみたいであまり残っていませんでした。残念！

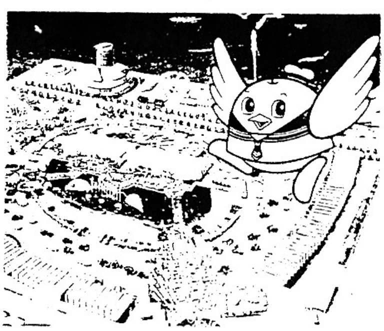
世界妖怪会議も2時間ぐらい並んですわって話を聞けてよかったです。私と会長は用事ではやくに帰りましたが、またまたバスが渋滞で8時間のドライブ。はじめから終わりまで腰の痛いサマーイベントでした。でも最高に楽しかったです。来年もぜひ会いたいです。

ありがとうございました。

11月23日は東京で水木伝説カードゲーム大会をやりますので関東の水伝会員のみんなきてください。

夢みなと博覧会

■97.7/12⇒9/28　主催：山陰・夢みなと博覧会協会



水木ロードにて。会長と文月さん。▶



▲この二人できてるってウワサ?!
いえいえ、そんなコトないですよ。

こんにちは。水木伝説のみなさん元気ですか？ＧＥＧＥＧＥ　ＴＯＵＲ　'９７という事で今回初めて参加させてもらいました。いやー良かったですねェ。えっ、なにがって？それはやっぱり僕が初参加にもかかわらず、水木伝説のみなさん全員がめちゃめちゃいい人達ばかりだったという事が、まず１番かナ。「あっ、君よくまんだらけにきてるでしょ。」とか言われたりして、みんなも行ってますねえ。

夜の**オークション**も盛り上がりました。最後はジャンケンで…。みたいになって必ず負けたり…。

あと**トレーデイングカード**は深夜まで、みんなでトレードしっぱなし。あのカードなかなか揃わないんですよ。僕が調べたところ、何十枚、何百枚に一枚しか入れないカードがいくつもあると思います。したがって全種類を一人で集めると、集まる頃にはウン万円位かかってしまいます。たとえば全部揃った！と思ってもう一度見てみると、同じカードがあったりして、番号がふってないのでひと苦労ですよ。そして売られている３２２枚に非売品の２枚プラス３枚で計３２７枚ですネ。まあ全部集まる日は遠い…。（笑）

そしていよいよ**水木先生**とご対面。僕なんか水木先生にお逢いするの初めてだったから、うれしかったですねエ。あの方があの名作を作ったのか！と思い感動していました。

みなと博のおみやげコーナーはほしい物だらけで、買いまくってしまって帰ったらすっからかん。まあ、あの良くできたお面をＧＥＴできたのはラッキーだったけど…。

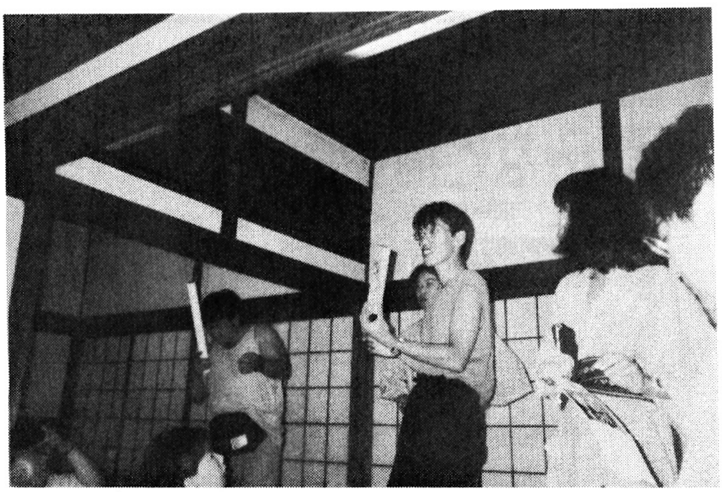
という事で作文のようにだらだら書いてしまって、まるで夏休みの宿題をやってる気分ですけど、ぜひ来年も、そのまた来年もみんなで行けたらと思ってます。そしてイベントももっとおこなってほしいです。

永遠につづく水木伝説の世界！！

▶ＮＯ．２７５　原嶋　秀行



▲第２回世界妖怪会議。
水木先生のアップで写真を撮る。



▲まつかぜ荘でのオークション。
竹田氏が持っているのは目玉親父腕時計。

え〜と少々レポート…とゆ〜程でもないですが、滅多に書かない感想を書きたいと思います。

イベントのラストいざ大阪へ帰ろうという際に、残金がとても少なくて今回はヒヤヒヤしました。例年のイベントより何と約2万円（！）多く使ってる計算になるんです。オークションでムチャクチャはりきった覚えはないし、なんでかな〜（？）と考えたらトレーディングカードに約1万、テレカに約1万と、今流行のカードブームに（！？）上手くノせられたOR踊らされた形になったんでした。使った金額や使い道に関しては、その人個々の考え方、受け取り方でしょ〜が、少々使いすぎたかナと反省してます。

よっしー（**良恵ちゃん**の事）とは、あんまし会話できませんでした。残念でした。**イシカワアキコさん**にはアルファとベータOR1号、2号、イッシーとアッキーが居るそーですが楽しめたんでしょーか！？ダイちゃんこと**大坂君**もイベント充分に楽しんだか心配。え〜と男性の初参加の会員さん約2名（**原嶋さん**、**日比野さん**）が特にテンション高くて、友達作りに張りきってたのが印象的でした。私はというと暑さで少々バテ気味で、ちょっとボルテージ低かったス。

浜辺の（行ってへん、行ってへん）ひとだまくん（花火の名前）。とても幻想的で良かったです。

そーいえば全体に**馬場さん**もあまり見かけなかった。**木村さん**はあい変わらずの姐御はだで、ねこりん（**笠井さん**）は気が付くと移動中のバスの中でしょっ中寝てた。（仕事きついのでしょーか）。**高橋君**とそのツレの男の子（**田中君**）ともほとんど話出来なかった。

妖怪会議やみなと博はちょっと今時間切れで書くヒマなくてすいません。

あそーそー、会場からの帰り、よっしーを見失いかけて心配する**吉田ママ**に**「母親の愛」**をかいま見て、ちょっと感動しましたよ。昔『少公女』や『家なき子』読んだり見たりした時みたいに…。実はよっしーはバスに乗る時ねこりんたちと一緒で、少し遅れたグループで乗り場に向かってただけで、はぐれたり迷ったりした訳ではなかったのですが…。

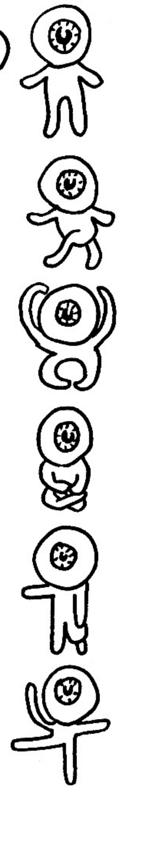
走り書きですいませんが、ちょっと思いついた事書いてみました。今後もよろしくお願いします。

PS．

水木ロードでは**武内君**、夢みなと博では**糸永あかなめ氏**…にそれぞれ、愛想もつかされず子守をして頂いて小生川口、大変感謝をしております。この場をもってお礼に変えさせて頂きます。

▶そんなんせんと、それぞれお礼のあいさつの手紙書けーよと自分につっこんでしまう。

▶NO．13　川口　彰敬





◀水木ロードにある鬼太郎プリクラ目玉親父フレーム！左から木村さん、笠井さん、良恵さん。



▲真夜中のカードゲーム大会。男性陣だけで、こっそり行なわれていたらしい。

誰も褒(ほ)めない？　山陰夢みなと博「鬼太郎ワンダーシアター」

★あるいは「幻影妖怪は電気狐の夢をみるか」★

木村　香織

水伝サマーイベントの参加も3回目になり他の会員さん達とも気心が知れるようになったのだが、どうしても「夢みなと博鬼太郎ワンダーシアター」について意見が分かれる。皆は「つまらなかった。わざわざ観るほどではなかった」といっているのだ。きっと長い2時間待ちの間（お盆とGWに行楽地にいくのは自殺行為！）期待しすぎてしまったのだろう・・・

自称「博覧会マニア」の私にいわせれば、博覧会を楽しむコツは『期待しない』ことが、一番大切。出展催事の殆どが『ヤマなし、オチなし、イミなし』という「や、お、い」の世界だから♡

「鬼太郎シアター！」は典型的な「博覧会やおい」を見事なまでに踏襲しており、その点実に安心して観ることができた。（カラミはナシよ♥♡♥笑）

さあ！オネエサン（？）と一緒にアブナイ世界にいってみよう♡

1　プレ・ショールーム

さて、「鬼太郎館」は2部構成になっており、長い行列から開放されるとまずは最初の部屋で「プレ・ショー」というわば前座の「3面マルチスクリーン・アニメ」を観させられる。おお、そうだ。キレイなコンパニオン♥が「前説」をしてくれたことも忘れてはいけない。ただし「お盆スペシャル」？ということでオネエサン達は浴衣着用で美しい制服姿が拝めなかった。個人的には鬼太郎のコスプレしてほしかったのに・・ミニスカを楽しみにしていた人もいるかも？（イラスト①）

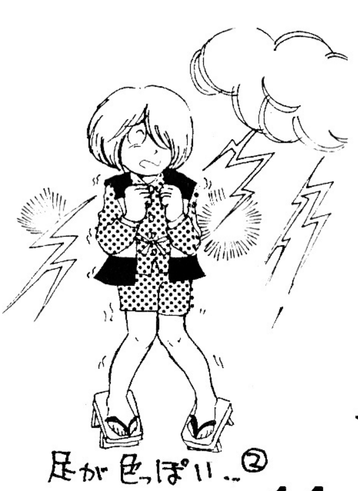
ここのアニメは約5分の短いもので鬼太郎親子が掛け合いで、次のショーに出てくる妖怪の解説をする。作画はかなり4作目に似ている。特にクレジットされてないがおそら東映動画系列のアニメスタジオが作画したのではないか？（ちなみにチャンチャンコは原作調配色）鬼太郎がいきなり敵に向かって毛バリを放つムチャクチャな攻撃をしたかと思うと、雷の音に震えあがったり（イラスト②）河童に抱きつかれて喜んだり？（イラスト③）という結構色っぽいシーンもあって、目の保養になった♥（笑）

気になるキャスティングは鬼太郎に4作目にも出演している大塚瑞恵さん（かに坊主の子ガッパ、魍魎の少年、ぶるぶるのアベックの女性側など）目玉親父に大御所　田の中勇さん！という大サービス♥♡♥若手声優だが大塚さんの声はかなり松岡鬼太郎に似ていて安心できる。そのかわりねずみ男や砂かけばあ（なんと男性が担当！）の声はテレビと全然違っていて違和感があった・・・

しかし、せまい部屋で「本物だ。偽物だ」とさわいでいる水伝会員は恥ずかしい



①


足が色っぽい…②


カラミ有？♥③

2　メイン・ショー

隣の部屋へ移動して「ハイブリット型スーパーマジックビジョン」（以下SMV）をみる。ミニカード④を読んで頂ければSMVの原理は判ると思うが、いわば「でっかいプリクラ」！　SMV自体は博覧会によくある出展で、珍しくは無い。（木村は89年の横浜博、JT館のSMVが好きだった・・）今回はその上に「はいぶりっど」がついた、画期的なモノらしいが、どこがどう違うのか最後までわからなかった（笑）（イラスト⑤）

悩んでいるうちに照明がおちて、いよいよ始まりだ。

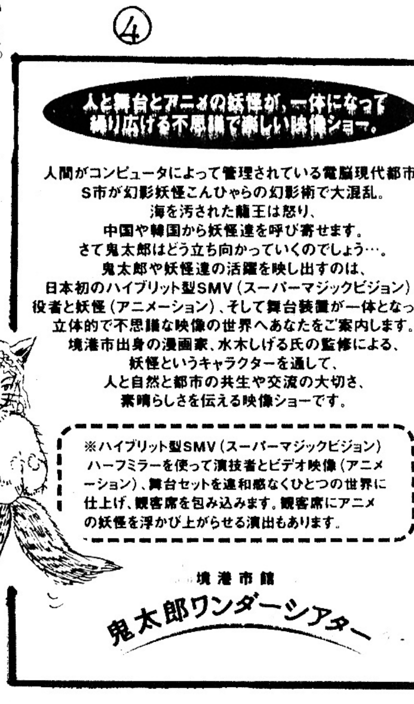
ストーリーは九尾の狐の「幻映妖怪こんひゃら」（実際の俳優が演じていた。イラスト⑥）がねずみ男にそそのかされて、イタズラをしてしまう。そのため工業排水が海を汚し大陸の妖怪が日本に攻めてくる。鬼太郎は仲良くなった心優しい少女「ゆめこ」！！（このキャラも実際の俳優。ランドセル姿に無理があった。イラスト⑦）と協力。最後はゆめこの放つバズーカ砲（！）でとどめを刺してめでたし、めでたし。わけも判らず呆気にとられている水伝一行（木村は除く。楽しんでいるのはお前だけ！）を無視して十数分ショーは終わる。「ヤマなし、オチなし、イミなし」以外の何物でもない・・（笑）

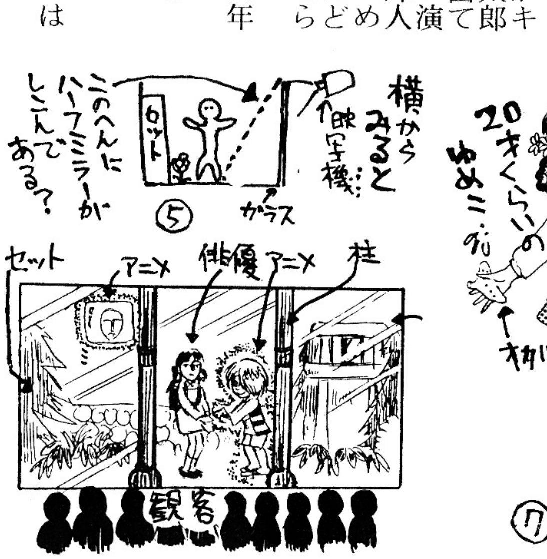
何故この催事を評価するかといえば、ひとつには博覧会という公の場で既成のまんがキャラクターを使うのはほとんど前例がないからだ。もはや境港の『市宝』となった鬼太郎の活躍を観ることで、「文化としてのマンガ」を再確認できる。ふたつめはショーに出ていた俳優たちの熱演！つかみどころのない虚像のアニメキャラ相手に寸分も狂いもない演技をみせてくれた。（セリフはあらかじめ録音されたものに合わせて口パク）－鬼太郎人気に安易な催事と非難することも出来るが『努力する人達』はやっぱり素敵だ。みっつめは私が博覧会そのものが好き！だから。もう理屈じゃ説明できないが、パビリオンにたどり着くまでの楽しい出来事が真夏の太陽で増幅されて心に刷り込まれるからだろう。ならばユニークな水伝のみんなと観た「鬼太郎館」がつまらない筈はない。

博覧会自体は9月28日に無事終了したそうだが、パビリオンのダイジェストは平成10年にできる「水木しげる記念館」に収蔵される予定らしい。（注－あくまで予定）

余談ながら、水木ロードは一年前よりにぎやかになった。この町を訪れる者は誰もが「世界の中心は水木先生」という真理を認識させられるだろう。（笑）

PS　劇中の少女「ゆめこ」はアノ「天童夢子」ではなく（全然似てないし・・笑）「ゆめみなと」にあやかった様子。でもそれならば「みなとちゃん」でもよかったんではないか？　4作目はとうとう境港で放送されないままオワリになっちゃったなあ★

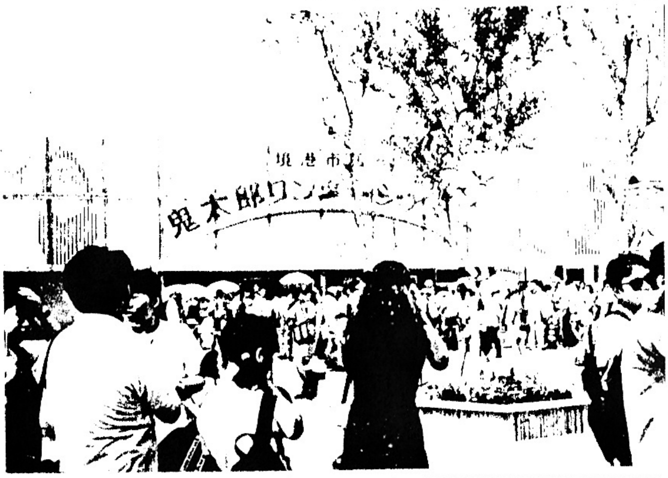






境港市館　鬼太郎ワンダーシアター

●待ち時間／炎天下で２時間弱●入場料／無料　文責／吉田ママ

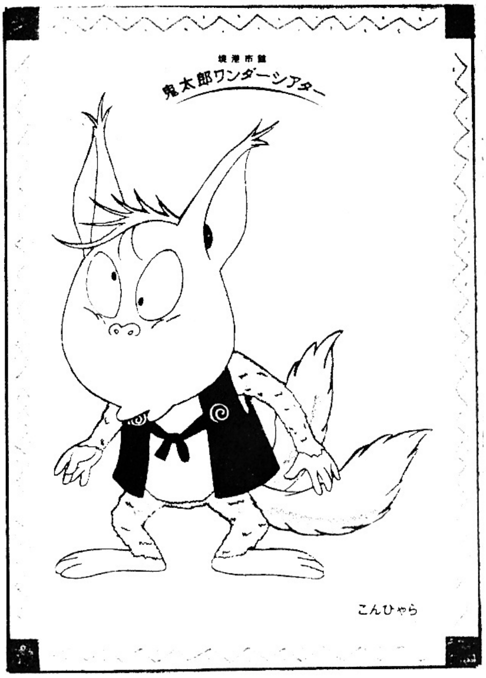


◀鬼太郎ワンダーシアター外観。行列は曲がりくねってました。

■パビリオン■
鳥取は木材の産地であることから会場内のパビリオンは、ほとんど木造の和洋折衷スタイル。この境港市館も木造で、ちょっぴりチープなカンジが懐かしくて、なかなか良かったです。１室目の小ホールでは、アニメの鬼太郎と目玉親父が、本編に出てくる妖怪たちを説明してくれます。そして２室目の大ホールで期待の本編がはじまります。

■見どころ■
日本初のハイブリッド型ＳＭＶ（スーパーマジックビジョン）。ハーフミラーを使って舞台上の俳優さんとアニメ映像を合体させるわけです。つまりアニメの妖怪が出した煙幕に舞台上の俳優さんが包まれると、次の瞬間にはアニメの煙幕が晴れて舞台上の俳優さんも消え失せてしまうというもの。また妖怪につかまった俳優さんが、アニメ映像の中の岩の搭の上部に幽閉されてしまったりもします。この技術はなかなか面白くて遊園地のイベントなんかに、これからどんどん使ってほしいなと思いました。

■ストーリー■
人間がコンピュータによって管理されている電脳現代都市・Ｓ市（境港？）が、幻影妖怪こんひゃら（オリジナル・キャラ）の幻影術で大混乱。海を汚された竜王は怒り、中国や韓国から（みなと博は交流がテーマ）妖怪たちを呼び寄せます。ねずみ男は例によって悪巧み。ユメコちゃんは竜王に連れ去られます。さて鬼太郎はどう立ち向かって行くのでしょう…。



▶ワンダーシアターの入場カード。入れ替え制なので、次に入場できる人に配ってくれます。絵柄は全部で９種類。全部集めると裏面にある謎のシルエットの断片がこんひゃらの顔に完成します。

■感想■
アニメの絵柄はてっきり今放映中の４作目のものだと思っていたのですが、東映の絵柄ではありませんでした。ちょっとショック。海坊主に足がはえていたり、砂かけも顔がまるっきり別人でした。声優さんも違っているようで、４作目に慣れちゃってる人には違和感があったのではないでしょうか。でもＳＭＶの発想自体はすごく面白くて、種明かしされた後でも視覚的な不思議さが実感できて、アニメ（虚像）と俳優さん（実像）の交錯する世界に幻惑されてしまいます。週刊新潮に目玉イベントとして紹介されていたのもうなづけるというか。当日も行列がすごかったんですが、これは鬼太郎人気プラスＳＭＶの魅力でしょう。なんといっても、他のパビリオンはこんなに並ばなくてもラクに見られたんですから。

恐怖の花火大会

吉田ママ

15日夜のリクレーションとして行われた花火大会。コンビニに買い出しに行く人もいたので参加者は半分くらいでしたが、とても恐くて面白かったので、ちょっと感想を書きたいと思います。

《恐怖1》花火をする浜辺になかなかたどりつけなかったこと。

まつかぜ荘のすぐそばにある浜辺に行くはずだったのに、地元の武内氏の案内の甲斐もなく全然海に出ない。あきらめて引き返すと、やっぱり海はまつかぜ荘のそばにありました。どうして迷っちゃったんだろう。「ひとだまくん」なんていう怪しい花火をしながら歩いていたからキツネにだまされたのかしら。コワイ、コワイ。

《恐怖2》海辺近くのお店で花火を買っていざ浜に降りてみると…。

台風の影響でものすごい風。まつかぜ荘のあたりはどうもなかったのに、チャッカマンの火がすぐ消えてしまう強風が吹いているのです。それでも私たちはあきらめず、ビーチチエアを倒し風よけをつくって、無理矢理花火に点火するのでした。しかし風はツヨイ。打ち上げ花火の火の粉はみんなのいる方に戻ってくるし、ふつうの花火もなぜか人のいる方に飛んで行ってしまうのです。コワイ、アツイ、アブナイ。悲鳴があがります。

それでも最後の1本まで花火を使いきってしまった私たちでした。どうしてあんなにムキになって花火をしてしまったんでしょう。いま考えてみると不思議。でもとても楽しかったです。また来年もやりましょう。

PS．翌日はみなと博会場直行の船便が強風のため欠航していました。さもありなん。

第２回　世界妖怪会議　憂歌団コンサート

●待ち時間／炎天下で２時間、会場内で１時間（冷房なし）●入場料／無料

〝妖怪〟論議 熱っぽく

第２回世界会議と憂歌団コンサート

水木、荒俣さんら出席

夢みなとホールでは「世界妖（よう）怪まつりin境港」と題して第二回世界妖怪会議と憂歌団コンサートが開かれた。郷土出身の漫画家・水木しげるさんの妖怪キャラクターを地域活性化に生かす境港市が主催した。妖怪会議では、水木さんを交えて妖怪に詳しい作家たちが妖怪の魅力を縦横に語り、会場の妖怪ファンら約千二百人を楽しませた。

世界妖怪会議は、同市の活性化にも不思議な力を発揮する〝妖怪〟の魅力を探ろう―という趣向。同市出身のノンフィクション作家・足立倫行さんの司会で、水木さんや作家の荒俣宏さん、京極夏彦さん、多田克己さんが語り合った。

水木さんは冒頭「私は妖怪がいると思わないと元気が出ない」と語って会場を沸かせた後、「日本の妖怪によく似た妖怪が外国にもいっぱいいる」と話し、世界妖怪論議が始まった。

多田さんは「人類が世界中に広がると共に妖怪も広がった。自然の中に妖怪がいることも世界共通だ」、京極さんも「妖怪の原型が世界に広がり、その広がった部分に各地の文化による差異が出る」と補強。

話は歴史にも及び、京極さんが「狩猟を主とした縄文人の日常は生と死が背中合わせ。むしろ包括的に生きていたのではないか」と語れば、荒俣さんも「全人的人生には真面目さ、情緒の豊かさに加え、ビックリすること、バカバカしいことも必要。水木ロードは全人的生き方の復活の一歩では」と、談論風発した。

「まつり」後半では、独特のブルースで定評のある憂歌団が、アニメ番組「ゲゲゲの鬼太郎」主題歌をはじめ、軽妙な語りを交えた歌と演奏で会場を大いに沸かせた。



〝妖怪〟をさまざまな角度から論じる世界妖怪会議



個性豊かな演奏で「まつり」を盛り上げる憂歌団

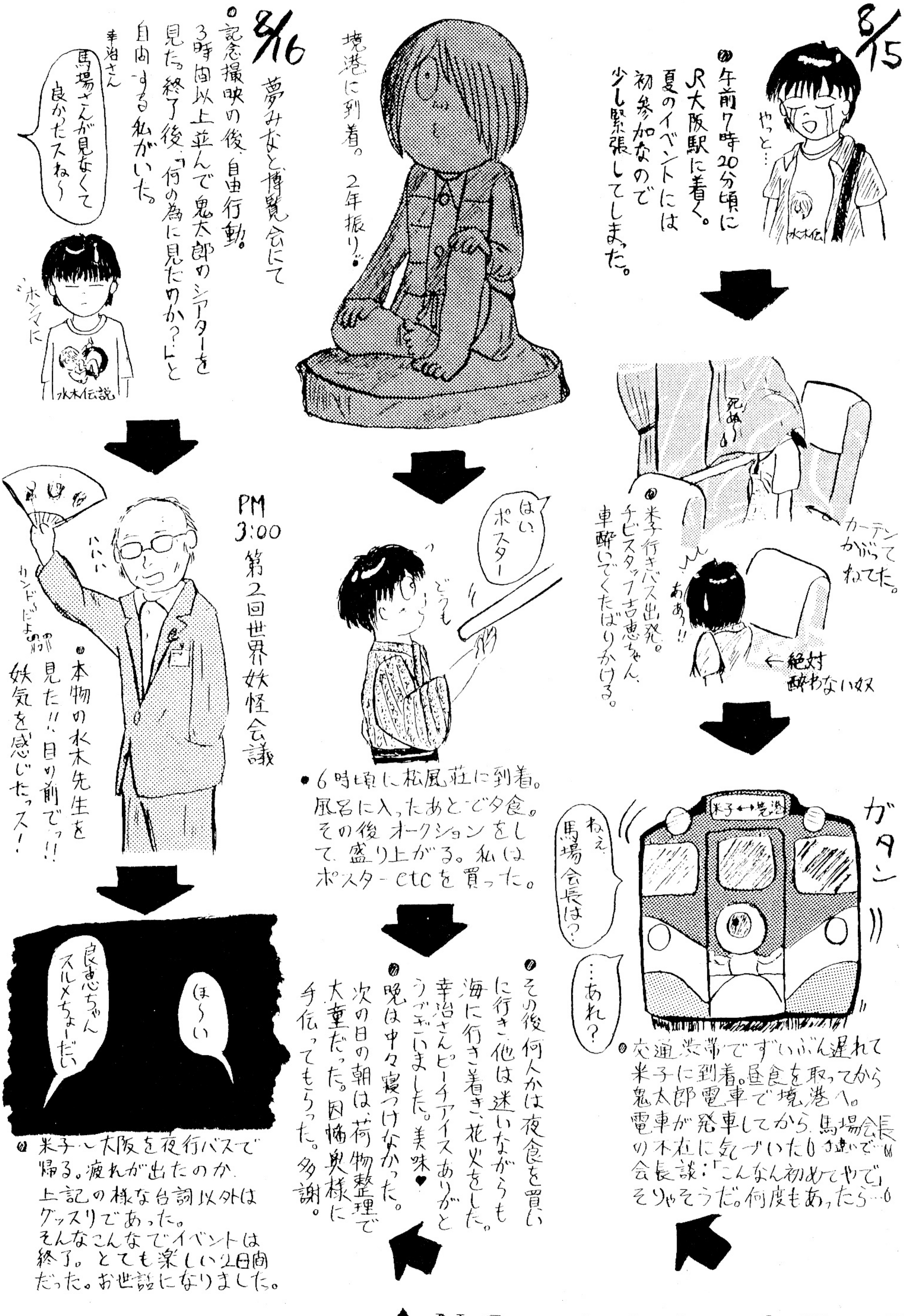
▲日本海新聞

◀みんなで並ぶとこんなに楽しい。でも整理券は出してほしかった。



▶開場を待って行列する水伝のみなさん


山陰夢みなと博日記
水伝の華麗なる女たち← 1人例外がいるゾーッ
石川さん
木村さん
吉田さん'S
堂井
私だけ美化しちゃったぃ いいでしょ？ これ位 フフフ…
このイベントで一番感激したのは憂歌団のライブで鬼太郎のテーマソングを生で聴けた事ですね♡
♫
二時間半並んでやっと観た鬼太郎ムービーシアターは話はイケてないが、オリジナル妖怪トッケビ等がかわいかったのでまあ、良しとしよう。
着ぐるみの猫ちゃんが超ラブリー♡ 男性陣が色めきたっておりました。本当———に、かわいかった。
うふ♡
1日目
恒例のオークションで小学生にまたもや完敗。フフフ…これで3回目よ。
負けたわ
くっ
2日目
木村さんの鮮やかなショッキングオレンジのボディコンにド肝を抜かれた
負けたわ
くっ
天然色でお見せできないのが残念です。
写真とる時こんなポーズとってくれる。→
砂かけの着ぐるみが背が高くてある意味で怖かった 顔でかいし
帰りのバスにて
後ろの席の鉄平さんに酔っぱらったあげく…から[redacted]む下ネタも言ったかも…
アハハ
今、何言ったんですか
なかなかの美男子→
またお会いしましょう♡
スタッフのみなさまツアー中知り合った方々本当にありがとうございました。
感謝！


8/15
午前7時20分頃にJR大阪駅に着く。夏のイベントには初参加なので少し緊張してしまった。
やっと…
水木伝
死ぬ〜
米子行きバス出発。チビスタッフ吉恵ちゃん、車酔いでくたばりかける。
カーテンかぶってねてた。
ああっ!!
←絶対酔わない奴
米子↔境港
ガタン
ねえ馬場会長は?
…あれ?
交通渋滞でずいぶん遅れて米子に到着。昼食を取ってから鬼太郎電車で境港へ。電車が発車してから馬場会長の不在に気づいたしまつで…
会長談:「こんなん初めてやで」そりゃそうだ。何度もあったら…
境港に到着。2年振り!!
はいポスター
どうも
6時頃に松風荘に到着。風呂に入ったあとで夕食。その後オークションをして盛り上がる。私はポスターetcを買った。
その後何人かは夜食を買いに行き、他は迷いながらも海に行き着き、花火をした。幸治さんピーチアイスありがとうございました。美味♥
晩は中々寝つけなかった。次の日の朝は荷物整理で大童だった。因幡奥様に手伝ってもらった。多謝。
8/16
夢みなと博覧会にて記念撮映の後、自由行動。3時間以上並んで鬼太郎のシアターを見た。終了後、「何の為に見たのか?」と自問する私がいた。
幸治さん
馬場さんが見なくて良かったスねぇ〜
ホンマに
水木伝説
PM 3:00 第2回世界妖怪会議
ハハハ
カンドーだよ
本物の水木先生を見た!! 目の前で!! 妖気を感じたっス!
良恵ちゃんスルメちょーだい
ほ〜い
米子→大阪を夜行バスで帰る。疲れが出たのか、上記の様な台詞以外はグッスリであった。そんなこんなでイベントは終了。とても楽しい2日間だった。お世話になりました。



▲NO. 165 1/2 吉田 良恵

９７ゲゲゲツアー珍遊記

日比野“天山”聖巳

８月１３日

明日の新幹線が早朝の為、東京駅の近くで、生まれて初めてカプセルホテルに泊まる（ものすげーせまいし・なんか騒いでるオヤジもいるし）酔っぱらえば眠れるだろうと思いウイスキーを一本（中っくらいのやつ）あけて眠りにつく、いよいよ明日は水木伝説の皆さんと初対面だぁ！良い天気になります様に、日和坊（ひよりぼう）にお願いする。

８月１４日

早起きして、シャワーを浴びてチェックアウト、昨日、日和坊にお願いしたのが、天に通じたのか、さわやかな雨☹なんだかんだありながら、東京駅より無事（？）に米子へ向け出発、午後一時に集合だったなぁと思いパンフレットを広げてみると、何と！待ち合わせの日が今日でなく、明日になっているじゃないですか、いきなり頭の中がブルー（ｂｙ渡辺　真知子）になる。

岡山で特急電車に乗り換え、１２時半頃やっと米子に到着、当然ながら誰もいない。とりあえず今日の宿を探そうと、ホテルに行ったのだが丁度「山陰夢港博覧会」と重なりどこも満室、１０ケ所位あっちこっち探してやっと空いているホテルを見つけて荷物をあずけて一人で境港へ行く。

去年も来たから買物も少ないだろうと思っていたら、とんでもなくあれも欲しいこれも欲しいで荷物だらけ結局ダンボールにいっぱいに詰めこんで「精密部品在中取り扱い注意」と書いて出す（でもダンボールの箱はゲゲゲの鬼太郎せんべい）荷物も軽くなり、欲しい物も買えたので、ちょっとごきげんになりつつ居酒屋へビールをたのみ「自分にカンパイ」とでかい声で言ったらウェィトレスの姉ちゃんや、周りの客が自分の方を見て笑っている始末。

そんな事はおかまいなしに、めいっぱい飲み食いして、幸せ気分で就寝。明日こそ水木伝説の方々と初対面するんだと思うと、ガラにもなく、ドキドキしてなかなか寝つかれない。

８月１５日

朝起きてフロ入ってゴロゴロしてたら、ホテルのおばちゃんから「チェックアウトの時間ですよ」との声。

待ち合わせの時間まで３時間、いったいどうしようと思いながら支払いを済ませた後に、おばちゃんに「荷物預かってて！」とたのんだら、心良く預かってくれた。いいおばちゃんだ！

米子の街をブラブラしてたら、米子図書館を見つけ、図書館の探索機で「水木しげる」と打ったらさすが地元、先生の本が２００冊以上ありその中から、「地獄」と「妖怪画集」を書庫より、出してもらう。そうしたらその本が水木先生から、直接送られた物だと知り、感激にひたりつつ本を読んでいたら、あっというまに１２時を回っていた。。急いでホテルに戻り荷物をもらい、待ち合わせの場所へ、付いたのが１２時４０分

誰か来てるだろうと思っていたのだが、誰も来ていないと言うより、誰が来るのかも解らないし、知っている人も一人もいない。来てるのか？来てないのか？解らないまま時間が一時になり、それでも解らない。自分の真正面に、楽しそうに、話をしている若い男女が、目に付く位で・・・とりあえず、パンフレットに書いてある人に電話しようと思い、電話をかけに行くと、北迫さんも竹田さんも通じず、時間も過ぎて少しオロオロしながら今日は時間も日付も間違えてないよな～と思いながらまた待ち合わせ場所へ行くと、さっきの二人が鬼太郎のカードを持って話をしていたので「あの～水木伝説の方ですか？」と言ったら「はい」との返事「なぁんでぇ！じゃぁさっきから目の前に、いたんじゃん」とは言わず「初めまして、今回初参加の日比野です。」と挨拶、竹内さんと木村さん初対面、他の会員の方たちは、全然来てない様子との事！そのうち、しばらくすると、男の人が一人来て「バスが遅れてんねん（関西弁よー解らん）」と竹内さんに話かけてきたので、その人にも挨拶すると、「電話で話して想像していたの、と、かなり違いますワ」との返事。

いつ話したんだろう？と思い竹内さんに、「今の人誰？」と聞いたら、「会長ですよ」だってヒェ～全然知らなかった、今知った。

切符売場の方へ行ったら会員の方達が集まっていた。

境港へ向かう列車の中で、幸治さん、個人売買でお世話になった関根さん初対面、あっという間に境港、昨日買い物したばっかりだから、買う物はさすがにないだろうと思っていたら大間違い！たちまち両手に、荷物がいっぱいになり、集合時刻も迫って来たので、駅のホームでボケーッとしてると、やはり今回お互いに初参加の原嶋さんが「けっこう買い込みましたねぇ」とにこやかに言われ、さすがに昨日も来てダンボールで荷物送ったとはその場では言えず、（後で言ったんだけど）「ええ　そうですね^^」とあいまいな返事。

宿へ向かう途中、会長にあらたにパンフレットを頂く、部屋割りで川口さん、土田さん、関根さん、原嶋さん、私めと５人部屋、皆良い人ばっかりで（参加した皆も、もちろんそうだけど）とっても楽しく、一瞬で和気あいあい、風呂へダッシュする。

風呂でた後、夕食、自己紹介後にオークションとなる。このオークションで第３部の鬼太郎の台本の時、高橋君と対決になり、負けてしまった。ふてくされて、あお向けに寝てたら会長がカウントを取り始めたので「２」で返す、危なかった！（ちなみに夜中、笠井さんが、横になった時、木村さんも同じ事やってた。）

会長より「天山！」（自分と会長しか解らないと思うが）という、ありがたいニックネームを頂く（もう一つ何かあったけど忘れた！）

オークション一時中断後、夜の散歩へ、夕食の時にあまり飲めなかったのでビールやサワーを買って飲む、宿に帰って気合いを入れ直してオークション第２弾！でも夕食のオークションの時から、ジャンケンで勝負してきたのだが一回も勝てず、会長に「腕相撲でやろうよ！ネッ♡」と言うと「ダメダメ！！日比野さん、全部持ってってしまうやん」との返事、でも最後に一回だけ勝った時、皆が拍手してくれた！なみだがチョチョ切れそうになった。（ちょっとだけ）オークションが終わった後もいろんな人に、自分の知らない先生や、鬼太郎などの話しを聞かせてもらい、かなり勉強になった。たちまち２時、３時となり３時半頃、かなりご機嫌な状態で眠りについた。

８月１６日

７時半頃起床、またしても朝ブロ、ここんとこ毎日、朝晩風呂に入って、とっても健康的な生活

朝食後「世界妖怪会議」が行われる山陰夢港博覧会会場へ向けバス停へ向かうのだが水木ロードで買った物や、昨日のオークションやらでバッグがパンパン、「クソッ重てぇなぁ！」とか思って歩いていると、因幡さんの奥さんが「日比野さんが持ってると軽そうですね！」とニッコリ言われ　「そうですね」とこちらもにっこり答え、心の中ではヒィヒィ言いながら、やっとバス停に到着

バスに乗り会場へ、やっと今日水木先生にお会い出来るのかと思うと、心がウヒャウヒャしてくる。

会場へ到着！集合写真をとった後、自由行動のはずだが、ほとんどの人がパビリオンの一つ、鬼太郎ワンダーシアターにならんでいる。当然自分もその中の一人、最後尾の看板を持っているおじちゃんに「どの位、待つの？」と聞いたら、「一時間半位だよ！」との返事、何とも言えないため息をついていると、おじちゃんが「こういう所へ来たら、一番入りたい所に並ぶのが、一番だぞ！帰る時に後悔しないだろ？」

「うんうん！確かにおっしゃる事は間違っていないんだけど、このクソ暑い中一時間半もつっ立っていたら、なかなかつらいもんですよ」と言うと「俺なんか、一日つっ立ってんだぜ」だって、おじちゃんタフです・・・今考えりゃビールの一杯でも、ごちそうしてあげれば、よかった。

いろいろあって、だいたい時間通りに中に入る。例のワンダーシアターも終わり、

幸治さん一言！・・・「会長見てたらキレてると思う！」　俺はクーラーがきいてて良かったと思う。

表に出ると全然遠慮する事なく、夏の日刺しがこれでもかと、突きささる。

時間も昼を過ぎたので、みんなは昼メシを買いながら会場へ、なぜか俺一人だけ生ビール３杯、ついでもらっている間に一杯一気！「この一杯の為に生きてるな」とつくづく心から思う。ビール両手に開場待ちの皆の所へ・・・吉田母さんが「日比野さん食べ物は？」と聞いてきたので「これだけあれば、幸せなんです！」と残りの２杯も一気に飲む。

すきっ腹に飲んだものだから、顔が真っ赤になり、誰かが「日比野さん、顔真っ赤ですよ！」と言うのを、「日焼けだよ！」と苦しい言い訳。その後もう一杯買いに行って、結局食べ物も買った。

そんなこんなで、開場！！良い席へダッシュとうとうやってきました、この時がここで先生の話が聞けるのかと思うと、感極まり超ご機嫌、ビールの力もあってスティングばりの「フウォ～ウ」と大声をあげたら、前の方の席の姉ちゃんが「うっせぇな」と言いたげに俺にガンたれてやがる「いい度胸じゃねぇか俺は、女子供でも容赦しねぇぞ」と思いながらメンタン切ってると、向こうの彼らしき男が姉ちゃんと何か言ってる。そして俺の方をギッとみたんだけど、それから彼は俺が帰るまで、一回も振りかえらなかった。　なんででしょうね♡皆様！

でも俺はケンカをやりにきたんじゃない、水木先生に会いに来た訳だから、当然舞台に神経を集中！

足立　倫行氏　多田　克巳氏　荒俣　宏氏　京極　夏彦氏の後に、我らがヒーロー水木しげる先生の登場！！

あまりの感動に鳥肌がたつ！

話を聞いているんだけど、気持がフヨフヨしてしまっているので、わからない。
決して酔っぱらっていた訳じゃない（本当ですよ）

頭の中がまっ白になるって事は、こういう事なんだろうなと思った。先生の楽しい話もアッという間に終わり！憂歌団のライブ、ゲゲゲの鬼太郎の歌とカランコロンの歌を聞き終わった時点で、周りの会員の人達と軽く挨拶！会場を後にして、米子の駅から深夜バスで東京へ、次ぎの日無事到着、そしてゲゲゲツアー９７もここで終了！
感想文と言うより、思いついた事を、ただつらつらと書いてきましたが、会長、副会長を始め、スタッフの皆様！楽しいツアーを本当に有りがとうございました。最高の夏休みでした。

初参加ゆえ、知らず知らずに迷惑をかけていた所もあったかもしれませんが、これからも、宜しくお願い致します。

とりあえず来年こそは、ジャンケンに勝てる様に頑張ります。水木伝説万歳！！！

以上、押忍

夏のイベントを終えて……

馬場茂幸

今年も恒例、夏のイベントが開催されそして終了した。お盆休み中の開催とあって宿泊施設の予約や交通上の問題でトラブルもあったが大変想い出深いイベントとなったと思う。トラブルと云えば他にもあったような気がするが、それは後ほどということで、とにかく主催者側である我々『水木伝説』と参加者が久々に「一つになった」という気がした。これ迄のイベントも大変盛り上がったのだが、今一つ『水伝』に溶け込めない参加者が数人いたものだ。しかし今年は、『水伝』に溶け込めない参加者は一人もいなかった。と、思う。我々が用意したオプショナルにすぐに乗ってくれるし、移動の際も列からはずれる者もいなかった。（スタッフではぐれた者が一人いたが）

前夜祭も昨年より盛り上がった。大阪宿泊組の高橋、田中、原嶋、関根、栗本に加え糸永と今年は都合でツアーに参加できなかった米吉、そして私、馬場が駆け付け大いに喋りまくったのだ。

出発の集合時間にも誰一人として遅れる者は無く、それどころか集合の三〇分前にはほとんど集まっていたそうだ。

高速バスが出発するまで米吉が見送ってくれて少し寂しい気分にはなったが、バスの中は絶好調。渋滞で遅れはしたが米子組と合流して水木ロードへ向かう。

山陰は鬼門

この時、今年のイベント最大のアクシデントが発生。水木ロードのある境港駅へ向かう列車の中に一人乗り遅れた者が居た。誰であろう？　恥ずかしいその人は水伝会長・馬場茂幸、つまり私なんです。スミマセン反省しています。

その、本来あるまじき事態の全貌はこうである。

境港行きの列車が発車するまで三〇分ほど時間があったので別れて食事を取る事にした。「五分前には改札前に集合してください」ということで食事を済ませたものから次々と改札前に集まる。三〇人近くも居るものだから改札前はいっぱいの人集り。他のお客さんに迷惑が掛かるので先にホームへ入ってもらうことにした。私一人残ってホームに居る竹田に携帯電話で人数を確認「一、二、三、四……あれぇ　一人足らないですよ」という話だったので足りない一人を時間まで待つことに…実は足りない一人というのは私の事でした。気がついたときには既に遅し…列車は出発、携帯電話から「馬場さ～ん、もう発車してるわ～」と竹田氏の言葉に汗が額から流れる私でした。

昨年はバスの中で隣の一般客にコーヒーを溢したり、山陰は鬼門ですね。

そんなアクシデントも今は良い想い出。来年も夏のイベントで一つになりましょう。

▶ NO.275　原嶋　秀行



「コージ君、キミまだ結婚せーへんの？一体どーゆう娘が好みやねんな？」
「馬場さん！ボク関西弁を喋る娘がイイです!!」
「・・・・・・・・コージ・・・・それって《女なら誰でも良い》に毛が生えた程度やん・・・・・・」

空に太陽が有るように・・・・先生ゆかりの地に水木ロードが有るように・・・・ＡＩＤＳに潜伏期間が有るように・・・・「フハッ」には「音信不通」が有り続ける・・・・・・ほぼ２年間の獣臀奇棺を経て、【活字世界のエボラ出血熱】此処に再発でカブッ！キミの脳髄に粘膜感染！即日発病コノ世行きでカブッ!!（あっキャプテン・トンボーグだ！）

音信不通【其の窮】・・・・あっドーモお久しぶりです。“水伝のアメーバ性赤痢”がまたもや帰って参りました。思えばコノ充電期間中に色々有ったなァ・・・・クリスマスイブの前日にまた彼女にフられたり（陽に灼け埃を被ったプレゼントが未だに机の上に放置してあったりなんかしたりして・・・・）、アルバイトに励み過ぎて大学院を放校処分になる一歩手前までいったり、そのバイト代を握りしめて『河童の三平』のＬＤを買った帰りに自転車ごと車にタックル（ストロンガーの相棒ではない方）されてしまい、頭を大変オモチロイ色に染めながらそれでも「ボク大丈夫ですからそれよりシャンペイは無事ですか？」と駆けつけた救急隊員に真顔で言い放ち、結局脳波の検査までやられたり、ニア・デス体験を楽しんだ後やっとの思いで下宿に帰って来ても、肝心のハードの方が無いから未だに指をくわえてＬＤを眺めるだけだったり・・・・・・・・・・（さっき“タックル”の処で本当は「電波人間ではない方」と書きたかったのだが、最近この表現が洒落にならなくなりつつあるので自粛させて頂きます）

水伝のメンバーが上品で控えめな人ばかりなのか、私がドを越して厚かましいのか、毎回「フハッ」に載るサマーイベントの感想は通り一遍というか、「ナマで水木先生を観たり話を聞けたりして感激したのは良く分かったけどそれだけ？」と感じてしまうんさなぁ。他にもあるやろ？イベントに来るまでの苦労話とか、身を削ってオークション用軍資金を集めたとか（オークション・キングの川口氏なんかどうやってオークション資金を集めるんかねえ？）洒落にならない予期せぬトラブルとか、イベント後日談とか・・・・イラスト描ける人なんてそれだけでも一歩リードしてるんだから、「フハッ」がパンクするくらい送ってやればいいのに・・・・（オイ！オイッ!!：「フハッ」編集部）極私的な失敗談でも自慢話でも面白ければ許されると思うから、みんなジャンジャン送ってきてくれ。ちなみに私に関しては・・・・・・

BEST⑨二年ぶりの皆との再会。

いやー米吉氏に北迫氏と、THE・吉田母娘、石川さんに笠井さん等、水伝メインスタッフや常連の皆さんとの丸２年ぶりの再会に感激ひとしお。ちょっとだけ目頭が潤む。さっそく出発した我々の後を不安気な親子連れがおびえながら付いて来た・・・・あらっ？と思ったらナンと可愛い息子さんと美しい奥様を連れた因幡さん御一家でありました。その他に日本中から集結した“人生投げてる常連組”と“何にも知らない初参加組”合わせて30名。今年も賑やかになりそうだ！

BEST⑧ついに来たぞ境港。

梅田駅からバスで一路境港へ。殆ど貸し切り状態のバスに雰囲気も和気アイアイ（そのぶん他の乗客達はおびえきっていた）。口を空けて寝ている連中を撮影しつつ気分は殆ど修学旅行。しかし御盆の大渋滞に捕まって、ぎりぎりに到着した為ゆっくりしている暇など無く、大急ぎで昼食をかき込み、妖怪列車にパイルダー・オン！しかし、参加者の安全確保に気を配り過ぎたのが裏目に出て、なんと馬場さん置いてけぼり。し・・・・しまったぁ!!

BEST⑦感動の水木ロード。

ＴＶじゃ何度か観たけれど、ついに来ましたやって来た。今年一番の人出とのことでどの御店も一杯。鬼太公やネズミなどレギュラー陣の前では撮影の順番待ちの長い行列と醜い争いが必ず展開され、お母さんに抱っこされた赤ちゃんからシルバーな世代の老夫婦まで驚くほど広い世代が“当たり前に”受け入れている事を再認識した。ダイちゃん・トモちゃんコンビに解説して貰いながら全力疾走で巡り（帰りの電車まで時間が無かったのです）、途中で普段は電気屋→夏休み中だけ土産屋という店でひと休みしたが、押し寄せる客を決しておざなりにせず接客してくれた事に少し感動してしまう。ロードの先の旧商店街も良い味だしてたぞ。

BEST⑥まつかぜ荘で命の洗濯。

もったいないくらい落ち着いた雰囲気の大広間でしんみり大宴会と狂気のオークション。しっかし皆アルコールも入ってないのによくあれだけブッ壊れるよな・・・・広くて綺麗な塩泉も結構でござんした。只、お盆のド真ん中にあれだけの旅館であれだけのもてなしを受けたのに、アレっぽっちの参加費では間に合わなかったと思うんですけど・・・・嫌な予感がするなぁ・・・・

BEST⑤座る隙もない４人部屋でのオークション後編。

クソ狭い部屋に無理矢理全員詰め込んで酸欠とプチ温暖化現象を楽しみつつオークションは続く。毎年「今年こそ買わないぞ」と堅く心に誓うのに、帰る頃には戦利品でバッグはパンパン。そのまま済し崩しになだれ込むカードトレーディング大会では北迫氏が「妖怪伝」を特別販売するやいなや、それまで黙ってた連中までカードを広げ始め、アフリカ・ラッサ熱の如くアっと言う間に新しい無間地獄が始まりましたとさ。あーあ・・・・

BEST④音信不通ついに完賣。

あんなインチキ本を買って下さる方がいらっしゃるとは。でも眼の前でお金払った人から、必死で怒りを堪えながら「いや一なかなかですね」等と言われた日にはホントお詫びに切腹でもしたくなりますな。「ふざけんなこの詐欺師。金返せ」とか正直に言われた方が全然いいわ。もちろん返さないけどネ。あの時の原島君と日比野さんの笑顔は未だに夢にみるもんなあ。

BEST③人魂に追われて２年ぶりに花火大会in怪奇温泉。

オークションが一段落したら、何人か連れだってコンビニと浜辺へ。潮風が強烈で浴衣の裾から“せくしい”なスネ毛をちらつかせつつ思い出の花火大会。海無県から来た御方と一緒に２～３年ぶりの潮騒に感動していたが、何で途中から度胸試しや我慢大会になるのかなァ？それに竹田さん・・・・そんな小道具どっから見つけてくんの？

BEST②ついに会場到着。

よっしゃァー見えたゾー。全員一般人を装おいつつ、鬼太郎ワンダーシアターを直撃。無慈悲な太陽に照り突けられながら何と１時間半も立ちっぱなし。途中やけに頭の大きい猫娘やネズ公、頭にお父さんを乗っけた鬼太郎などが遊びに来るとさすが水伝メンバー、死体を見つけた禿鷹の如く襲いかかり善い子を押し退けてでも記念撮影。ときどき交代で世界民芸品展をひやかしたり、常連組の木村嬢が飲物を差し入れてくれたりで何とか火炎地獄（誇張無しで地獄だった）を耐え抜いた。

BEST①うーん・・・・２年ぶりに生の先生を観られたけれど（WORST①に続く）

開場と共に日本中から集まったと思われる半妖怪達が開場溢れんばかりに完全占拠。先生がリハーサルでちょっと出て来ただけで何十人ものファンがアリーナに殺到。先生も暑いなか終始ニコニコと嬉しそうでありました。暑さと人いきれで意識を失いそうになる頃ついに「第二回世界妖怪会議」が始まり、最上段で扇子を片手に見栄を切る先生に開場からは割れんばかりの大喝采が。あ〜──待ってた甲斐があった。（それからこれは未確認の情報なのですが、アノ扇子が水木伝説を経由して某所から発売されるかもしれないとかなんとか・・・・）

続いて・・・・・・・・

WORST⑦経費節減。深夜の地獄特急。

毎回新幹線代で破産しそうになる為、何とかしようと鉄道マニア高橋君に教わったのが“ムーンライトながら”。緑の窓口前に泊まり込んで手に入れたが、うーん日頃ろくに運動もしない鈍った身体にはチト辛すぎた。東京駅を出る頃は予約席のおかげでまだビデオを撮影する余裕もあり、故郷・富士駅では通路に座り込んだ客ども（何故かスマップの団扇を持った女の子ばかりだった）をどかしてホームに走り降り、深夜２時の誰も居ない駅舎を撮影したりしていたが、明け方終点・大垣駅に着く頃には頭も身体もガタガタに痛くなっており、更に御盆の帰省ラッシュのせいでインドの三等客車の如く人と荷物で一杯になった電車の中で立ったまま揉み苦茶にされながら大阪まで。いやー年寄りの一人旅にはキツ過ぎた。次回は高速バスにしよーっと。

WORST⑥ほもサウナ危機一発。おまけに合流失敗。

梅田駅から前夜祭組が宿泊する某ホテルにTELするが結局連絡つかず（後で聞いたら予約なんか取らずぶっつけで部屋を確保したそうな・・・・無茶すんなぁ・・・・）しょうがないんでガイドブック片手に毎夏恒例の大阪巡りへ。キタにミナミ、アメ村、十三、鶴橋と炎天下をモノともせず死の行進を続けたが、一番大好きだった新世界が何ともエライ事になってしまっていた。某NHKドラマのせいなのか、クソみたいな国体やオリンピック候補地になった為なのか、クリーン大阪キャンペーンの津波がとうとう此処にも露骨に押し寄せて来やがった。まあ、こっちは通りすがりの観光客、向こうは先祖代々此処に暮らしている皆さん。どちらの意見を重視すべきかは子供にだって分かるがそれにしても・・・・・・中学校の頃アニメ版「じゃりん子チエ」を観て脳天に落雷を喰らったかの様なショックを受け「いつかこの街に住みたい」と想い続けたアノ新世界は今確実に消えつつある。街にはブサイクな双子をトレードマークにした無数の幟がナチの軍旗のようにひらめき、かつてオッチャン達が憩いの場としていた碁会所やスマートボウルの店が得意気に記念撮影をする高校生や家族連れに占拠され、通天閣は２時間待ちの長い列を造っていた。代わりにジャンジャン横町の埃まみれの看板は、昼間なのに不思議な胸騒ぎをさせる暗闇を造っていたアーケードの屋根ごと撤去、生まれて初めて入った串カツ屋「だるま」は区画整理のため付近の怪しげな飲食店と一緒に更地に、実兄との唯一の思い出の弓道場は閉鎖され只の薄暗い物置き場になっていた・・・・。容赦無く直射日光を当てられ消毒されたかつてのジャンジャン横町には当然のようにオッチャン達の生きる場所は見あたらず、通りからだいぶ外れた立ち飲み屋や串カツ屋の隅っこで申し訳なさそうに飲んでいる背中を見ていると、何ともやりきれない想いがしてしまうのだ。人間族に徐々に駆逐されていった幽霊族もきっとこんな感じだったんだろう。今までの何度とないクリーン作戦にも飄々と生き抜いて来たオッチャン達の事だから、例えアミューズメントセンターが出来ようが通りが煮沸消毒されようがその内知らん顔して戻って来るのだろうが、私自身はもう此処には来ないだろうし、悲願であった「関西移住計画」も急速に醒めていく気が・・・・・・まぁ下らんセンチメンタルですな・・・・・・【・・・・ホンマに水木先生と関係ない文章やな：編集部（怒）】

夕方もう一度前夜祭組と合流しようとしたが叶わず、イチかバチかで網を張っていた「お初天神通り」でもポ♂引きのニイちゃんに手招きされるだけ（そんなに飢えてる様に見えるのだろうか・・・・？）。しょうがないんで今から十年程前、大学受験の為に泊まったカプセルホテルへ。「あらっ？でも俺何でその後十年も此処を利用しなかったんだっけ？」という本能の問に対する答を思い出したのは既に金を払って、着替えている最中だった。ナンつーか、キムタクとは全然違う意味でロン毛のオタッキーな小太りの若い奴とか大泉晃みたいなサラリーマン風の男が、私が着替えてる姿をジーッと斜め後ろや横から眺めてるので、最初は「こいつ枕引き（寝込みを狙う置き引きのこと。妖怪ではない）か？」とか「やっぱ田舎モンだって分かるから、俺浮いてんだろうな・・・・」とか思ったのだが、サウナに入っているとしきりとこちらに視線を投げてきたり、メチャクチャ広い湯船なのに何故かわざわざこっちの近くに移動してきたり、頭洗ってたら覗きこんで来たり（いい加減にしないとＲ指定になるな・・・・）するに至って、流石に汚れを知らないフランス貴族出身の私でも「や・・・・やべえ・・・・そう言えば此処って確かハッ♂♂バだったんじゃ・・・・」と気付いた頃にはもう遅く、まさか今更腰にタオルを巻いたまま梅田の街に飛び出す訳にも行かず、飯場の便所みたいなカプセルの中でひたすら朝が来るのを祈っていたのでありました。私も相当図々しくできているが、斜向かいのカプセルのオッチャン（推定40歳位）にウインクされながら手招きされたのには凍りついてしまった。翌日は朝日が昇るよりも早く起きて身支度を整え、五体満足なうちに飛び出して集合場所へ撤退致しました。

WORST⑤何でやー。念願の瀬戸君との再会ならず。おまけに米吉氏無念の見送りのみ。

95年のサマーイベントから今日までの間数々の小イベントは有ったが、それでも会えなかった有象無象の半妖怪達とようやく再会できた・・・・のは良かったが、震災以来写真でしかその姿を見ていない瀬戸君は何故か本日欠席。そして米吉氏もまた・・・・・・この水伝最強“てんやわんや”コンビが居てくれたら、イベントの内容も**いろんな意味**で変わっただろうになぁ・・・・（もちろん良い方向へですよ。ふへへへへ・・・・）

WORST④チキショー今年も寝ちまった。
　　トレーディングカード大会が始まると一旦自室へ退却。何しろコレにハマったらまた新たな無限地獄が待っていることは陽を見るよりも明らか（後日、原島君と土田君のコレクションを見せて貰い、予感は正しかった事を再確認した）なので、ダイちゃんとトモちゃんを寝かし付けてから出直そうと思ったのだが、いつものパターンで逆に二人に寝かし付かされてしまい、気が付いたら朝飯の時間でした。あ――あ今年もやっちまった。

WORST③地獄のワンダーシアター
　　馬鹿ヤロー１時間３０分も雲一つ無い炎天下に並んで、内容がこれかよ。我々捻た大人達どころか子供にもソッポ向かれてたじゃねーか。別班の引率のため観れなかった馬場さんに「観なくて正解でしたね」と正直に言ったら「幸治君タダなんだから文句ゆうたらあかんわ」と怒られてしまったが、こっちは「京都太秦映画村ツアー」（ごく身内だけで行った小イベント）のドームシアターの迫力とどうしても比較してしまうんで‥‥‥一番笑ったのは司会のお姉さんが挨拶した時に、子供達はみんな恥ずかしがって黙ってたのに「こんにちわ――うオおう――」と野獣のように元気な返事と、サンドバッグを叩いている様な拍手の音が。「あの野太い声どっかで聞いたな‥‥」と思ったら、やっぱりウチの一団であった。‥‥日比野さん‥‥お願いだから‥‥

WORST②哀れアッキー。
　　この博覧会場は造りがかなりいい加減だった気が。空はどっピーカンでぶっ倒れる程クソ暑いのに日を遮るものは何も無し。飯喰おうにも休める処が殆ど無く（有ってもとっくに占拠されている）、しょーがないんで地面にウンコ座りで昼飯となったが、同じ集団の中の紅一点アッキー石川嬢は暑さとワンダーシアターの腰砕けぶりに殆どグロッキー。本当はちゃんと休ませてあげたかったんだけど、すまなんだの一御嬢様育ちの娘にウンコ座りなんかさせて。

WORST①先生観られたのは嬉しかったけど‥‥
　　ビデオ解説は殆どアリャマタ氏の独断場。まあアリャマタ氏も可愛くて好きだけど、

あんなんたったら
水伝の原島君の方が断然カッコいーわい。おまけにバスの出発時間の関係で半分も観れずに会場を後にする羽目に。まあ憂歌団はリハーサル聴けたから良しとするか‥‥とにかく先生の公演を聴きに来てこんなにモヤモヤしたまま帰るのは初めてだ‥‥‥‥‥

‥‥くやちいなあ‥‥‥

番外①　大渋滞に巻き込まれ、梅田駅に到着したのは終電の出た遙か後。北迫さんは途中の宝塚で下車、明け方まで歩き続けて帰宅。土地感の無い私にはピンと来なかったが馬場さんは吃驚するのを通り越して感心してました。因幡一族の皆様は前夜祭で私が合流し損ねた某ビジネスホテルへ。まあ奥様や啓太クンが一緒じゃカプセルや野宿は無理ですよねえ。
　「馬場さーん。大阪の人って、本当に親切ですねえ。
　　みんな【電車無いから乗ってけ乗ってけ】って笑顔で誘ってくれてますよ。」
　「アホかぁ!!! ありゃ全部白タクじゃい！」
危うく身ぐるみ剥がされるところであったが、何とか無事に馬場会長宅へ到着、しかし、長旅と暑さでボーっとしていた私は、馬場さんが家族への御土産にと買った「鬼太郎饅頭」「お岩ようかん」「コケカキイキイもなか」「荒俣宏のヅラ合戦（セガサターン版）」などを丸ごと一式タクシーのトランク内に忘れるという大失態を。どーもすいませんでした。あーあ、今ごろあの運ちゃん自宅で「あっ！ようやくズらせたよぉー」とか言いながら楽しんでんだろうなあー。

番外②　翌朝、会長の御母上様手造りの“ぶれっくふぁーすと”を「モガー」といただきつつ、ベランダから**あのタンク山**（昨夜は**アノ校門**の前を通ったが、記念撮影してたバカヤロウが居やがった）や、引っ越した人が半月と保たない**「首くくりの家」**などを見物した後、一路帰宅の途へと着いたのでありました。本トーに有り難う御座いました。

Mizuden Kids

♠LET MY
♥CHILDREN
♣HEAR
♦MIZUKI
★LEGEND

好評連載第６回

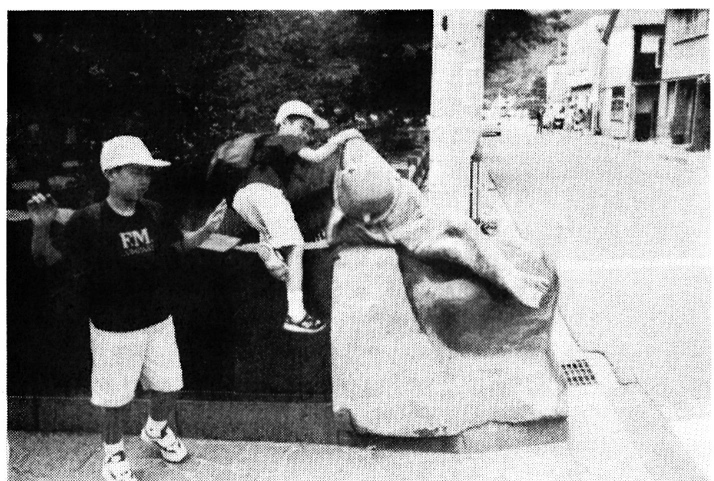
夏のイベント写真特集



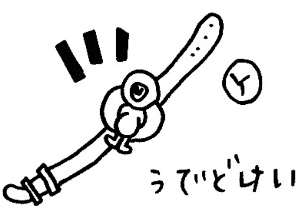
馬場大輔くんと**馬場友英くん**兄弟は、水木伝説会長のご子息。
サマーイベントは今回で2回目ですが、これまでにも水伝の忘年会や
鬼太郎映画の試写会、京都うずまさ映画村行などで関西の会員とは顔なじみです。
米子駅ではお父さんである会長がひとり電車に乗り遅れたにも関わらず、
ふたり仲良くちゃんと（乗り遅れず）電車に乗っていたのが印象的でした。
因幡啓太くんは、お父さんとお母さんとの家族3人での参加。
前号のフハッでも紹介していた地元名古屋で集めたという珍しい
名鉄スタンプラリーの妖怪スタンプ帳とメダルを持ってきてくれました。
最年少なのにすぐにみんなとうちとけて、栄えある今年のMVP賞を家族で受賞。
みなと博会場では賞品の目玉親父腕時計をうれしそうにはめていました。



▲まつかぜ荘ロビーにて。
左から因幡啓太くん（５才）馬場大輔くん（１２才）
馬場友英くん（９才）。



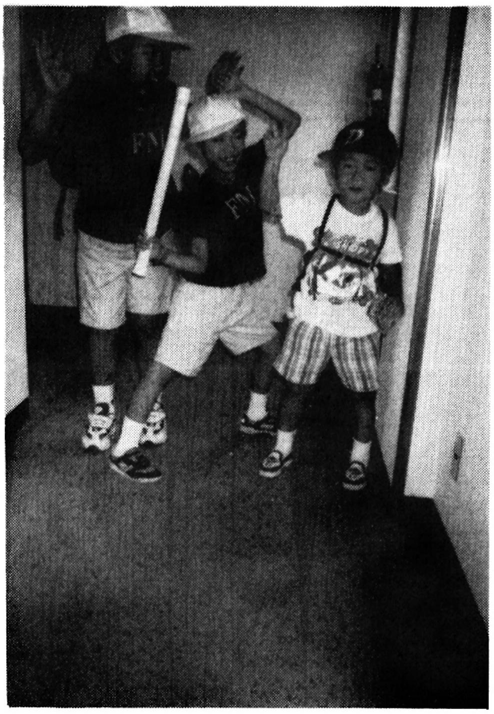
▲水木ロードにあるねずみ男の前で。
左から馬場大輔くん、馬場友英くん。



今回の水伝キッズは、昨年に引き続き行なわれた鳥取ゲゲゲツアーの特集です。水伝のイベントはご家族での参加も大歓迎。まだ参加したことのない水伝キッズのキミも、来年はぜひ参加してくださいね。



この夏のゲゲゲツアーは水木ロード＆みなと博見学と見るところも遊ぶところもいっぱいのイベントでした。参加してくれた水伝キッズのみんなも元気いっぱい。すてきな想い出がたくさんできたことでしょう。



▲まつかぜ荘の廊下で。なかよしの３人。
左から大輔くん、友英くん、啓太くん。

写真・イラスト・お便り募集中！

小中学生会員（それ以下も可）のみんなの元気な声を待ってます。

●イラストは黒のサインペンやボールペン、マジックで描くとキレイに印刷できます。



水木ロードにあった話題の鬼太郎プリクラ。待ち時間は２０分でした。



▲スタッフの吉田良恵さん（１４才）。
来年の春には女子高生。
水伝キッズも今回で卒業です。



武内タケシの
勝手にごっこ
GEGEGE TOUR '97
レポート
武内は8/15・米子駅の待ち合わせで先ヾが。しかし、只今の季節は夏。その上"お盆"!!神戸よりのバスが待ち合わせ時間になっても到着しない!!
しかし、現地集合の木村・日比野・武内の3人での雑談で待ち時間を難なくクリアー!（しかも日比野さんは、馬場会長より"ベーン"というニックネームをいただく）
ははははは
今年の新人は元気がいい!!
ターボスイッチ
—そして現地組と神戸組合流後、「水木しげるロード」へ!"見学ツアー"と銘打っていたものの、みなさん"買物ツアー"となっていました!
そして夜—
海外旅行客ってこんなカンジなのかも…
—と思ってしまった武内でした…（人のコト言えないってば）

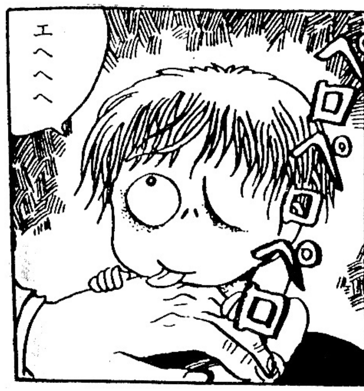

やはり もり上がった
オークション!
宅急便が届かず
品数が減ったにしては
ナカナカ濃かったス!!
そして「妖怪伝」トレカ
交換会!! これも
もりあがった!!
ーところで、
来年こそは
ゲームで楽しみ
ましょうね!
(トレカでね!!)
そして次の日ーー
"みなと博"だァ!!
2時間(ーン)かけて 並んで見た
"鬼太郎ワンダーシアター"
良かったッス!!
そして第2回世界妖怪会議!!
今年は"妖怪"の本格的話
題も出ていて◎!!
今回の妖怪会議の
主役とも言うべき
多田克己センセイ
ーところで、角川書店
から出版される妖怪雑誌
『怪』(京極夏彦責任編集!)
にて、多田センセイは、『百々(どど)
目鬼(めき)』について ふれていると
か、いないとかーーー
『百々目鬼』といえば!!
同じ角川から
出版されてる
『ザ・ホラー』
(A5・590えん)
に「百々目鬼
ギオン」という
妖怪ヒーローマンガ
が載っているぞ!
必見ナリ!!
☆うわさ話☆
次の妖怪会議は
ヒロシマあたりとか
……?
おわり
© T. MORINO.

特集！墓場鬼太郎

☞幽霊一家



☞幽霊一家・墓場の鬼太郎



☞幽霊一家・墓場の鬼太郎



☞地獄の片道切符



☞下宿屋



☞あう時はいつも死人



☞吸血鬼と猫娘



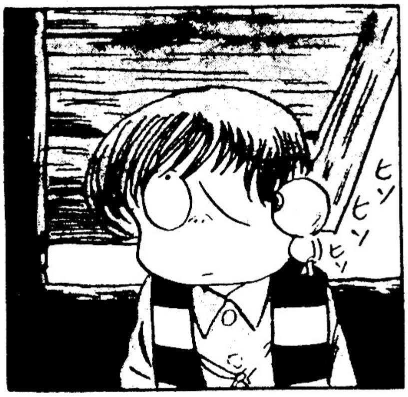
☞地獄の散歩道



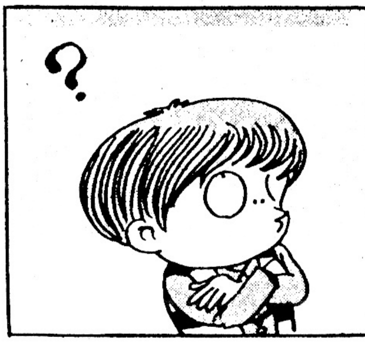
☞水神様が町にやってきた



☞おかしな奴



☞顔の中の敵



☞ボクは新入生



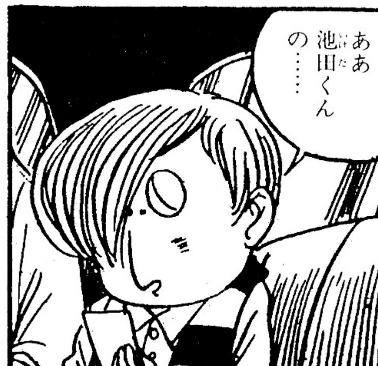
☞怪奇一番勝負



☞アホな男



☞霧の中のジョニー



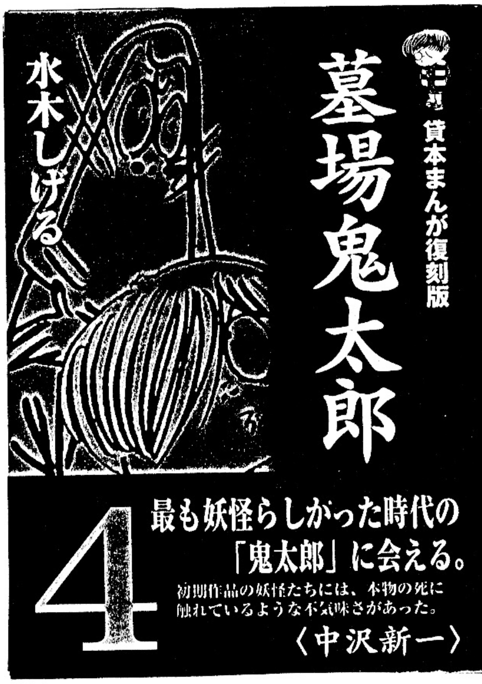
☞ないしょの話



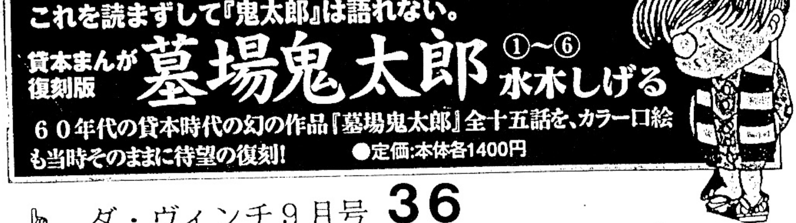
九七年！水木伝説が十周年の年。そして鬼太郎のアニメが2年目に突入した年。水木マニアが狂喜する大事件が起こった！　二月と九月に貸本漫画版の墓場鬼太郎が当時の貸本状態のまま、限定千部ではあるが講談社から復刻され、七月末には貸本版・墓場鬼太郎全十五作品が角川書店から復刻される。カラーページもそのまま復刻され、限定予約性ではないので誰でも容易に貸本版の鬼太郎を読むことができるようになった。貸本漫画の鬼太郎は、これまで何度か復刻されているが、このように、完全な形でしかも容易に読めるようになったのは初めてではなかろうか？

　こんな大事件は、そう度々起こるものではない！そこで水伝編集部は**特集！墓場鬼太郎**と題して特集を組むことにした。まず十五本の墓場鬼太郎を知ってもらうために『貸本漫画版・墓場鬼太郎作品リスト』を作成。貸本版のリストはこれまで何度か発表されたが、今回は角川書店の復刻版を元に作成した最新版だ。そして『貸本版・墓場鬼太郎復刻本リスト』は公的に発売された墓場鬼太郎の復刻本を全て紹介し、その復刻本の広告や紹介記事も併せて掲載している。それらの復刻本の中から、水伝編集部が特に興味深いと思った解説『放浪とロマンの妖怪』と『貸本漫画と水木しげる』を再録。我々素人の駄文よりも読者により墓場鬼太郎を良く知ってもらおうと考えたからだ。続く『墓場鬼太郎・奇人変人図鑑』を企画したのは貸本版・墓場鬼太郎がこんなに面白いのは、妖怪と鬼太郎の格闘よりも、ゲスト出演する人間キャラとの絡みに比重を置いたからだと思う。人間たちの社会で生きる妖怪、鬼太郎やねずみ男に生じるギャップが愉快でならない。そして人物もとてもユニークである。奇人変人図鑑というタイトルには語弊があるが、前々回の特集が「ヒューマンドキュメント」だったため、似たような企画になることを避けたかったためである。

　そして貸本漫画から離れ、毎回好評だった『新カラー版・ゲゲゲの鬼太郎テスト』の「解答・解説」とデーモン佐藤の『実写版鬼太郎特集』。『東映アニメフェア・ゲゲゲの鬼太郎』は九七年公開の2作品をレポート、そして現在放映中のアニメ『ゲゲゲの鬼太郎放映リスト』と最後に木村香織さんの資料性も高い『鬼太郎マルチレポート』も必見！最後までごゆっくりお楽しみください。



週刊文春　8月12号



ダ・ヴィンチ9月号

貸本漫画版・墓場鬼太郎 作品リスト

発表年	作品名	ページ数	発表誌	出版社
1960(昭和35)年	幽霊一家	68	妖奇伝 1	兎月書房
〃	幽霊一家　墓場の鬼太郎	64	妖奇伝 2	兎月書房
〃	地獄の片道切符	32	墓場鬼太郎 1	兎月書房
〃	下宿屋	95	墓場鬼太郎 2	兎月書房
〃	あう時はいつも死人	100	墓場鬼太郎 3	兎月書房
〃	吸血鬼と猫娘	176	鬼太郎夜話 1	三洋社
1961(昭和36)年	地獄の散歩道	175	鬼太郎夜話 2	三洋社
〃	水神様が町へやってきた	159	鬼太郎夜話 3	三洋社
〃	顔の中の敵	160	鬼太郎夜話 4	三洋社
1962(昭和37)年	怪奇一番勝負	135	墓場鬼太郎 シリーズ	兎月書房
〃	霧の中のジョニー	133	墓場鬼太郎 シリーズ	兎月書房
1964(昭和39)年	おかしな奴	132	墓場鬼太郎	佐藤プロ
〃	ボクは新入生	130	墓場鬼太郎	佐藤プロ
〃	アホな男	130	墓場鬼太郎	佐藤プロ
〃	ないしょの話	135	墓場鬼太郎長編読み切り	東考社



貸本版・墓場鬼太郎 復刻本リスト

タイトル
①発表年月日　②収録作品　③出版社　④書籍サイズ・シリーズ名
⑤価格(発売当初の物)　⑥ページ数　⑦備考

復刻版・墓場鬼太郎①
①昭和51年３月20日初版発行　②おかしな奴、ないしょの話　③二見書房　④サラ文庫７(昭和漫画傑作集)　⑤２９０円　⑥ 274ページ　⑦解説－鈴木ヒロミツ、加太こうじ(表紙書下し、初めての復刻本)

復刻版・墓場鬼太郎②
①昭和51年３月20日初版発行　②ボクは新入生、アホな男　③二見書房　④サラ文庫８(昭和漫画傑作集)　⑤２９０円　⑥ 266ページ　⑦解説－和田アキ子、清水昶　(表紙書下し、河童の三平、悪魔くんもリリース)

復刻版・墓場鬼太郎②
①昭和51年３月20日初版発行　②怪奇一番勝負、地獄の片道切符　③二見書房　④サラ文庫９(昭和漫画傑作集)　⑤２５０円　⑥ 170ページ　⑦解説－守屋浩　(表紙書下し、全３巻同時発売、同年３月31日再版)

ないしょの話
①昭和59年10月31日初版発行　②ないしょの話　③東考社　④桜井文庫－40　⑤６００円　⑥ 136ページ　⑦限定500部

鬼太郎夜話
①昭和57年１月25日初版発行　②吸血鬼と猫娘、地獄の散歩道、水神様が町へやってきた、顔の中の敵　③中野書店　④Ｂ６版　復刻シリーズ第５弾　⑤14800円　⑦限定500部、全４巻セット、別冊／戦地スケッチ画帖付き、豪華化粧ケース

水木しげる貸本漫画傑作選①墓場鬼太郎〈上〉
①昭和61年６月30日初版発行　②おかしな奴、怪奇一番勝負　③朝日ソノラマ　④Ｂ６版　⑤５２０円　⑥ 278ページ　⑦解説－柊澤秀樹

水木しげる貸本漫画傑作選②墓場鬼太郎〈下〉
①昭和61年６月30日初版発行　②ボクは新入生、アホな男　③朝日ソノラマ　④Ｂ６版　⑤５２０円　⑥ 274ページ

水木しげる貸本漫画傑作選③鬼太郎夜話〈上〉
①昭和61年７月30日初版発行　②吸血鬼と猫娘、地獄の散歩道　③朝日ソノラマ　④Ｂ６版　⑤６２０円　⑥ 362ページ

水木しげる貸本漫画傑作選④鬼太郎夜話〈下〉
①昭和61年８月30日初版発行　②水神様が町へやってきた、顔の中の敵　③朝日ソノラマ　④Ｂ６版　⑤５８０円　⑥ 326ページ

水木しげる貸本漫画傑作選⑪霧の中のジョニー・ないしょの話
①昭和62年２月28日初版発行　②霧の中のジョニー、ないしょの話　③朝日ソノラマ　④Ｂ６版　⑤５２０円　⑥ 278ページ

複刻版◇墓場鬼太郎・妖奇伝
①平成４年発行　②幽霊一家、墓場鬼太郎、地獄の片道切符(上巻)、下宿屋、あう時はいつも死人(下巻)　③青林堂　④Ｂ６版　⑤3689円(税別)　⑦２巻１セット、カラーページも完全復刻したのは本巻が始めて。作品リスト、解説も充実している。解説―伊藤徹、呉智英

完全複刻版　墓場鬼太郎
①平成９年２月25日発行　②怪奇一番勝負、霧の中のジョニー　③講談社　④Ａ５版　⑤ 14563円　⑦原本をそのまま完全復刻。２巻１セットで、解説書と著者サイン色紙が付く。限定1000部。

完全複刻版　墓場鬼太郎【佐藤プロ編】
①平成９年８月20日発行　②おかしな奴、ボクは新入生、アホな男　③講談社　④Ａ５版　⑤ 19000円　⑦原本をそのまま完全復刻。３巻１セットで、解説書とサイン入りメンコが付く。限定1000部。

貸本まんが複刻版　墓場鬼太郎１
①平成９年７月31日初版発行　②幽霊一家、墓場鬼太郎、地獄の片道切符下宿屋、あう時はいつも死人　③角川書店　④Ｂ６版　⑤1400円　⑥ 378ページ　⑦解説―水木しげる、全巻カラーページ完全復刻

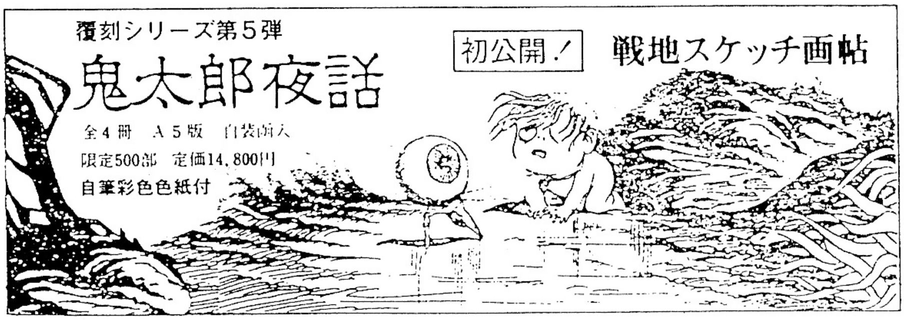
貸本まんが複刻版　墓場鬼太郎２
①平成９年７月31日初版発行　②吸血鬼と猫娘、地獄の散歩道　③角川書店　④Ｂ６版　⑤1400円　⑥ 366ページ　⑦解説―京極夏彦

貸本まんが複刻版　墓場鬼太郎３
①平成９年７月31日初版発行　②水神様が町へやってきた、顔の中の敵　③角川書店　④Ｂ６版　⑤1400円　⑥ 330ページ　⑦解説―荒俣宏

貸本まんが復刻版　墓場鬼太郎４
①平成９年７月31日初版発行　②怪奇一番勝負、霧の中のジョニー　③角川書店　④Ｂ６版　⑤1400円　⑥ 282ページ　⑦解説―中沢新一

貸本まんが復刻版　墓場鬼太郎５
①平成９年７月31日初版発行　②おかしな奴、ボクは新入生　③角川書店
④Ｂ６版　⑤1400円　⑥ 274ページ　⑦解説―養老孟司

貸本まんが復刻版　墓場鬼太郎６
①平成９年７月31日初版発行　②アホな男、ないしょの話　③角川書店
④Ｂ６版　⑤1400円　⑥ 304ページ　⑦解説―高橋克彦



貸本まんが復刻版
墓場鬼太郎①〜⑥
水木しげる
定価：本体各１４００円
貸本時代の幻の作品『墓場鬼太郎』全十五話を、カラー口絵も当時のままに待望の復刻。鬼太郎のルーツがここにある。

↑角川書店単行本案内―九七年八月

←朝日ソノラマ・宇宙船広告

怪奇、幻想、恐怖、戦慄――貸本漫画界を席巻した水木しげるの傑作を厳選した待望のシリーズ！　幻の名作が甦った!!

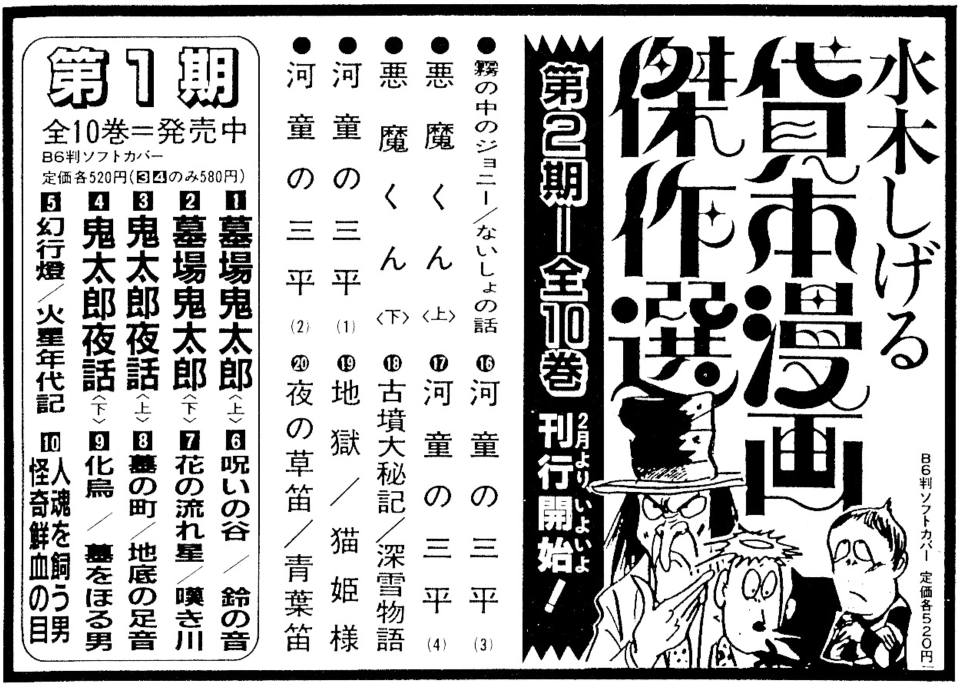
水木しげる
貸本漫画傑作選

第一期――全10巻
B6判ソフトカバー
定価各５２０円

1 墓場鬼太郎〈上〉
2 墓場鬼太郎〈下〉
3 鬼太郎夜話(1)(2)
4 鬼太郎夜話(3)(4)
5 幻行燈／火星年代記
6 呪いの谷／鈴の音
7 花の流れ星／嘆き川
8 墓の町／地底の足音
9 化鳥／墓をほる男
10 人魂を飼う男／怪奇鮮血の目



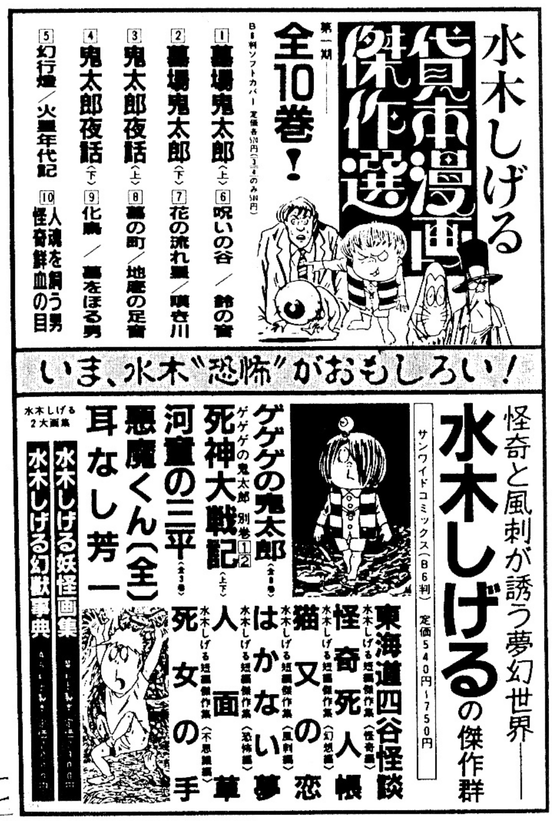
6月より刊行開始！



☝ 朝日ソノラマ『宇宙船』広告

☟ 二見書房『昭和漫画傑作集』広告　☟ 朝日ソノラマ『貸本漫画傑作選』広告





放浪とロマンの妖怪

——墓場鬼太郎について——

加太こうじ

昭和三十年頃だったと思うが、西宮市の今津水波町の水木しげるの家の二階で、水木と私と、その頃、阪神劇画社という紙芝居の製作所を経営していた鈴木という男とが、紙芝居のストーリーについて話をしていた。水木は鈴木の阪神劇画社専属の紙芝居画家兼作者だった。そのとき、昭和八年頃、『ハカバキタロー』という紙芝居があって大ヒットをしたという話がでた。その題名を漢字に直して『墓場鬼太郎』という紙芝居を作ったらどうかと鈴木が提案した。物語というものは、作りなれていると、題名を考えればその題名がヒントになって、物語が創作されるということもある。水木の紙芝居『墓場鬼太郎』はそんなことで生まれたものだった。

それから数年で、紙芝居は衰退し、水木は東京へきて貸本用単行本を描くようになった。その当初の、何冊目かの作品が紙芝居でヒットした『墓場鬼太郎』だった。このとき『ハカバキタロー』の作者伊藤正美と、水木のあいだで話し合って、『墓場の鬼太郎』と〈の〉を題名に入れることになったときいている。さらに、テレビ漫画になるとき、墓場では感じが暗いということで、『ゲゲゲの鬼太郎』と再改訂されたらしい。

水木は少年時代に大阪で放浪生活をした。その後、兵隊にとられて南方のニューブリテン島のラバウル市へいった。これも一種の放浪だった。そこで、爆撃をうけて左腕を切断した。傷夷軍人として東京へきて、戦後は、生まれ故郷の鳥取県境港市を遠くはなれた生活を四年ほどつづけた。その間、魚屋や輪タクの親方もするという変転だった。水木は少年時代から約十年間を放浪のような生活をした。その放浪のあいだに水木しげるという人間が形成されたのである。

水木の一時期を代表するこの『墓場の鬼太郎』は、そういう若き日の彼の放浪生活をぬきにしては考えられないだろう。アウトサイダーよりも、もっと仲間はずれにされている者、それが妖怪変化だとすれば、墓場の鬼太郎はそれだし、ある時期の水木自身もそのたぐいだったのかも知れない。そういう、仲間はずれになっている者が、仲間を求め、その仲間たちのしあわせをねがう純情さ、それも、鬼太郎の純情さであると共に、水木しげるその人の純情さだったかも知れない。

それでは、水木の人生や考えを決定した放浪は、どこから生まれたのかといえば、一つは戦争という時代であり、他の一つは水木しげるというたぐいまれな個性が、ロマンを求めてやまなかったということに起因していると思える。近頃、生活も仕事も安定した水木になったと私は思っていた。ところが、このあいだ、水木は私に「ラバウルへいって、ずっと暮らそうかと思うんです」と、なかば本気でいった。水木は五十歳を過ぎても放浪とロマンを求めているのだなと私は思った。そういう水木には期待してもいいのである。





※ 二見書房『墓場鬼太郎①』解説 再録

貸本漫画と水木しげる

柊澤秀樹

昭和三十二年、水木しげるは「ロケットマン」で漫画家としてデビューをした。その後「怪獣ラバン」「プラスチックマン」等を貸本漫画で書き下ろし、昭和三十四年『妖奇伝』に漫画で初めて鬼太郎物「幽霊一家」を発表する。

「怪奇一番勝負」（昭和三十七年、兎月書房）は墓場鬼太郎シリーズ第十作目にあたる。歯を剥き出し潰れた片眼をかくさず人間に死をもたらす鬼太郎は当時の読者には怪異な妖怪という印象を与えた。水木しげるは「怪奇一番勝負」と同じ兎月書房から「霧の中のジョニー」を発表する。後に「吸血鬼エリート」として書き直された作品だが、この辺から徐々に正義の味方としての鬼太郎が描かれてきている。「おかしな奴」は二年後の昭和三十九年、佐藤プロから出版、冒頭には鬼太郎の誕生が書き直されているが、『妖奇伝』の"鬼太郎誕生"と異なり、鬼太郎は生まれた時に両眼があり、墓石にぶつかり片目が潰れたことになっている（『妖奇伝』では生れながら片眼であった。）この時には既に人に災いを与える鬼太郎ではなく、怪奇事件専門解決屋となり超能力を使い怪仙人と闘う。三十九年に「ボクは新入生」と「アホな男」を発表する。出版社は前作品と同じ佐藤プロ。佐藤プロは「影男」等で有名な漫画家、佐藤まさあきの作ったプロダクションで、水木しげるの他にも平田弘史や楳図かずおの単行本を出していた。「ボクは新入生」は東京に怪気象が出現！調布市が包まれ妖怪の町になってしまい鬼太郎たちも巻き込まれてしまう。この作品には漫画家、水木しげるとその家族も出演している。「アホな男」は臨終間近のヤクザの親分が突如として元気になり、若返り始めた原因はネズミ男の血を輸血したからであった。これを知った親分は子分を総動員しネズミ男の血液を狙う、ネズミ男が中心のお話。兎月書房、佐藤プロ以外では東考社から「ないしょの話」、昭和三十五年に三洋社から「鬼太郎夜話　全四巻」が刊行された。三洋社は現在『ガロ』等を出している青林堂の長井勝一が社長をしていた。「鬼太郎夜話」は吸血木の芽をネズミ男から始まるが、これは前に刊行された兎月書房の鬼太郎シリーズ「会う時はいつも死人」（昭和三十四年）のつづきで、夜叉と吸血鬼の激闘の後、二人の亡骸が一つの肉塊と化し、ネズミ男は、これから吸血木の芽を作り出す。ここで話は終わっている。その年、水木しげるの鬼太郎シリーズは突如中断され、兎月書房は水木しげるの後釜に竹内寛行を起用して鬼太郎シリーズを続けた。竹内版では、吸血木の芽が出たとたんネズミ男は惨殺されてしまい、鬼太郎の育ての親の水木は私立探偵・成見七郎と名を変え鬼太郎と一緒に悪い妖怪と闘う。竹内版では初めから鬼太郎は正義の味方として描かれていた。「鬼太郎夜話」では、吸血木によって体を毒されていくトランク永井の悲劇、猫娘との恋、ニセ鬼太郎の出現、東京を襲う水神、ネズミ男と人狼ガマ令嬢の三角関係——等々といった内容で未完に終わっている。次の五巻目カメ男の巻は、原稿を紛失され、永遠に読めない幻の作品となってしまった。水木しげるは昭和三十八年に怪奇時代劇を多く書いている。やなぎプロからの「火星年代記」は、

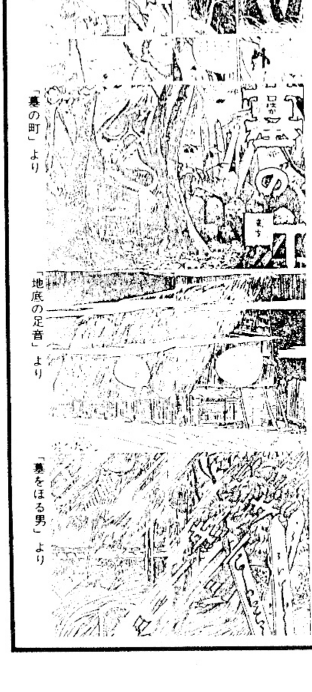
※ 朝日ソノラマ『墓場鬼太郎〈上〉』解説再録

幕末、瀬戸の火車を探す魔人モゲータと蘭学者との奇想天外な闘い。セントラルから出た「幻行燈」は、人魚姫の題材を江戸時代に置きかえ、「呪いの谷」は全慢プロダクション発行で、一人の女性を愛してしまった双児の兄弟の悲劇を描いている。このシリーズは幻想ロマン的作品が多い。「鈴の音」は、呪いの鈴の音に隠された恐るべき秘密と元薩摩藩の総大将に降りかかる恐怖を描く。出版社はやなぎプロ。「花の流れ星」「嘆き川」は、共にセントラル文庫から出版。「流れ星」は中国の民話で有名な白蛇伝から題材を取り、「嘆き川」は、ある日突然、自分が吸血鬼の血が流れていることを知った青年の悲話を幕末から明治にかけて描く。昭和三十八年頃は、貸本漫画の中では、小島剛夕や平田弘史の異色時代劇が受けていたが、水木しげるは、現代怪奇漫画も多く手がけている。「墓の町」は昭和三十七年に曙出版から刊行、死霊の町に迷い込んだ少年の恐怖譚。「地底の足音」は地底からの怪物出現を阻止しようとする老博士の話で、昭和三十八年に文華書房より出版。兎月書房も、いずみ出版と名を変え、「化鳥」を三十七年に出している。ムー大陸に漂着した学者がキノコと変貌していきながら人類創生の秘密を発見する。「墓をほる男」三十八年曙出版刊行――学生が怪奇作家にプレゼントをするために墓を荒し怪事件が起こる。「人魂を飼う男」は文華書房から三十七年出版。人魂を喰べることを発見した男に異常が起き仲間を増やしていく。同じ文華書房から三十七年に出版した「怪奇鮮血の目」は肉体と魂を入れ変えられ老人と化した青年の哀話。

水木しげるは昭和四十年頃まで貸本漫画を専門に書いていたが、以後、『少年マガジン』を中心に雑誌へと移り現在に至る。

← 朝日ソノラマ・宇宙船紹介記事

妖怪コーナー第8回 水木しげる貸本漫画がワイド版新シリーズで登場！



「呪いの谷」より
「墓の町」より
「地底の足音」より
「墓をほる男」より



「墓場鬼太郎〈上〉」より
「鬼太郎夜話」より
「鬼太郎夜話」より
「幻行燈」より

鬼太郎ブームで各社から水木しげる作品集が続々と出ているが「貸本時代の水木しげるを読みたい！」という要望に応え、水木ファンが「フハッ」と喜ぶ凄い作品集が小社からワイド版新シリーズ『水木しげる貸本漫画傑作選』として出たぞ！　今では読めない貸本作品から20作品をリストアップ各2作品を一冊に収め全10巻で毎月1冊ずつ出版、現在2巻目まで発売中！　（これで古本屋で万札をはたかないですむ）第1巻は「墓場鬼太郎」シリーズの「おかしな奴」と「怪奇一番勝負」、「おかしな奴」は謎の怪物体に戦いを挑む鬼太郎の話、鬼太郎誕生も収録。「怪奇一番勝負」では今は見られない人に災いを呼ぶ恐ろしい鬼太郎が見れるぞ。2巻目には鬼太郎が妖怪大学に入学する「ボクは新入生」とネズミ男大活躍の「アホな男」収録。7、8月には「鬼太郎夜話」が前後編で出る。後編ラストの話と深大寺スキヤキパーティーに注目！

5巻目から内容は異色時代劇シリーズに変わり「火星年代記」と「幻行燈」が発売される　「悪魔くん」の話にも使われた「火星年代記」は中々の傑作、「幻行燈」は人魚姫を時代劇に置いた怪作！　続いて「呪いの谷」と「鈴の音」、そして7巻目は大蛇と絵草紙書きの恋を描く「花の流れ星」と吸血鬼として生まれてきた男の悲劇の話「嘆き川」が出る。そしてお待たせ、これはスバラシイ。8巻からは遂に現代恐怖シリーズ、8巻目の中味がスゴイ。「墓の町」と「地底の足音」だ！　特に「墓の町」は貸本マニアがいくら探しても見つからなかった幻の作品。9巻は水木版マタンゴともいう作品「化鳥」と猟奇の果てを描いた「墓をほる男」。ラスト10巻には、「人魂を飼う男」、「怪奇鮮血の目」と、どれをとっても珍しい異色作ばかり、（この調子でもっと出て欲しいシリーズだ。）新しい水木ファンの人は、ぜひ読むべし！　しかし貸本時代の水木しげるが読めるなんて良い時代になったね、ホント！



墓場鬼太郎 奇人変人図鑑

水木しげると売れない漫画家、そしてその周辺の人々は不思議と妖怪に縁がある。彼らもまた妖怪もキビシイ社会で力いっぱい生きているのだ。



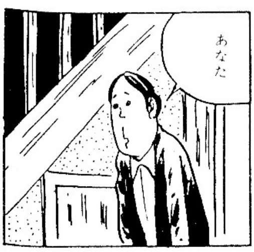
水木さがる

霊的感度が高く、怪奇モノを専門とする劇画作家で、貧しい生活を送っている彼は「ボクは新入生」に登場した『水木しげる』に瓜二つだが、同一人物であるかどうかは定かではない。鬼太郎に勧誘された「あの世保険」に付いたいた「怪奇オリンピック」の招待状によって生きたままあの世に送られてしまう。
{アホな男}



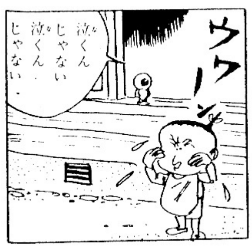
水木しげる

ある日漫画のネタに詰まり、アイデアを出そうと自宅近くの喫茶店でコーヒーを飲んでいたが、自分の作品に登場する『鬼太郎』たちに出会い自宅の物置に住ませる。同じ頃東京のいたるところにお化けが出没。ガモツ博士が作り出した「妖気放出装置」で町全体がブリガドーン現象に包まれる。水木もブリガドーンの中で妖怪と同化しようと思うがある日突然元の世界に戻る。　{ボクは新入生}



水木さがるの妻

彼女も、またその娘も「ボクは新入生」に登場した水木しげるの家族にそっくりだが同一人物であるかどうかは定かでない。
{アホな男}



花子

水木しげるの娘。水木家の周りがお化けに占領されたとき、「かさちゃん」と「一つ目ちゃん」というお化けの子供と友達になる。　{ボクは新入生}



水木しげるの妻

少ない収入で生活をやりくりし、二人の子供を育てるたくましい日本の母のイメージが作品の中では良くでている。
{ボクは新入生}



清水書房社長

売れない漫画家・村田と契約していたようだが、原稿を読むなり「商売にならない」と契約を断わる。 ｛怪奇一番勝負｝



村田

怪奇漫画家を正業としていたが失業してしまい、下宿の家賃が払えなくなりやむを得ず、同じ下宿の２階を借りていた殺しやの金田に雇われる。金田の実家に住みついた妖怪(鬼太郎)を追い出す仕事を手伝わされその妖怪と死闘を繰り広げるが、相手の妖怪に殺されてしまう。
｛怪奇一番勝負｝



赤林堂

水木さがると契約している漫画出版社。先頃倒産した青林堂との関係は？

｛アホな男｝



だるま文庫

関西弁を話し、水木さがるに10万円前借りさせてやった。原稿が出来上がってないと知ると10万円分の家を解体して持って行こうとする。 ｛アホな男｝



金野なし太

売れない漫画家。只の下宿屋に住み込んだお陰で夜叉とドラキュラの二人の吸血鬼に狙われるはめになる。
｛下宿屋、他｝



水木の友人

漫画家らしい。鬼太郎と同居していることに不安を持った水木はこの漫画家の友人に相談する。観察して後世に名を残すことを提案する。｛墓場鬼太郎｝



占いのばあさん

水木の母の知り合いのようだが、鬼太郎の処置について訪ねてきた水木の母に「地獄へ突き落せ！」とアドバイスする。
｛地獄の片道切符｝

鬼太郎に最も接近した者たち。しかし、彼らは鬼太郎を理解しようとはしなかった。その酬いなのか？彼らは不幸のどん底へ落ちていく…

更新手続きのお知らせ

’99年度１月より『水木しげるＦＣ・水木伝説』の新期に入ります。貴方様の会費が『水木伝説ＸⅣ・悪魔くん特集Ⅲ』の配布で切れますので年会費を納金してください。送金方法は……

年会費４０００円を

現金書留か、

定額郵便小為替で

〒６５４－０１５１

神戸市須磨区北落合３丁目

３８－２１７－７０９

水木しげるＦＣ・水木伝説　迄

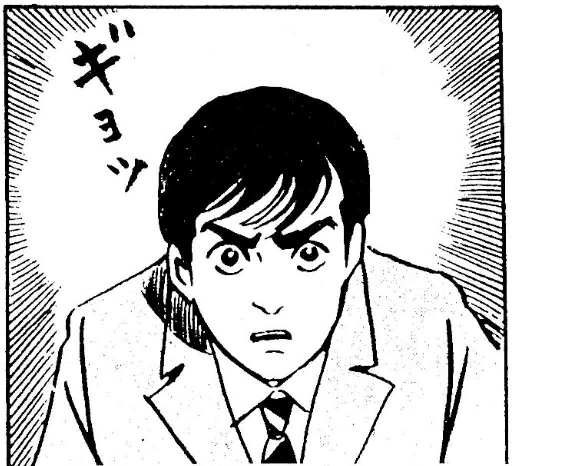
お送りください。

尚、’99年度より「第○○期」という会期呼称をとりやめて、入会・更新月より１年間を会期と致します。ですから、個人個人によって更新時期が変わります。詳しくは更新手続きを済ませた会員に配布される『フハッ・第42号−コケカキイキイ特集−』にて。



禿山頭取

水木の勤める血液銀行の頭取。自分の会社の製品に幽霊の血が混じった事件を水木に調査させるが、水木は行方不明に、更にそれがきっかけで「我社の信用」はがた落ち。倒産寸前に追い込まれる。その後偶然であった鬼太郎親子が「幽霊の血」事件に関係があると知ると警察に引き渡そうとする。しかし、逆に地獄流しにされ地獄で水木と再会。水木は鬼太郎に頼み地上に出るが、禿山はそのまま三途の川を渡った。｛幽霊一家、あう時はいつも死人　他｝



水木くん

血液銀行の調査係。会社の血液に幽霊の血が混じっていた事件を調査中犯人が幽霊族の最後の生き残り『幽霊一家』である事を知る。鬼太郎の育ての親で、夜な夜な不可解な行動をする鬼太郎を尾行中生きたまま地獄へ落されるが、偶然地獄で鬼太郎と再会、頼んで地上に返してもらうが水木の肉体からは死体の臭いがし、顔色は死者のように青い。「水神様」の大洪水事件で鬼太郎と別れるが、今でも死臭を漂わせながら日本のどこかで生きている事だろう。
｛幽霊一家、おかしな奴 他｝



ニセ鬼太郎

姿・形は鬼太郎にそっくりだが、戸籍謄本もあるりっぱな(?)人間の子供。鬼太郎のことを貸本漫画等で研究、その神通力が鬼太郎のちゃんちゃんこにあることを突き止めちゃんちゃんこを盗む。本物の鬼太郎に成り代わり一世を風靡しようと企むがTV出演を果たしたさいに、地獄の砂を取りにいかされるはめになる。ねずみ男と手を組んでいるので彼の天敵・猫娘を地獄へ道連れにし、その罪の深さを知り地獄より帰った後は頭を丸める。最後は「水神様」に溶かされるという哀れなものだった。
｛吸血鬼と猫娘、地獄の散歩道｝



水木の母

東京都調布市の下石原に息子の水木と二人で暮らす。息子の連れてきた不気味な赤ん坊・鬼太郎を水木と一緒に育てるが、幼児に成長した鬼太郎が夜な夜な不可解な行動をするので息子に後をつけさせる。ある日、水木は行方不明になり、鬼太郎に「生きながら地獄へ行った」と聞かされる。息子のかたきと鬼太郎を崖から突き落すが、恐怖のあまり狂人となってその後は行方不明。
｛幽霊一家、地獄の片道切符　他｝

❀ 学者、医師、教授、頭の良い彼らは空想世界になくてはならない存在だ。しかし、水木しげるの作品に登場する者たちは決して映画のようにカッコよくなく、オキシジェンデストロイヤーでゴジラを葬ったり、マーカライトファブを発明したりせず。私利私欲に走ったり、心がやさしすぎたり、また間抜けな者も多い。



村岡花夫

山田一郎と同じ大学の同じ鯨の研究生。また山田と同じ天才と呼ばれている青年であるが、実家は大金持ちで正反対。性格の方も研究を私利私欲の為に利用しようと考えたり、山田の才能を妬み殺そうと企む悪い奴。負傷した山田にゼウグロノドンの血液を注射し殺そうとするがねずみ男の活躍で山田は無事帰り、花岡はニセの血液を持ち帰り学会で発表。笑い者になる。

{ないしょの話}



山田一郎

青森大学の天才で心やさしき青年。ニューギニアに生息するという鯨の祖先「ゼウグロノドン」を研究するためニューギニアへ行きたいのだが実家は貧乏。大学の講堂で花岡を挑発して資金を出させたのは彼の作戦であろうか？その資金で鯨神調査隊を編成。しかし突然現れたゼウグロノドンの猛威の前に重傷を負わされ、さらに花岡の妬みでゼウグロノドンの血液を注射されゼウグロノドンにされてしまう。

{ないしょの話}



団長

ゼウグロノドンの猛威で全滅した調査隊が奇跡的にも採血に成功。血液を山田に託し絶命する。

{ないしょの話}



青森大学研究室員

ニューギニアで調査隊が全滅した事と一郎が行方不明になっている事を両親に報告し30万円手渡して帰る。

{ないしょの話}



山田の両親

「でもね お前が良くできている息子であればあればあるほど親は遠くへ行くことを心配するのだよ」名セリフだと思いません?

{ないしょの話}



湯川博士

調布市の異常スモッグ現象を「科学では解決できない」と主張する。一応学識経験者。
{ボクは新入生}



日本学術会議の5人

死後の世界からやってきたというねずみ男たちを疑い、物的証拠として地獄の砂を持って来いという。
{吸血鬼と猫娘}



有馬凡

理学博士。50年間『夜叉』の研究を続け、その成果あってか？死の直前「夜叉」の墓を発見。自らの肉体を犠牲にして『夜叉』を復活させる。
{下宿屋}



石原医師

吸血木を植え付けられたトランク永井氏が診察してもらった医者。トランク永井に毎日 500 ccの血を輸血する。
{吸血鬼と猫娘}



医者

幽霊の血を輸血して、死んでいるにもかかわらず生きている患者の入院している病院の先生
{幽霊一家}



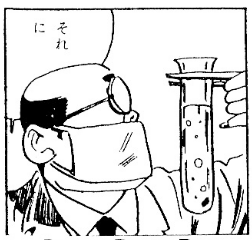
宮城先生

異常スモッグ対策協議会に「超心理学者代表」として出席する。スモッグの中に脳を錯乱させる電波が発生していると主張する。
{ボクは新入生}



院長先生

ねずみ男の血液が不老不死であることを突き止め、「あの世保険」で地獄まで追い掛ける。



医者

ねずみ男が腹痛をおこしたときに診察に来た医師。異常な臭気のねずみ男の尿に興味を持ち持ち帰る。
{おかしな奴}



大学教授

散歩中偶然目玉親父に出会う。魂を抜かれた鬼太郎の様子を見る。
{下宿屋}



先生

鬼太郎の通う小学校の先生。鬼太郎にＰＴＡ会費が溜っていると注意する。
{下宿屋}



先生

鬼太郎の通う小学校の教師。アイウエオを教えるが鬼太郎がよそ見をしていたので立たせる
{吸血鬼と猫娘}



医者

落葉の入院していた病院の医師。院長の助手のようで、ねずみ男の血が不老不死なのを世間に漏れるのを恐れ口を固く閉ざしている。
{アホな男}

日本を守るために働いている者たち。しかし、彼らは妖怪たちに対しあまりにも無力過ぎる。税金の上げ過ぎだ！もっと真面目に働いてもらいたい。



首相秘書

首相に頼まれ鬼太郎を日本中探しまわる。ようやく見つけるが鬼太郎の頭の上にのっかる目玉に仰天する。礼儀正しい人。
{霧の中のジョニー}



刑事

気味の悪い音楽に引かれて人間が消失する事件を調査中『夜叉』に操られた鬼太郎が怪しいと尾行するも、逆に夜叉に血を吸われて絶命する。{下宿屋}



池田勇人

終戦のドサクサに紛れ込んで日本にやってきた吸血鬼ジョニーに狙われたため、鬼太郎を探しだし退治を依頼する。退治のお礼として鬼太郎に日本国籍と勲章を与えようと言うが、２杯のカレーライスで命を守ってもらった。また、「異常スモッグ対策協議会」では政府代表として出席。
{霧の中のジョニー、ボクは新入生}



巡査

夜歩きをする鬼太郎を警護するが、鬼太郎が提灯がわりに使っていた人魂を見るなり驚いて退散する。　{顔の中の敵}



警官

ビート族に騙された鬼太郎をちかんと間違い連行する警官。棍棒に「チカン係」と書かれてあるのが笑える。
{地獄の散歩道}



警官

鬼太郎を地獄に突き落した水木の母親を助けた。
{地獄の片道切符}



動物愛護協会代表

ブリガドーンにミサイルを打ち込むと言う議長に「スモッグの中に生存者がいる」と言うがあっさり蹴られてしまう。
｛ボクは新入生｝



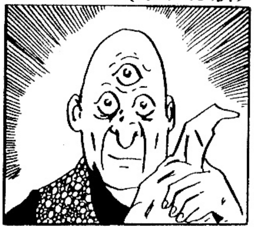
自衛隊代表

異常スモッグ対策協議会で自衛隊代表として出席。戦車部隊が突入したが、元の場所に戻ったと証言する。
｛ボクは新入生｝



異常スモッグ対策協議会・議長

ブリガドーンに原爆ミサイルを発射することにこだわる。こんな奴がいるから世の中おかしくなるんだよ。
｛ボクは新入生｝



チンポ

チベットのラマ僧。と言っても何の事かわからん。3つの目が千里眼の能力をもつ怪僧だ。ドラゴンボールの「天津飯」との関係は？　｛ボクは新入生｝



霊研究会代表

協議会が調布市に原爆を発射と決まりかかった時に「ハハハのハ」と笑って協議会にストップをかける。チンポを呼ぼう。
｛ボクは新入生｝



地元代表

動物愛護協会代表の「人道上」発言に対し、調布市の財産上の発言をする。｛ボクは新入生｝

TVでは有名な芸能人も妖怪の前ではタジタジ。それにトランク永井以外は出番は少ないし、登場者も少ないんですね。



大空ひばり

日本中のミーハー族の人気の的である大スター。プールで泳いでいる所を水神様に襲われ、パンツ一枚を残して消失する。
｛水神様が町にやってきた｝



坂本九

歌手。ねずみ男と鬼太郎親子、ロンドンの人狼やガマ令嬢といった妖怪達の住む高級アパートに何故？か住んでいる。
｛顔の中の敵｝



種づまり

三洋テレビ・アイデア係長。ねずみ男とニセ鬼太郎を一目見てひらめく。この2人のキャラクター性を生かしTV出演させる。　｛吸血鬼と猫娘｝



司会者

あの世からやってきたと自称するねずみ男達を出演させたＴＶ討論番組「死後の世界は本当にあるか」の司会者。
{地獄の散歩道}



司会者

大阪で開かれた『全国飛び入りのど自慢大会』の司会者。鬼太郎の歌う「ガイコツ節」が会場全員を白骨化させようとするのですぐに中止させる。{下宿屋}



トランク永井

流行歌手。終電車に一緒に乗ったねずみ男に口臭を吹きかけられ気絶。吸血木を植え付けられ植物幽霊にされてしまう。しかし、その植物の実の中から見事再生。『墓場の鬼太郎―吸血木』で鬼太郎がやった再生術を鬼太郎より先にやっていた凄い人物。
{吸血鬼と猫娘、水神様が町にやってきた}

必殺商売人。家主に店屋、あんまに探偵と『墓場鬼太郎』に登場する人物の職業は本当にバラエティーとんでいる。



助部支配人

喫茶店「ザ・パンティ」の支配人。植物幽霊になったトランク永井のオブジェをねずみ男に90万円で売る。
{地獄の散歩道}



勅使河原蒼風

トランク永井の変貌した姿・植物幽霊をすばらしいオブジェだと喫茶店「ザ・パンティ」の生け花にする。生け花の先生。
{吸血鬼と猫娘}



郵便屋

「深大寺のスキヤキパーティー」の招待状を鬼太郎の所へ持って来るが、ハガキが人間の作ったものではないと罰金を要求する。
{地獄の散歩道}



貸本屋

貸本代が10円から15円に値上がり！だって定価が 170円になりましたからね。こんな時代があったのだ！今では貸本漫画ウン万円。 {霧の中のジョニー}



パン屋

ねずみ男がアンパン１個を買いにきた所、１個15円であると説明し物価の高昇は池田首相に責任があるという。

{霧の中のジョニー}



マスター

水木しげるが鬼太郎達と出会うきっかけとなった喫茶店「ホームラン」の店主。水木しげるの事を「アルキメデスのような人だ」と言う。{ボクは新入生}



蕎麦屋

水木宅にちゃわんを取りにきた蕎麦屋。ちゃわんに入っていた目玉をつまみ出して踏み付ける無言のパフォーマンスは傑作だ！{幽霊一家・墓場の鬼太郎}



吾作

倒れていたねずみ男を介抱してやるやさしい老人。北国であんまをしており山田一郎の両親とも知り合いである。

{ないしょの話}



老人

「ボロ市」で骨董品を売る露店主。骨董品に混じっていたヒトダマの干物をねずみ男に10円で売る。

{ないしょの話}



不動産屋

若いときに、横山エンタツに付いて漫才をやったことがあるという関西人。やっぱ関西弁はよろしおまんなぁー。

{地獄の散歩道}



大家

水木の家の大家さん。水木が地獄へ落ちてしまい母親が狂人となったので家賃を払えなくなった鬼太郎親子は追い出されてしまう。 {下宿屋}



山下荘・大家

３ヶ月家賃を払えない村田に殺し屋の金田の助手になることを勧める。

{怪奇一番勝負}



大家さん

鬼太郎と水木の下宿する「ねこや」の大家。物価の上昇で家賃を１万円に値上げする。猫娘の婆さんだから人間ではないかも？{水神様が町にやってきた}



秘密探偵

院長にねずみ男を極秘裏に探してほしいと依頼されるが、簡単に口外し、すぐに尻尾を巻いてしまう信用できない探偵者。

{アホな男}

わるいやつら。妖怪よりもこいつら本当に悪い奴なんだ。



森脇真茶光

大臣も震え上がるという森協「メモ」で有名な金貸し社長。若い頃「物の怪」と「水神様」に金を貸したという大人物。
｛水神様が町にやってきた｝



受付

金貸しで有名な森脇真茶光の会社の受付。鬼太郎を見た目で下等な奴と判断する。エリートのいやなところだ。
｛水神様が町にやってきた｝



山田一家

喫茶ホームランで水木しげるにからむやくざ一家。調布市では顔役らしいが、ねずみ男に簡単にやっつけられ退散。後、登場せず。　｛ボクは新入生｝



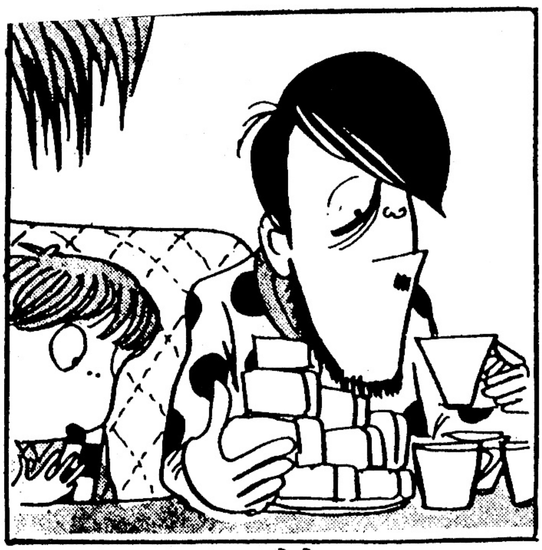
落葉会子分

ねずみ男を探せという親分の命令で、大した手掛かりもないのに病院側の雇った秘密探偵から正体を聞き出したのはさすがである。　｛アホな男｝



落葉喜之助

やくざの大親分。臨終前に輸血した血液がねずみ男の物だったため死ぬどころか、若返ってしまう。　｛アホな男｝



ビート族

鬼太郎が喫茶店でコーヒーを飲んでいる時となりの席に座り、コーヒー５杯とケーキ20個を注文する。我慢をしないのがビート族だと言うが、理屈っぽいだけのスリだ。が鬼太郎を何度も騙し、スリに利用したが遂に鬼太郎の怒りを買ってしまい、心臓も止まりそうな恐怖を味わい、 100万円の貯金を取られてしまう。｛地獄の散歩道｝



金田

正業は殺し屋大きな家を持ち、また山下荘の２階を借りるなどかなりの金持ち。実家に住みついた妖怪・鬼太郎を追い出そうと死闘を繰り広げる。

鬼太郎を冷蔵庫に閉じ込めたり、リモコン手を釘で串刺しにしたりと人間にしては、かなり鬼太郎を追い詰めるのだが最後は殺されてしまう。
｛怪奇一番勝負｝

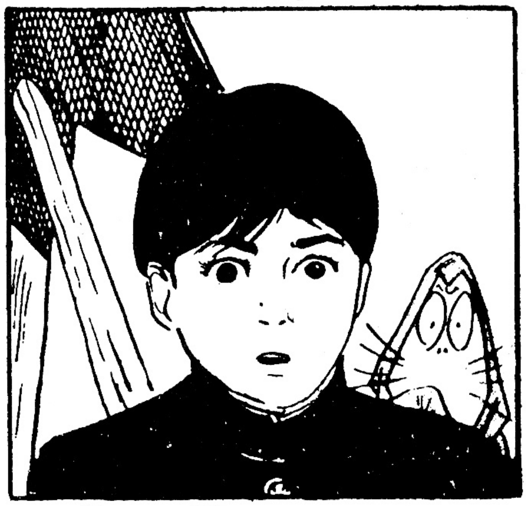
普通の人って珍しいですね。



啓子

昌一の恋人。昌一がタジタジになる程の美人であるが、美人薄命という言葉通り若くして急性肺炎で亡くなっている。死後、体を「おかしな奴」にのっとられ、昌一に接近して命をねらうが、画家に変装した鬼太郎に阻止される。

{おかしな奴}



昌一

鬼太郎が「怪奇事件専門解決」を営んでいた時、出会った依頼者。父親が会社の重役をしていて近年に死亡。一人息子だったため財産がごっそり入る。大きな屋敷に女中2、3人を雇って生活している。巨万の富を得た事が祟ったのか？豪邸内にある古墳に眠っていた老仙人(おかしな奴)に命を狙われる。

{おかしな奴}



男

青森の吹雪の中に、ゴミ箱の蓋をガリガリ噛っている怪しい奴(ねずみ男)を蹴飛ばした男。

{ないしょの話}



登山者

日本アルプスを一人で登山中、地獄の出入口から飛び出てきたニセ鬼太郎に驚き「雪男だ！」と言って逃げていく。

{地獄の散歩道}



女中

昌一が豪邸内に雇っている女中の一人。ねずみ男の注文で作った座布団のようなホットケーキは、水伝イベントの朝食として有名である。{おかしな奴}



永井花子

トランク永井の妻。吸血木から再生したトランク永井が縮んでいたので驚く。

{水神様が町にやってきた}



金田の妻

夫の金田が鬼太郎と死闘を繰り広げている真っ最中にアメリカから帰国。事件とは無関係なのに鬼太郎に殺される。

{怪奇一番勝負}



猫娘のファン

歌手になった猫娘・キャット寝子の猫撫で声に、鼻の下を30cmのばした。

{吸血鬼と猫娘}

第４回 (新カラー版)ゲゲゲの鬼太郎テスト解答・解説

１、①やまたのおろち　②おしろいばばあ　③すいせいのおきな　④やおびくに　⑤かるら

２、①大　②鬼　③猫　④天　⑤山

３、①ウ　②イ　③オ　④ア　⑤エ

４、①オ　②イ　③ア　④ウ　⑤エ

５、①×　②○　③○　④○　⑤×　⑥×

５の⑤の文は「毛目玉」を「丸毛」に直すと、適切な文になります。

６、問１、ア　問２、鬼太郎が無闇に戦うことばかりを考えるようになったから。
問３、山天狗　問４、エ　問５、(1)①日本妖怪を倒すため。
②縫い包み人形の売り上げで中国妖怪帝国の日本支部を作るため。　(2)ア、カ けらけら
問６、ａ、家鳴　ｂ、骨女　ｃ、妖怪戦車　問７、数珠 じゅず 問８、ウ　問９、倩兮女
問10、エ　問11、ア　問12、妖怪水車　問13、ア、ウ　問14、カ　問15、百々爺
問16、自分の父親（魔王）の病気を治すため。
問17、オ　問18、①妖怪王国の建設に必要な資金を集めること。
②他の妖怪の鬼太郎に対する信用を落とすこと。　問19、イ　問20、エ　問21、ア
問22、ウ→エ→ア→カ→キ→オ→イ

７、問１、ウ、キ　問２、人間が妖怪と恋に落ちたから。　問３、朱の盤
問４、ユメコの足に鬼太郎の母がしてくれた手当てが残っていたこと。

問４の発展バージョンみたいな感じで、「鬼太郎の家が無くなっていたことについて思うところを自由に述べよ。」なんて問題も設けたかったのですが、採点に困るのではないかと思い、やめておきました。皆さん、機会があったらこういうのも聞かせて下さいね。

８、ａ、オ　ｂ、ア　ｃ、エ　ｄ、ウ　ｅ、イ

９、ａ、イ　ｂ、ウ　ｃ、ア　ｄ、オ　ｅ、エ

第５回 (新カラー版)ゲゲゲの鬼太郎テスト解答・解説

１、①こわい　②だつえばばあ　③おんもらき　④つるべび　⑤しろうねり
⑥そうずかばばあ　⑦けらけらおんな　⑧おいてけぼり　⑨あかなめ　⑩ぐわごぜ
⑪うみおしょう　⑫ぶるぶる　⑬はたおんりょう　⑭おぼろぐるま　⑮ひでりがみ

ちなみに、②は原作では「だついばばあ」、⑩は妖怪図鑑では「がごぜ」と読まれています。

２、①エ　②ス　③キ　④ソ　⑤シ　⑥ク　⑦サ　⑧オ　⑨イ　⑩ア　⑪コ　⑫ウ　⑬カ　⑭セ　⑮ケ

３、①ク　②エ　③ウ　④コ　⑤オ　⑥キ　⑦ア　⑧カ　⑨ケ　⑩イ

４、①欧米　②欧米　③欧米　④中国　⑤欧米　⑥南方　⑦中国　⑧中国　⑨南方　⑩南方

⑩のペナンガランは本編に二度登場していますが、どちらも同じ南方の妖怪です。

５、問１、ｂ、少年サンデー　ｃ、コミックボンボン　問２、ａ、ウ　ｄ、イ　ｅ、ア
ｆ、ア　ｇ、ウ　問３、ウ　問４、ウ　問５、③ア　④エ　⑤ウ　問６、エ
問７、エ　問８、シーサー　問９、⑨エ　⑪イ　⑫ア　⑭イ　問10、エ、オ
問11、「吸血鬼エリート」　問12、イ　問13、エ　問14、猫娘　問15、妖怪と人間

問２（ａ）について、ちなみに平均視聴率は23.3％です。と、そんなわけで、５回に渡った「(新カラー版)ゲゲゲの鬼太郎テスト」はいかがでしたか？ご意見、感想お待ちしてます!!

ゲゲゲの鬼太郎 & ゲゲゲの鬼太郎 妖怪奇伝魔笛エロイムエッサイム

●資料協力・銅座橋一万円（ゲゲゲの鬼太郎専門家）

●文・でえもん佐藤



月曜ドラマランド版
鬼太郎（六浦　誠）／ねずみ男（竹中直人）

■実写版鬼太郎特集

実写版ゲゲゲの鬼太郎特集をほのめかしてより3年以上経ってますが到頭、終に何を思ったか実写版を振り返ろう…という企画です。鬼太郎が積年の念願かなって4度目のアニメ化となり、多くの水木マニアの予想を上回る、若年層の多大な指示を受け、異様にヒットしている昨今ですが…。

「前作3作目のアニメ化の際も現在と状況はさほども変わっていなかった…」と、最近ファンになられた小、中学生の会員の皆さんに言っておきます。

やはり、当時も似た様な年代の子達がアニパロやったり、同人誌作ったり、と言った状況で、まあ、一つの流行り物ではあった訳で、多くの子供達が水木先生の原作漫画を手に取ったんです。しかし、あの頃は別段最近の様な怪奇・超常ブームでは無かった。

だが、3度目のアニメ化の時は、ちょっと妙な伏線があった訳です。それはアニメ版開始直前に「実写のゲゲゲの鬼太郎」がゴールデン・タイムに放映されたと言う事件（?）があった。原作はその頃連載があったため、割と知られていたが、漫画に興味の無い世代には古(いにしえ)の妖怪漫画が突然、ドラマで放映されたのだから結構インパクトがあったかもしれない。

この事件はある意味、水木ファンの前ではいささかタブーとされる事態ではある…なぜかって？それはだね悪魔くん、河童の三平もシリーズ物として昔、実写として放映されたのだが、これらはかなり評価が高く、未だにマニアの間ではLD等は歴史的財産（?）として大切にされている。

そしてこの「ゲゲゲの鬼太郎」なんだけど、はっきり言って水木作品の中では一般的に最もメジャーと言って差し支え無いと思う。言わば国民的ヒーローでアイドルな訳だ。この鬼太郎の実写版、結果的には必ずしも出来は悪くなかった。しかしちょっぴり濃厚過ぎた様だ。製作したのはアニメ版同様、東映であったが、スーパー戦隊物や宇宙刑事シリーズを製作していた方々であった為か、妖怪物と言うよりモロ、SFになってしまったし、大胆過ぎる演出と横ノリの展開がもう一つ取っつき難い物にしてしまった様に思える。

しかし一本のみの作品ながら（当初は1本のつもりでは無かった）大金を掛けた着ぐるみや凝ったセット、熱演（ハードに）だった出演者達（しかも相当マニアックと言うか大胆なキャスティング）ほとんどかつての香港映画の様な気合いの入れ方であった。

これがもう少しあっさり又は重厚な演出で最近の様に惜しげも無くCGを使って作る事が出来ていれば、マニアに語り継がれる名作となっていたかも知れない。















当初続けて3本は作る、と言う予定だったのだが、その後は音沙汰無く、数年経って突然再登場が発表されたのだが、前作の着ぐるみもセットも御破算、更に大金の掛かった妖怪の着ぐるみを大量に製作し、キャスティングもお馴染み目玉親父（の声）の田の中勇氏以外は総とっかえ！と言う物だった。

更に驚くべき事にOV（オリジナルビデオ）としての作品となったのだった。（今でも店によってはレンタルビデオ店に並んでいると思う）ほとんど島本和彦の炎の転校生アニメ化の時の事態に近い。

　この2作品には共通のプレミアがあり、何と水木先生御自身が霊界郵便配達人の役で出演されている。流石、昔、輪タクで成功されただけあって悪路をものともしない自転車の乗りっぷりは一見の価値あり！

　誰もが知ってる、あらゆる年代層に指示される娯楽番組の「ゲゲゲの鬼太郎」がゴールデンタイムにドラマで放映されたのだから視聴率も悪いはずも無く、32%に達した。

　さて、では肝心の本題…。一体この2作品はどんな作品だったのか…。

◆フジテレビ月曜ドラマランド版

　さて、この鬼太郎の歴史始まって以来、初の（なぜか永い間製作され無かった）実写版が放映されたのは1985年8月5日。監督は小林義明氏。戦隊物が専門の方である。鬼太郎役は劇団日本児童所属の名子役六浦　誠君（当時13歳）。（どうもメインキャストとしては本職が役者なのは彼だけではないのか？）ねずみ男は竹中直人。（これは現在の千葉　繁に近い狙いなのか）これもかなり当時違和感を覚えた視聴者が多かった様だ。子泣き爺は赤星昇一郎（当時子泣き



月曜ドラマランド版・鬼太郎の家のセット





特別出演の水木先生・月曜ドラマランド／上
OV／下

爺のパフォーマンスで有名になり、そのまま抜擢されたらしい）、砂かけ婆は由利　徹（今ならこんな事は無いんだろうけど。当時でもそうだが）目玉親父の声は勿論、田の中　勇。一反もめんの声は増岡　弘。敵の総大将は「女ぬらりひょん」と言う設定で人化の時は夏樹陽子。

　内容は、ある少女・関京子の周辺に妖怪が出没する。手紙を受け取った鬼太郎が調査に乗り出すと、女ぬらりひょんとねずみ男達悪玉妖怪が妖怪王国建設の為の軍資金集めに「ぬらり塾」を隠れ蓑に暗躍している事を突き止めるが吸血鬼エリートによって鬼太郎の体は分解されてしまう。子泣き、砂かけの機転により生命接着剤によって復活。そして見上げ入道、あみきり、おっかむろ、エリート、ぬらりひょんらと対決し見事事件を解決し、いつもの様に人知れず去って行く…と言うストーリーである。

この作品では鬼太郎の家も再現されており、これの出来映えは中々。又、ロケ地や建物、車両などの選択のセンスは良く、多彩であった。

では、マニアらしく裏ネタを。鬼太郎専門家・銅座橋女史の調査ネタでは、ロケ地は新宿、大塚等都内と秩父のセメント採掘場であるとか、あの鬼太郎のかつらは3つ使用されたとか…。

又、銅座橋女史が主演の鬼太郎役・六浦少年に取材した際のお話。（放映から数年後・六浦少年高校生の頃

Q（銅座橋）：鬼太郎以外にやってみたい役は？
A（六浦少年）：ねずみ男！！
Q：特に印象に残った共演者
A：竹中直人さん
Q：ラストの地下鉄で去って行く時の乗客はエキストラ？
A：勿論。普通、乗れませんよ　あれで。
Q：今、振り返って
A：もっと出来たかな？と言う感じです。今となっては。

Q…現在（当時）通っている学校は？
A…日本芸術学園（劇団日本児童の系列）で、高校の資格があります。
Q…所属しているプロダクションは？
A…山王プロダクションでやはり日本児童の系列です。
Q…家族について
A…父・母・祖母・兄・私の五人家族。劇団にはいつの間にか手続きをされてました。
Q…趣味は？
A…バンド、バイク、音楽を聴く。
Q…好きな人達
A…ヘビメタ以外のハードロックはほとんど。ユーミン、井上揚水、安全地帯、爆風スランプ、アルフィー、オフコース、RC、（特にRC！）
Q…好きな役者さん
A…小川真由美さん、渡辺えり子さん、紺野美沙子さん、柴田恭兵さん等、きりが無いです。
Q…これからは
A…とにかく何でもありでどんな役でもやりたいです。
（平成元年当時の事である。念の為）

彼は一見、余り知られていない様だが実際はドラマ、映画等々驚くほど多くの作品に出演している。
映画デビュー作・ハイティーンブギ（1982）での弟役
昭和46年生。東京都出身、AB型の乙女座。
出演作の思い入れとしては、特にインパクトと言う点で鬼太郎が一番との事。
又、吸血鬼エリートを演じた佐渡　稔（本名）は東京ボードヴィルショーの一人（佐藤B作や山口良一の同類）なのだそうだ。
子泣き爺役の赤星昇一郎氏も元々はテレビ朝日系の深夜番組・ウソップランドで子泣き爺のコスプレをする事で有名であった。彼の「夢見るぞ！」は流行語になった。（？）



吸血鬼エリート（佐渡　稔）
なぜか挿入歌まで
歌ってしまう。



当時の六浦少年。
不良少年役。





OV版の製作発表会で勢揃いした妖怪達の着ぐるみ







◆オリジナルビデオ版

本作品の発表会では主人公・鬼太郎と悪魔くん役の二人と、水木先生、メインスタッフ、大量の着ぐるみ妖怪達、とが折り重なりつつ東京目黒の正覚寺で行われた。タイトルは「ゲゲゲの鬼太郎・魔笛・エロイムエッサイム」と言う事でなぜか悪魔くんやメフィストまで出てくる。

内容は、工事で住処を追われた鬼太郎達がさ迷っている処へ悪魔くんから手紙が届く。悪魔くんの担任教師・星先生が妖怪に精気を吸い取られ行方不明になっていた。事件解決に乗り出す鬼太郎。現れた妖怪桜子達を何とか退けるが、ねずみ男の裏切りにより下駄とチャンチャンコを失い、花火玉で打ち上げられる。からくも花火玉から脱出した鬼太郎と牢から抜け出した星先生によって改心した桜子は総大将のぬらりひょんを裏切る。駆けつけたメフィストと悪魔くんによってチャンチャンコを取り戻し鬼太郎はぬらりひょんを妖怪溶解液に落とし、退治する。
桜子は人間の生気を解き放ち、星先生や精気を抜かれていた人間や妖怪達は若さを取り戻した。
ラストはやはり水木先生が自転車で立ち去って行く。

まあ、この作品自体はほとんど前作同様のノリなのだが、前作数体だった妖怪は、今回何と40体も製作されている。ロケ地は、九十九里、足尾銅山、秋田の廃鉱跡と、随分本格派（当たり前）であった。これだけの規模を特撮ビデオでやってしまうところは凄いが、監督としてはTVの制約外の撮影も出来たと満悦の様だ。前作同様、かなりのビデオ合成が使われてはいるが、やはり前作同様、お世辞にも見事とは言い難く、あさりよしとおなら瞬時に激怒してしまうだろう。





月曜ドラマランド版は1時間30分枠であったが、OV版はわずか50分しかなかったので大量な妖怪達はわずかしか登場しなかった。全く別の意味で凄い。しかしこれとて、アトムやブラックジャックの実写版に比べれば数倍マシだろう。（だが加山雄三は大した役者だ。若大将〜っ!!）（因に悪魔くんも月曜ドラマランドで実写化された）実写というジャンルは水木作品にとって最大の可能性がある気がするのだが…。何とかならないものでしょうか。ねェ？馬場会長。



◆スタッフ&キャスト◆

原作／水木しげる
企画／前川和也・吉川　進
プロデューサー／西村政行
脚本／山崎晴哉
監督／小林義明
音楽／馬飼野康二
美術／北郷久典
特殊造形／レインボー造形企画
助監督／大井利夫・近藤杉雄
擬闘／金田　治（JAC）

鬼太郎／六浦　誠
ねずみ男／竹中直人
目玉おやじ／田の中　勇
子泣きじじい／赤星昇一郎
砂かけばばあ／由利　徹
一反もめん／増岡　弘
郵便配達夫／水木しげる
ぬらりひょん／夏樹陽子
網きり／うえだ俊
おっかむろ／汐路　章
吸血鬼エリート／佐渡　稔

１９８５年8月5日放映
フジテレビ・月曜ドラマランド

原作／水木しげる
企画／吉川　進・吉田　達
プロデューサー／西村政行・日笠　淳・加藤和夫
脚本／大原清秀
監督／小林義明
音楽／馬飼野康二
美術／高橋　章
特殊造形／レインボー造形企画
特撮監督／矢島信男
アクション監督／金田　治（JAC）
デザイン／野口　竜

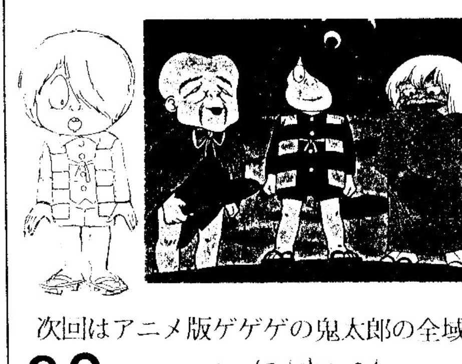
鬼太郎／和田求由
ねずみ男／うえだ俊
目玉おやじ／田の中　勇
子泣きじじい／不破万作
砂かけばばあ／奥村公延
悪魔くん／加瀬悦孝
郵便配達夫／水木しげる
桜子／岩村麻由美
ぬらりひょん／汐路　章
メフィスト／市川　勇
星先生／吉田　淳
濡れ女／余貴美子

１９８７年7月１０日発売
東映・特撮ＯＶ作品






人間が演じた…と言えばこんなのもあった。
1988年7月21日〜8月9日にかけて関東、東海、信越の各地で上演された「奇想天外痛快爆笑劇・ゲゲゲの鬼太郎」と言う舞台であった。
脚本・演出は田村　隆氏。（ゲバゲバ90分や8時だよ！全員集合等のバラエティー番組を手掛けられた方で鬼太郎役は渡辺典子。ねずみ男／アゴ勇、砂かけばばあ／重山規子、妖怪大将／美田　建、死神／賀川雪絵等多数出演。




次回はアニメ版ゲゲゲの鬼太郎の全域、その他

しかもナゼかもう出来ている！


アメとムチ
おのろけ姫公開記念
シリーズ#19
不条理日記 と、いう訳でも無いが の巻
ズガGです。
大三元です。
先日、時計屋で鬼太郎の喋る目覚しを売っていたが
何いっ!! 5千円だとぅっ!?
高くて止めた。
東映
そのパンフとコインと…
一応、映画グッズも買いにだけはたまに行くが
まあまあ
スタンプも
やたら劇場のオバハンにサービスされたり…
レゲエの鬼太郎
ソニーからCD出てたり…
プツン
幼児番組じゃねーぞ …ったく
キレたり…
241番、OK、ゴーだ! 目指せ第2の雑君保プ!
ワラエル
因みに正しくは「アンガ・ヒット」だ
米吉氏へ!
うっかりコレをパーツ取り車とセットで買ってしまった! もちCX-GT!
定盤のアドバンtype-D!
うっかりインプレッサ買ってもいいよ!
因にタカチホ改めサンダーオクトパスはアルシオーネをうっかり買ってしまった。

１９９７年　春　東映アニメフェア



ゲゲゲの鬼太郎　おばけナイター

ＮＯ．１９６　文月　廻



三月七日に期末テストが終わって、八日に東映アニメフェアが始まった。私学なので期末の後はテスト休みというのがある。本来なら家で勉強せねばならないのだが、どうせ学校にバレるわけでもないので、十日に映画館に行った。無論『ゲゲゲの鬼太郎 おばけナイター』を観るためである。

劇場内に入ると私のほかにも客はいた。しかしたったの六人！　少なすぎる…。しかも私が入場したときに流れていたのが終わると、その六人は帰ってしまった。つまりまた一人で観なければならなくなったわけである。前回の『大海獣』の時と同じくキツい状況に陥ってしまった。

んで映画。いつでも三振の三太郎。ねずみ男は彼をそそのかして(？)妖怪バットを手に入れさせ、連戦連敗の『ブータレーズ』(『バトラーズ』というのが本来の名称なのだが弱小チームで監督にも見捨てられ、いつもブーたれていたので『ファイターズ』という強チームからつけられた渾名が一般的になってしまった)を勝って勝って勝ちまくる超有名少年野球チームに仕立てあげる。ブータレーズの新監督に就任したねずみ男はＴＶ出演などで金を稼ぐが、偶然その放送を街で見た鬼太郎が、バットを返すように子供達に言う。何故なら妖怪バットは、人間が使うと魂を吸い取っていくからだ。が交渉は決裂。取り戻すために試合を申し込む鬼太郎。そして『ブータレーズ』対『妖怪チーム』の試合は、ねこ娘が入れた1/2点で妖怪チーム優位のままブータレーズは二死を取られてしまう。『負けたら魂を抜かれる』約束のブータレーズ、最後のバッターは三太郎。彼は他のチームメイトとは違い妖怪バットを使わずに普通のバットで打席に立った。２ストライク。最後の球を鬼太郎が振りかぶる。果たして結果は…!?

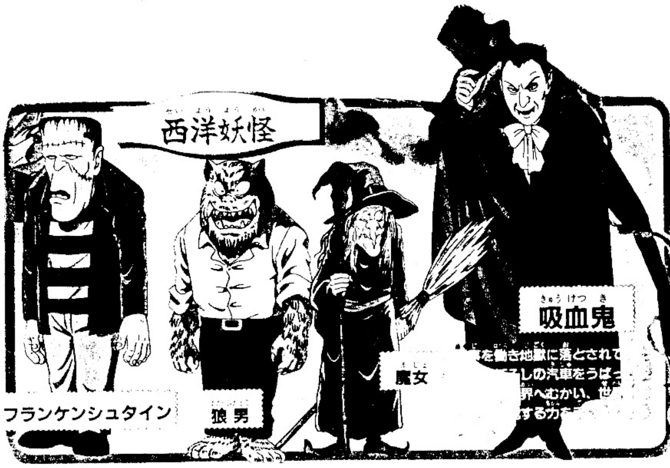
戦闘シーンというものは無いが、結果はどうなるか最後までわからず、観客を飽きさせない話の流れだった。また、どアップで映るねずみ男や、水木しげみちゃん(だったっけ？)のブロマイドには笑わされたし、鬼太郎たちが時々見せる表情や台詞は、改めて彼らの世界が怖いという事を気づかされた。面白さの中に時折感じた怖さは、水木世界が良く現されていたように思う。何より良かったのは三太郎たちの成長ぶりである。何かを得た彼らの表情は、観ている方にもとても気持ちの良いものだった。前回に続き、この作品もまた秀逸な出来であると言うことが出来る——私はそう思っている。

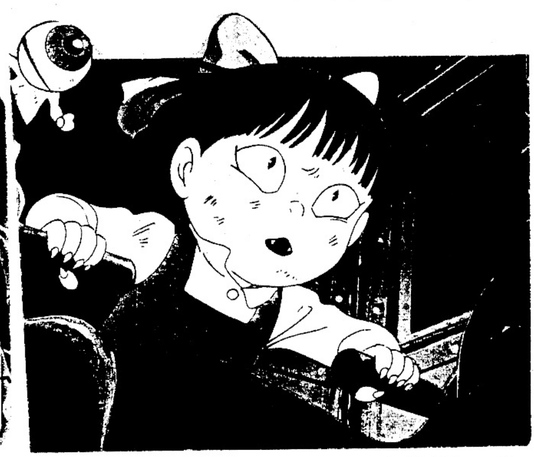
ではこれで…

１９９７年　夏　東映アニメフェア

ゲゲゲの鬼太郎　妖怪特急！まぼろしの汽車

ＮＯ．１９６　文月　廻





七月二十七日(日)午前十一時が待ち合わせ時刻だったので、その半時間前にＪＲ大阪駅に着いて、梅田東映に向かった。どうでも良いことだが、途中でＮＵＭＢＥＲＳを買い求める人の山を見て非常に驚いた。天気は曇りだった。

さて待つことしばらく、最初にイッシーが到着し、次に吉田ママさんが到着。「良恵ちゃんは？」と私が訊くと、「今日は縁日に行ってやるんよ」との御返事。「そうですか、残念です(良恵ちゃん、君この前に℡した時は「来る」て言うとったやないかい!?)」などと言いながら時計を見ると五十分過ぎであった。少しして馬場会長が一般的な服装で到着。雑談したのち会館内へ。私はチケットを買っていなかったので買いに行こうとすると、イッシーが「買わなくてもいいよ」と一枚のチケットを見せてくれた。親子ペア券だった。それをどう使ったかはご想像にお任せするとして、劇場内は結構人が多く入って雑然とした感じになる。少なくとも春のアニメフェアよりは人が多かったように思われた。そして長ったらしくて子供向けアニメの前に流すにしてはおよそ不適当な内容のＣＭが終わったのち、初っ端から鬼太郎の映画が始まったのである。

内容：『まぼろしの汽車』が、地獄に落とされていた西洋妖怪たち(ドラキュラ・狼男・フランケンシュタイン・魔女)に盗まれた。彼らは、過去にも未来にも自由自在に行けるその汽車を悪用して暗黒世界へ行き世界中の妖怪を支配する力を手に入れようとしている。それを防ぎ汽車を取り返すように夢で目玉親父に命令する閻魔大王(地獄側の手落ちなんだから自分で何とかせぇよ)。丁度その折り「空飛ぶ汽車を見た!!」とねずみ男が駆け込んでくる。そして――鬼太郎の出動である。

当たり前だが苦戦する鬼太郎たち。歳に負けずに頑張る子泣き・砂かけ夫婦漫才コンビ。ズタボロに切り裂かれる一反木綿。それを縫うねこ娘。魔女に惚れられ部屋に連れ込まれるねずみ男。そして肝心の鬼太郎は西洋妖怪のボスであるドラキュラに石炭にされてしまう。妖力の高い鬼太郎を燃料に、まぼろしの汽車は東急ハイランドを抜けて暗黒魔界へと向かう。そして目玉親父は賭けに出る。汽車を過去に向かわせ、我が子を石炭にされる前に戻そうというのだ。ねこ娘と共に機関室へ忍び込む目玉親父。しかしそれに気付いた狼男が二人に襲いかかる…!!

この後どうなるかはビデオ(多分出るだろう)を見るか、人に聞くかして下さるようお願いする。何にしてもアクションが中心で、少し物足りなかったような気もしたが、水木世界もそう崩れてはいなかったし、二十五分という短い時間内で良くまとまった話だと思った。昨夏には到底及ばないとしても、同時上映された他の三作品よりは遥かに高く評価されて然るべき良い作品であったと思っている。

以上、『妖怪特急！まぼろしの汽車』の感想でした。

ＰＳ．この映画からＥＤが『カランコロンの歌』から『イヤンなっちゃう節』に替わった。また八月十日に、そのＣＤシングル(1020円)が『ぺったらぺたらこ』をカップリングにして発売されたので聴いてみてはどうだろう？

【最新版カラー作品】ゲゲゲの鬼太郎 放映リスト

放送日	話数	題名	脚本	演出	作画監督	美術
8. 1/7	1	妖怪！見上げ入道	武上 純希	西尾 大介	飯島 弘也	浦田 又治
14	2	妖怪 目目連の涙！	橋本 裕司	明比 正行	遠藤 明夫	鹿野 良行
21	3	ギターの戦慄！夜叉	雪室 俊一	貝澤 幸男	木下 和栄	伊藤 岩光
28	4	恐怖！鏡の国の鏡爺	武上 純希	川田 武範	海老沢幸男	鹿野 良行
2/4	5	ダイヤ妖怪・輪入道	橋本 裕志	吉沢 孝男	八島 善孝	松宮 正純
11	6	暴走！鬼太郎牛鬼	武上 純希	明比 正行	出口としお	鹿野 良行
18	7	妖怪のっぺらぼう！	橋本 裕志	貝澤 幸男	直井 政博	松宮 正純
25	8	妖怪かに坊主と河童	武上 純希	川田 武範	木下 和栄	鹿野 良行
3/3	9	爆走！鬼太郎機関車	雪室 俊一	吉沢 孝男	飯島 弘也	松宮 正純
10	10	怪奇！妖怪万年竹	島田 満	西尾 大介	遠藤 明夫	鹿野 良行
17	11	毛羽毛現とがしゃどくろ	武上 純希	宇田鋼之介	海老沢幸男	松宮 正純
24	12	陰謀！猫仙人の猫王国	橋本 裕志	明比 正行	八島 善孝	鹿野 良行
31	13	妖怪屋敷へいらっしゃい	島田 満	川田 武範	出口としお	松宮 正純
4/7	14	蜃気楼海竜・みずち	武上 純希	吉沢 孝男	直井 正博	渡辺 佳人
14	15	悪夢！妖怪まくら返し	大橋 志吉	明比 正行	木下 和栄	松宮 正純
21	16	あかなめと白うねり	武上 純希	宇田鋼之介	飯島 弘也	鹿野 良行
28	17	海奇！妖怪さざえ鬼	大橋 志吉	西尾 大介	海老沢幸男	松宮 正純
5/5	18	深海の奇跡！化け鯨	大橋 志吉	川田 武範	遠藤 明夫	渡辺 佳人
12	19	恐怖！妖怪くびれ鬼	武上 純希	吉沢 孝男	八島 善孝	松宮 正純
19	20	冒険！絶海の人食い島	橋本 裕志	明比 正行	出口としお	浅井 和久
26	21	白粉婆とのっぺらぼう	大橋 志吉	宇田鋼之介	直井 正博	松宮 正純
6/2	22	蜂起！妖怪泥田坊	武上 純希	川田 武範	木下 和栄	渡辺 佳人
9	23	風魔！妖怪雨ふり天狗	大橋 志吉	吉沢 孝男	飯島 弘也	松宮 正純
16	24	怪談！妖怪陰摩羅鬼	武上 純希	佐藤 順一	海老沢幸男	橋本 和行
23	25	古都の妖怪！おぼろ車	大橋 志吉	宇田鋼之介	八島 善孝	松宮 正純
30	26	復活！妖怪天邪鬼	雪室 俊一	西尾 大介	稲葉 仁	渡辺 佳人
7/7	27	吸魔！妖怪野づち	武上 純希	明比 正行	直井 正博	松宮 正純
21	28	幻想譚・猫町切符	大橋 志吉	吉沢 孝男	出口としお	鹿野 良行
28	29	巨人伝説 ダイダラボッチ	橋本 裕志	川田 武範	木下 和栄	松宮 正純
8/4	30	妖花！夏の日の記憶	島田 満	明比 正行	海老沢幸男	渡辺 佳人

放送日	話数	題名	脚本	演出	作画監督	美術
11	31	妖怪変化！ 傘化け	武上 純希	宇田鋼之介	八島 善孝	松宮 正純
18	32	電気妖怪 カミナリ！	大橋 志吉	吉沢 孝男	飯島 弘也	橋本 和幸
25	33	逆襲！ 妖怪さら小僧	武上 純希	佐藤 順一	飯島 弘也	松宮 正純
9/1	34	流浪！ 妖怪あずきとぎ	大橋 志吉	明比 正行	稲葉 仁	渡辺 佳人
8	35	鬼太郎の 地獄流し	島田 満	宇田鋼之介	出口としお	松宮 正純
15	36	仰天！ おりたたみ入道	大橋 志吉	川田 武範	木下 和栄	橋本 和幸
22	37	大追跡！ 妖怪自動車	武上 純希	吉沢 孝男	海老沢幸男	松宮 正純
29	38	血闘！おどろおどろ	橋本 裕志	明比 正行	八島 善孝	渡辺 佳人
10/6	39	妖狐・白山坊の花嫁	島田 満	佐藤 順一	直井 正博	松宮 正純
13	40	夜の墓場は運動会！	大橋 志吉	宇田鋼之介	飯島 弘也	橋本 和幸
20	41	つけもの妖怪ほうこう！	武上 純希	吉沢 孝男	出口としお	松宮 正純
27	42	がんぎ小僧 と ねずみ男！	大橋 志吉	明比 正行	稲葉 仁	渡辺 佳人
11/3	43	反乱！ 妖怪化けぞうり	武上 純希	川田 武範	海老沢幸男	松宮 正純
10	44	西洋悪魔 ベリアル	大橋 志吉	宇田鋼之介	木下 和栄	橋本 和幸
17	45	もち殺し！ 妖怪火車	矢島 大輔	佐藤 順一	八島 善孝	松宮 正純
24	46	妖怪大裁判（前編）	武上 純希	明比 正行	直井 正博	渡辺 佳人
12/1	47	妖怪大裁判（後編）	武上 純希	吉沢 孝男	木下 和栄	松宮 正純
8	48	えんま大王 と ねこ娘	小林千賀子	宇田鋼之介	出口としお	橋本 和幸
15	49	水妖怪赤舌 の 疾走！	矢島 大輔	川田 武範	海老沢幸男	松宮 正純
22	50	遊園地 の 吹き消し婆！	大橋 志吉	吉沢 孝男	稲葉 仁	渡辺 佳人
29	51	雪コンコン！ 笠地蔵	武上 純希	佐藤 順一	木下 和栄	松宮 正純
9. 1/5	52	コマ妖怪・あまめはぎ！	矢島 大輔	明比 正行	八島 善孝	徳重 賢
12	53	霊園行・幽霊電車！	大橋 志吉	宇田鋼之介	直井 正博	松宮 正純
19	54	妖怪邪魅とガマ仙人！	大橋 志吉	吉沢 孝男	飯島 弘也	渡辺 佳人
26	55	座敷童子と妖怪後神！	武上 純希	川田 武範	出口としお	松宮 正純
2/2	56	水変化！ 妖怪水虎	矢島 大輔	明比 正行	海老沢幸男	内川 文広
16	57	吸血鬼 エリート！	橋本 裕志	吉沢 孝男	木下 和栄	松宮 正純
23	58	冷凍妖怪・雪ん子！	雪室 俊一	勝間田具治	稲葉 仁	渡辺 佳人
3/2	59	妖怪オバリヨン！	大橋 志吉	宇田鋼之介	八島 善孝	松宮 正純
9	60	ぬらりひょんの陰謀！	矢島 大輔	川田 武範	直井 正博	渡辺 佳人
16	61	妖怪いやみにご用心	田村 竜	吉沢 孝男	飯島 弘也	松宮 正純
23	62	怪奇！ばけ猫街道	雪室 俊一	明比 正行	海老沢幸男	渡辺 佳人
30	63	メンソーレ！ 妖怪ホテル	武上 純希	勝間田具治	出口としお	松宮 正純
4/6	64	激走！ 妖怪ラリー	橋本 裕志	宇田鋼之介	木下 和栄	内川 文広

放送日	話数	題名	脚本	演出	作画監督	美術
13	65	驚異！マンモスフラワー	矢島大輔	吉沢孝男	稲葉仁	松宮正純
20	66	風雲！妖怪城（前編）	橋本裕志	川田武範	八島善孝	松宮正純
27	67	風雲！妖怪城（後編）	橋本裕志	明比正行	直井正博	松宮正純
5/4	68	荒海の伝説・磯女！	大橋志吉	境宗久	飯島弘也	松本健治
11	69	悪魔ブエルとやかんづる	田村竜	宇田鋼之介	海老沢幸男	松宮正純
18	70	怪気象！妖怪ぐわごぜ	矢島大輔	吉沢孝男	出口としお	松宮正純
25	71	オベベ沼の妖怪！	武上純希	川田武範	木下和栄	徳重賢
6/1	72	出現！天狐の地底王国	矢島大輔	明比正行	八島善孝	松本健治
8	73	爆進！怒りの土ころび	田村竜	勝間田具治	直井正博	松宮正純
15	74	大蛇神ヤマタノオロチ！	矢島大輔	吉沢孝男	飯島弘也	松宮正純
22	75	妖術・鏡合戦！	雪室俊一	川田武範	海老沢幸男	塩崎広光
29	76	灼熱の妖怪！ひでり神	おおいとしのぶ	境宗久	出口としお	松宮正純
7/6	77	海和尚と船幽霊！	武上純希	明比正行	木下和栄	松宮正純
13	78	ぬらりひょんと蛇骨婆	田村竜	佐藤順一	八島善孝	松宮正純
20	79	中国妖怪襲来！（前編）	矢島大輔	川田武範	直井正博	藤田勉
8/3	80	中国妖怪襲来！（後編）	矢島大輔	勝間田具治	飯島弘也	松宮正純
10	81	子育て妖怪！うぶめ	小林千賀子	明比正行	海老沢幸男	松宮正純
17	82	古代妖怪・大首！	武上純希	境宗久	出口としお	松宮正純
24	83	ゲタ合戦！妖怪逆柱	矢島大輔	川田武範	木下和栄	徳重賢
31	84	怪奇！人食い肖像画	大橋志吉	佐藤順一	八島善孝	松宮正純
9/7	85	魔境・土蜘蛛の山！	田村竜	明比正行	直井正博	松宮正純
14	86	死の使い・モウリョウ	おおいとしのぶ	境宗久	飯島弘也	松本健治
21	87	迷い家の倉ぼっこ	大橋志吉	芝田浩樹	海老沢幸男	松宮正純
28	88	妖怪ふくろさげの罠！	武上純希	川田武範	出口としお	松宮正純
10/5	89	髪の毛地獄！ラクシャサ	小中千昭	角銅博之	木下和栄	徳重賢
12	90	峠の妖怪・ぶるぶる	田村竜	明比正行	八島善孝	松宮正純
19	91	夜の怪！百鬼夜行の鬼	大橋志吉	境宗久	直井正博	松宮正純
26	92	百目とぬらりひょん	おおいとしのぶ	吉沢孝男	飯島弘也	松本健治
11/2	93	月よりの妖怪・桂男	矢島大輔	川田武範	海老沢幸男	松宮正純
9	94	鬼太郎魚と置いてけ堀	武上純希	細田守	出口としお	松宮正純
16	95	妖力泥棒・釜なり！	大橋志吉	芝田浩樹	木下和栄	徳重賢
23	96	妖怪王・ぬらりひょん	矢島大輔	明比正行	八島善孝	松宮正純
30	97	追撃！西洋妖怪四天王	矢島大輔	吉沢孝男	直井正博	松宮正純
12/7	98	試練・妖魔城への道！	橋本裕志	川田武範	飯島弘也	松本健治

木村香織のマンガ名作講義

エンターテインメント読書

「天国」に見とれる孤独な目玉

ゲゲゲの鬼太郎㊤

『ゲゲゲの鬼太郎』のキャラクターのうち一ばん好きなのは次のうちだれですか。①鬼太郎②目玉のとうさん③ねずみ男④一反もめん。

やっぱり①鬼太郎でしょうね。意外なのは『水木しげる論』（一九七一年）を書いた石子順造さんの評価です。③妖怪（ようかい）ねずみ男。あのどっちつかずの金もうけ主義の男に魅力があるというのです。さて今（九六年）はどうでしょう。ゲゲゲのゲと歌っている小さな子供をつかまえると④一反もめんと返事します。テレビやアニメの波を浴びてきた子供らには空飛ぶじゅうたんみたいな一反もめんが魅力的なようです。もう少し成長（?）した若い女性に聞くと②目玉のとうさんと答えました。へえ、その理由は。だってカワイイんですもん。ふーん、オヤジが可愛い？ところであなたの好みは？

■

今度、決定版『ゲゲゲの鬼太郎』（ちくま文庫）を通読してぼくを魅了したのは、キャラクターよりもおとうさんと鬼太郎とが暮らしている日常の一場面でした。「土ころび」という怪物に手足も胴体も吸い取られた鬼太郎の運命やいかに。というところで急を告げに帰るのがちゃんちゃんこ（幕末以来の貧乏人の子の上っ張り）。すーっと飛んで入るのが窓や扉ではなく、あばら家の部戸（しとみど）。泣かせるではありませんか。平安の昔の寝殿造りが今のボロ家に生きているとは。部屋に置かれているのはちゃぶ台だけ。これは、明治三十年代に現れた家庭だんらんの新家具でして、その上に乗っかっているのは太古よりなじみのお茶碗（ちゃわん）。「おやっ、ちゃんちゃんこだ」と叫ぶ目玉のとうさん。ふだんは茶碗風呂（ぶろ）につかっているのが大好きな目玉ですが、今はそんなことを言っている場合ではありません。「ゆけ、ちゃんちゃんこ」というわけで空飛ぶちゃんちゃんこに乗って——つまり太古より平安経由、明治昭和を駆け抜けて鬼太郎の急を救いに参ります。

目玉だけになってしまった鬼太郎と、もともと目玉だけのとうさんと。二つの目玉の涙の対面。

ものに驚いたとき、「ゲッ」と叫ぶ若い人を知っています。もとは反吐（へど）を吐くときの嫌な擬音だったのに。『鬼太郎』ではご承知のように、幼きヒーローをたたえる草木虫魚の叫び声です。そういえば年配の俳人栗林千津さんにこんな句があります。

ビアガーデンのガ行さきざき孤独なり

光栄にもぼくと同年生まれの水木しげるさんは、不幸にも戦場で片腕を失いました。初めて鬼太郎が「週刊少年マガジン」に登場した「手」（六五年）は、切り落とされた手首がよみがえり、吸血鬼のホテルに放火して妖怪をやっつけるはなしです。

目玉も手と同じように孤独だったのではないでしょうか。ラバウルの海岸の崖（がけ）っぷちでぶらさがっていた水木さんの手の物語は戦慄（せんりつ）的です。『水木しげるのラバウル戦記』（九四年、筑摩書房）のコピー「地獄と天国を見た水木上等兵」に深くうなずいてしまったぼくでした。孤独な彼の目玉は、双眼鏡で海から来る敵を見張りながら、ふと気づくと、逆に陸の方、まるで天国のような景色に見とれていたのです。

■

『ゲゲゲの鬼太郎』の「妖花」では両親のいない孤独な少女の安アパートの風景が描かれています。南方のジャングルで咲くという妖花が毎年花を咲かせる。花子は鬼太郎たちとはまぐりの舟で南へ。南の島で白骨となった花子の父の指輪を発見する。死んだ父は二十三年もかかって島々をわたって来て妖花に化けて孤独な少女をじっと見守っていたのでした。

時間的には太古から敗戦後の昭和の現代まで、空間的にはちゃぶ台から南方の島まで、自由自在に駆けめぐっているのが仮想現実顔負けの仮想マンガ『ゲゲゲの鬼太郎』です。



©水木しげる（ちくま文庫）

講師・多田道太郎さん（仏文学者）

1924年生まれ。76年から88年まで京都大学教授。現在、同名誉教授、武庫川女子大学生活美学研究所長。専攻はフランス文学だが、雑誌「思想の科学」の編集に参加、現代風俗研究会を主宰するなど、関心の向く文化領域は幅広い。著書に『複製芸術論』『しぐさの日本文化』『遊びと日本人』など。

水木しげるの代表作で妖怪（ようかい）漫画の定番。戦後の紙芝居から始まり、「週刊少年マガジン」などで描き継がれる。左の絵の一番右にいる鬼太郎、目玉オヤジ（鬼太郎の頭の上）のほか、その左からねずみ男、子泣き

作品は■■

じじい、砂かけばばあ、上を飛ぶ一反もめん、背後のぬりかべなどのキャラクターが、各世代の子供たちを魅了し続けてきた。

◇

次回も『ゲゲゲの鬼太郎』です。講師は若い世代を代表して作家の京極夏彦さんです。

1996年11月30日（土）
朝日新聞（夕刊）

鬼太郎はマルチレポート

1996年12月7日(土)
朝日新聞(夕刊)

マンガ名作講義

講師・京極 夏彦さん(作家)



1963年生まれ。94年、デザイン事務所時代に、出版社に持ち込んだ『姑獲鳥の夏』でデビュー。以後、『魍魎の匣』『狂骨の夢』『鉄鼠の檻』、最新作『絡新婦の理』と立て続けにベストセラーになる。この五点は、昭和二十年代を舞台にした連作ミステリーだが、妖怪を主軸にすえているため妖怪小説とも。

作品は■■

作者の水木しげるは鳥取県境港市生まれ。妖怪研究家でもある。ほかに『河童の三平』『悪魔くん』『昭和史』などがある。鬼太郎を茶の間の人気者にしたテレビアニメは過去3シリーズあり、現在4回目がフジ系で放映中。ちくま文庫、角川文庫の「水木しげるコレクション」、講談社コミックス版、中央公論社の愛蔵版など、数多く出版されている。

◇

次回は、作家笙野頼子さんの『闇夜の本』です。

最初から古かった、怪しい魅力

ゲッゲッゲゲゲのゲ——墓場の楽しい歌声が響いている。平成の子供達(たち)も声を合わせて歌っている。「ゲゲゲの鬼太郎」は現在も絶賛放映中の人気アニメーションである。子供達にとって鬼太郎は、リアルタイム・ヒーローのひとりなのだ。

しかしおよそ十年前、吉幾三の歌う同じフレーズを口ずさんだ子供達がいた。彼(あるいは彼女)達は現在、たぶん1種の郷愁を以(もっ)てこの唄(うた)を聞いているのだろうと思う。十年前の私がそうだったからである。私はそれからさかのぼることさらに十数年、熊倉一雄の歌う軽妙なゲゲゲの唄を聞いて育った世代である。

■——■

そう、年齢や性別を問わず、この国でそのフレーズを知らぬ者はいないといっても過言ではない。もっとも過去数回にわたり一定のサイクルを以って流行したのであるから、世代を越えて認知度が高いのも当然の話ではある。アニメ化は今回で四度目、収録単行本の部数は十部を下らない。しかし——。

そこでふと考える。二十数年前、初めて鬼太郎に接した自分は、その時すでに郷愁に似た感情を持ってはいなかったか。幼子だった私は、初めて見た怪談の少年妖怪(ようかい)に、なにやら懐かしさを感じてはいなかったか——。それは、明確に感じていたのだ。

私と鬼太郎の出会いは、テレビ画面上のことではない。マンガ雑誌の、緻密な描線故に他(ほか)のページよりずっと黒い、陰うつな画面の中に彼はいた。そして私はそこに「見たこともない原風景」を(出会った瞬間に)幻視していたのである。

鬼太郎の「少年マガジン」初登場は三十年近く前のことである。これが好評を博して連載、テレビ化の運びとなったわけだが、そもそも鬼太郎が雑誌に掲載されたということ自体が、ある種の懐古趣味的意味合いを含んでいたことも事実である。なぜなら鬼太郎は雑誌デビュー以前に先行媒体である貸本マンガで活躍していたキャラクターだったからである。さらに鬼太郎は、その貸本マンガにさえ紙芝居からシフトしてきたという前歴を持つ。

鬼太郎は、デビュー時点ですでに復活型ヒーローだったのだ。彼は衰退し始めたメディアから台頭し始めた次のメディアに引き抜かれるように移り住む。だから水あめを舐(な)めつつ紙芝居を観(み)ていた子らが、雑誌に登場した彼を見て懐かしんだことも想像に難くはない。だが——。

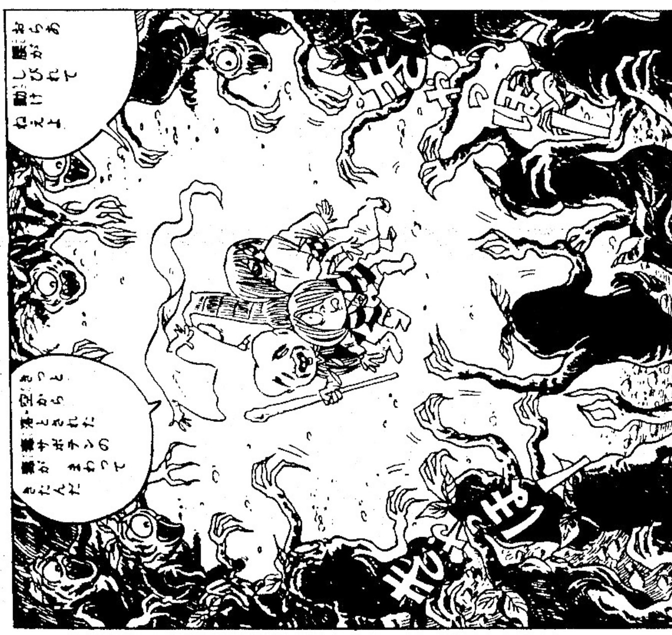
私は紙芝居を知らぬ世代である。貸本も借りたことはない。それでもなぜか鬼太郎の世界は最初からひどく懐かしかった。

紙芝居版の鬼太郎にもさらに過去がある。伊藤正美作「ハカバキタロー」である。それを水木が独自に改作したのが「墓場鬼太郎」なのである。そして「ハカバキタロー」の原形は「飴屋幽霊」だという。これは口碑伝承のたぐいである。当時の紙芝居は空想科学冒険譚や、怪奇譚(たん)でも活劇風の対決ものが人気だったという。紙芝居の世界においてもまた、鬼太郎はいにしえの説話に材を取った先行作品を下敷きにした因果もの——懐古的作品として位置づけられる。

■——■

つまり鬼太郎は最初から「古かった」わけである。そして、それこそが鬼太郎がいつまでも「古びない」理由なのだろう。四十年以上も続いたシリーズ全体を見渡すと、作品の性格もまちまちで一貫したテーマ性もなければシリーズとしての整合性もない。驚くことに作品を支配する世界観まで都合よく変わっている。それでも、鬼太郎は鬼太郎であることを主張してやまない。鬼太郎のかもし出す怪しい魅力の前では、そんな小理屈は些細(ささい)なことなのだ。

水木しげるの語るところによれば、鬼太郎は「小さい子の読むもの」なのだそうだ。連綿と更新する幼い読者達に「体験しているはずのない過去」を想起させることによって、ゲゲゲの鬼太郎は常に時代を超えた普遍性を獲得し続けているのである。



ゲゲゲの鬼太郎(下)

エンターテインメント読書

リニューアル

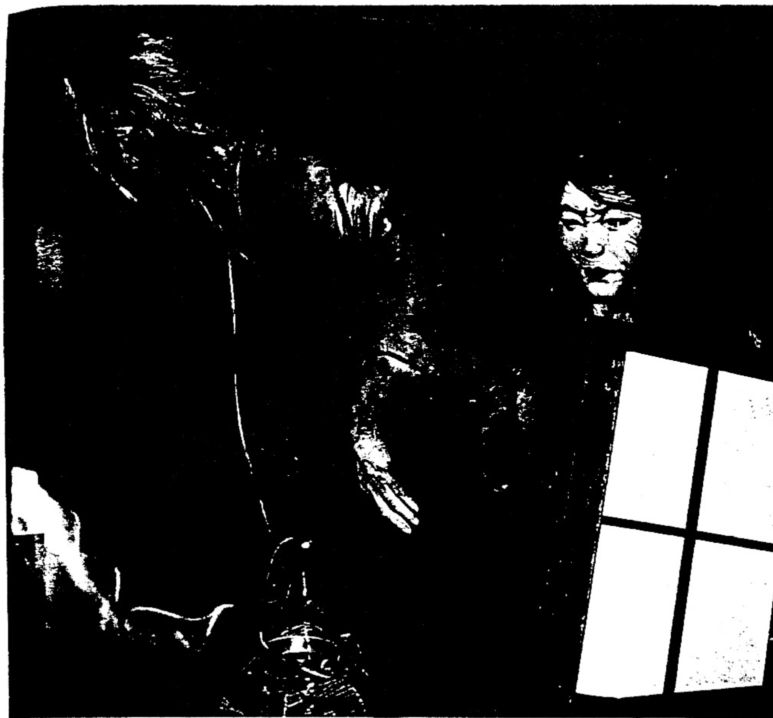
凍えるこわさの!?お化け屋敷だ

ゲームパークやカラオケなど、㊣遊スポットが集まった「ピアザ松戸」の地下に新たなお化け屋敷が誕生

「妖怪ランド」リニューアルオープン

昨年7月にオープンしたお化け屋敷「GAWC-TY（ガウシティ）」が、12月に「妖怪ランド」に生まれ変わり、こわさもパワーアップした。「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクターたちを集めた「妖怪博物館」に加え、東洋・西洋とタイプの異なるお化け屋敷が新登場。立体映像で恐怖が迫る「3Dバーチャルシアター」もより不気味な演出を用意して君を待っているぞ。また、ここでしか撮れないプリクラも誕生、話題を呼んでいる。ここなら、一日中思いきり遊べそうだ!

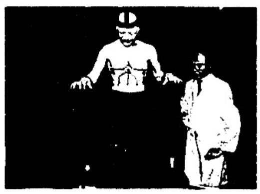
撮影／上夜幹照



↑「お化け屋敷 大江戸幽霊伝説」では、昔ながらの日本の幽霊たちに出会える

どこから行く!? お化け屋敷&プリクラ





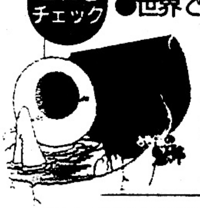
←←トロッコが出発するといきなり処刑場面に遭遇! リアルな表情と激しい動きはかなり不気味だ
←ドラキュラが君を誘う。音と光で恐怖も倍増するぞ

怪奇館悪魔の地下室

ドラキュラー惨劇の墓場

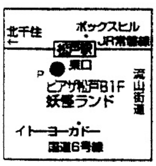
トロッコに乗って、血塗られた洞窟や牢獄、墓場を巡る。狼男やミイラ男、そしてドラキュラなど、西洋の怪人たちが集まった。ショッキングな場面に冷や汗の連続!

これもチェック ●世界で1台のプリクラ



ここでしか撮れない「ゲゲゲの鬼太郎」キャラクターのプリクラを新設。目玉おやじや子泣きじじいの、笑える絵柄が全部で9パターンそろった。

©水木プロ、東映動画



㊟千葉県松戸市松戸1230-1 ☎047・367・1200 ㊐朝11:00〜夜9:00 ㊡なし ￥600（怪奇館〜）、700（お化け屋敷）、500（3Dバーチャル〜）※妖怪博物館を含むセット券￥2000

3Dバーチャルシアター

恐怖映像・霊幻遊戯

暗い小部屋に案内されると、不気味なマネキンが転がっている。巨大スクリーンから飛び出してくる戦慄の立体映像。リアルな恐怖が君を追い詰めるぞ。



←ふと訪れた小さなお化け屋敷から、異空間に迷い込んでしまうというストーリー。心臓の弱い人は要注意だ

©V.S.L 1995

お化け屋敷

大江戸幽霊伝説

怪しげな見世物小屋から不気味な寺へ、宿場町へ…。巨大グモや落武者が襲いかかるキモだめしツアーは絶叫の連続。道に迷わないよう、気をつけて行ってくれ。



←出た!生首!! 怖いもの見たさで目がそらせない。日本の幽霊の定番「番町皿屋敷」のお菊さんなども出る

↰ トウキョウウォーカー　1月28日号

♡ 行ってきました、松戸の妖怪ランド♪まず一番の「売り」はアトラス者特製の鬼太郎プリクラ。記事には『ここ一台のみ』ということになっていますが、現在は関東各地に6台有。

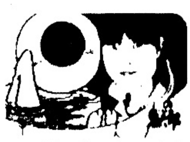
私は2回にわけて撮りに行ったのですが、1回目は4時間半!! 2回目は整理券方式で、それでも3時間♪平日にたっぷり時間をとって行くことをお

すすめします。
　気になるお客の年齢は、家族ずれからカップルまで幅広く、鬼太郎人気の安定を感じさせます。
（ちなみにカップルは撮り終わるのにやたら時間がかかるので困る！）
普通のプリクラだと９枚×３パターンの計21枚があるんだけど、これは９枚のみ。（どうやらバンダイグループのバンブストが実験的に作ってるかららしい）
　また、別に「原作系」の絵柄を使った新方式の「シールプリント機」が存在するそうですが、まだ入手できません。渋谷にあるというのでがんばって捜します。
　松戸に話をもどすと、地下一階の「妖怪博物館」はたしかに見ものです。今古の鬼太郎の「展示用しかけモノ」が「第２の妖怪人生」を送っているんですが、『野沢雅子さんの声で可動する鬼太郎人形』があるのがスゴイ♪
こっちのほうもぜひ観て帰ってね！
No.21　木村香織

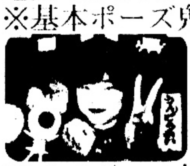


コレがキタロー♡プリクラだ☆☆


※基本ポーズ鬼太郎


※茶碗ブロ親父


※縁取り一反木綿


※チアガール親父


※禿げひかり児啼き


※墓場と人魂


※ブロークンハート親父


※妖怪ＴＶと親父


※屁っこきネズミ男

（ネーミングは勝手に付けたものです）



最近の妖怪ときたら！

先日の「ゲゲゲの鬼太郎」（フジテレビ系）のスペシャル番組を何気なく見ていたら、鬼太郎が変な妖怪と戦っていました。何と、股間（かん）から光の玉を機関銃のように発射させているのです。しかも、その妖怪の名は、「ちんぽ」。

昔の鬼太郎はおどろおどろしくてかなり怖かったと思うのですが、よほど、アイデアに苦しんだんでしょうね。ちょっとがっかりです。

（横浜市・久美子・27歳）

私はうれしいわ、何か。

テレビライフ　4月5日号

『アイデアに苦しんだ』わけじゃないんだってば！もともとそーゆー妖怪なの！（笑）

ところで　かの佐野史郎サンにもし『「チンポ」の声をあてて下さい』って話があったら、ひきうけてくれるんでしょうか…？

佐野さん　もし読んでたら水伝あてにお返事下さい。

（読んでないってば～～～）

声の主役たち

「最初のシリーズが始まったのが一九六八年。もう自分の一部みたいなもの」

そう言って笑った。ねずみ男、子泣きジジイなど、個性的なキャラクターぞろいの「ゲゲゲの鬼太郎」（フジテレビ）は、現在の放送が四度目のアニメ化だ。絵も声も世代交代する中、「目玉のオヤジ」のキンキン声だけは変わらない。

半妖怪の主人公・鬼太郎の〝父親〟で、眼球に手足がついた不思議な存在。とはいえ、茶わんにお湯を注いだ「ふろ」が大好きという、ちゃめっ気のある人気者なのだ。

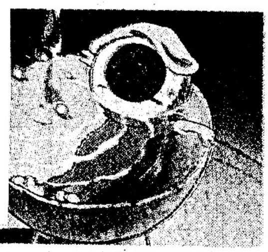


田（た）の中（なか）勇（いさむ）

「ゲゲゲの鬼太郎」の目玉のオヤジ

「姿形が小さいからカン高い声がいいかな、と工夫したら好評で。CMのナレーションでも『あの声で』と指定が来ます」

「自分の一部」に愛着も



仕事の関係者に、「子供の時から、一度どんな人か会ってみたかった」と言われることもしばしばとか。

もともとはテアトル・エコーなどに所属した俳優。五〇年代のラジオドラマ全盛期に「アルバイトのつもりで」始めたこの仕事で、当たり役にめぐり合った。

「僕ももう六十四歳。いい区切りで後継者を」と思う半面、「そろそろ『オヤジ』役も最後かな、と考えると少々寂しい」とも。

三十年近く親しんだ役だけに複雑な気分なのだ。「だから、今シリーズはなるべく長く放送が続いて欲しい」と、照れながら話した。

このアバウトな営業時間
なんとかならんか！

○記事にならないと思いますが、横浜市内にこんな名前のお店があります。

その他、同じく神奈川県の茅ヶ崎には「ねずみまん」っていうパブもあるらしいぞ。ただいまいっしょに飲んでくれる人 募集中！

↑ 読売新聞、夕刊（すみません、日付忘れました）

やっぱりあの声はキツいんですか？　大変だけどいつまでも続けてほしいと思うのはファンの欲なのでしょうか？　ぜひ「ミスター目玉親父」として、世界妖怪会議に出席して欲しいなぁ。そのときは佐野史郎さんもいっしょだと面白い。だって（京極）夏彦さんと「冬彦」さんがそろうじゃないですか！

タワリシチ

タワリシチ（＝同志）は会員のみんなで作るページです。



三柴友太です。
きょ年の水伝ツアーでは
どうもありがとうございました。
ここに書いた者は、
ぼくの好きなキャラクターです。
順位にならべると、
①やっぱ鬼太郎
②怪奇一番勝負に出てきたゆめの案内人
③目玉親父
④ねずみ男です。
水木ファンとしては、
まだまだみじゅくです。
今年のうれしい事は、
鬼太郎のかし本の
ふっこくをかったこと。
（ちなみにその本の番号は７３でした）
そしてモーひとつ、
プレステ版の鬼太郎の
ゲームを買ったことです。
（ちなみにぼくは、すべてのエンディングを見ました！！）
えいぞうもきれいだった～。
それではまた今度お会いしましょう。
（ちゅうとはんぱですが）好きな作品『怪奇一番勝負』

NO．215　三柴　友太　（小学生）

枕木山にて不動石仏を観る

ＮＯ．２１０　森本　浩行

私は水木氏の描く霊威性にあふれた絵が大好きだが、同時にそのモデルとなったものを実見することも趣味としている。９６年夏、水伝ゲゲゲツアーに参加した時には、境港で開かれる世界妖怪展や水木ロードの見学の他に、もう一つ目的があった。それは、『のんのんばあとオレ』がＮＨＫで放映された時登場した石仏を見ることである。石仏はほんの一瞬写っただけだが、インパクトは強烈だった。後日ちくま文庫版の原作を読んで、さし絵からそれが「枕木山の仁王」であることを知った。鳥取や島根の教育委員会に電話で問い合わせ、ようやく島根県松江市枕木町の華蔵寺に所在していることをつきとめ、寺に電話すると、「仁王の石仏？そんなものはない」と住職。実は仁王でなく、不動明王だったのだ。

９６年8月２５日（日）晴、ＪＲ上道駅から歩いて７分の境港市文化ホールで１３：０５から始まった「世界妖怪会議」を見学する。１４：４３に登場した水木氏は「ダーウィンと並ぶウォーレスは“人類は異次元のモノといっしょに進化しないと、進化はない”と言っている。ボクも“妖怪なんていない”と思った時は元気がなくなった時だった。ぬりかべみたいな、ぼんやりした、黙って何もしない妖怪が好き。ノーベル賞の会場はここより小さい。あれでは驚かんね。」などなど、次々と興味深い話をされた。ゲストも多彩であったが、難をいえば全体にテーマがなく、抽象的であったように思う。私としてはスライドで水木氏の妖怪画を見つつ、それぞれの立場から「これはこう思う」と面白い分析をして欲しかった。それでも水木氏といっしょに写真を撮ってもらえたのは望外の喜びであった。

水伝の人々と別れたあとは、今回知り合った長野から参加の我妻氏といっしょに抽選会を最後までねばるが、何一つあたらず。２人で枕木山の石仏を見にいこうということになり１６：０８タクシーに乗る。運転手は「水木ロードで村おこしが成功した。水木さんは偉大な人だ」と言い、「枕木山の山頂から見える松江の夜景がいい。カップルでドライブする時は、夜景を見せておいてからモーテルへ連れこむのが必勝パターン」とも教えてくれたが、山道ぞいのモーテルはつぶれていた。路肩の崩れた山道をなおも登りつめ、１６；５０華蔵寺の参道入口に着く。５７４０円。杉の巨木などが生い茂り、日の光をさえぎって参道は薄暗い。長い石段をあがっていく。途中から角度の変わる石段を登りきるとボロボロに朽ちた仁王門があり、等身大の彫眼仁王がまつられていた。門をくぐって少し行く。突然、左手山のふもとの巨大な不動石仏が目にとびこんできた。この時、耳には「ばおーん」という効果音が鳴り響いた。トリ肌がたち、ワクワクしてくる。石仏がこれほど大きいとは意外だったが、私にまだ感受性が残っていたことも驚きであった。石仏は座像で、自然石を組み合わせブロック状に積んだ感じ。最初台座かと思った石はひざだった。この部分も含めると像高は5メートルを超える。丈六像だ。頭部は過大で、目鼻を大きくあらわし、ふくれたほほの下に牙を彫出している。昔一世を風靡した「クシャおじさん」みたいな表情だ。ボディは偏平、全体に大まかでシンプルな彫りだが、途中で制作を投げ出した未完成像と思われる。しかし存在感はものすごい。石からは草木がはえ、コケむしている。

人気のないしーんとした山中、こんな巨大石仏とむきあっていると、いいようのない不思議な気持ちになってくる。妖気や霊気がたちこめ、あたりに妖怪の存在を実感した瞬間であった。

さて、気になる時代判定（いつごろの作品か）であるが、このあと上の華蔵寺のくりでもらったパンフレットによると「枕木山は松江城の鬼門にあたるので、その安泰を祈って（石仏を）慶応年間建立す」とあった。慶応は元年が１８６５年で、２年後は明治維新であるから、幕末の、剣心がまだ人斬り抜刀斎であったころの作ということになる。（←オイオイ）　華蔵寺は今は禅宗。本尊は平安時代後期の薬師如来で重要文化財だが秘仏。住職によると５～６年先に開帳するとのことなので、その時に再訪しようと思う。寺の境内からは下界の見晴らしがいい。日本海や島根半島を見下ろし、大山を遠望していると、雄大な気分になってくる。大根島は妖怪「赤えい」

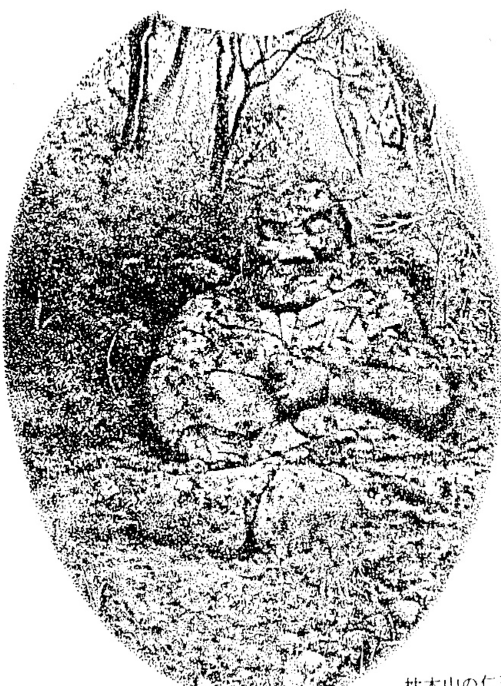
のようにも見えた。

子供のころから妖怪が大好きだったにもかかわらず、大人になってからは「驚く」ということをしなくなった。今回のツアーでは妖怪画集の二次元の妖怪たちが３Ｄで道に並ぶという百鬼夜行さながらの土地へ来て、それらの生みの親である水木氏の生の声を聴けた。忘れていた大切なものがよみがえってきた。私にとって、とても有意義な旅であった。
お世話になった水伝スタッフの皆さん、石仏見学につきあって下さった我妻氏、後日「のんのんばあとオレ」のビデオを送って下さった竹田氏、ありがとうございました。



⇦枕木山華蔵寺
への参道

うっそうと茂る樹木
は、昼なお暗く、
神秘感を
かもしだす。



枕木山の仁王

⇧「のんのんばあとオレ」水木しげる
ちくま文庫　Ｐ169 より
「仁王」とあるのは　マチガイ



⇧枕木山の不動
手前の人物と比較すると
その巨大さがわかる。

水・伝の周辺

その2－97年上半期版

No.99　さるた・せいいち

水木作品そのものではなく、その周辺についての情報、その2です。

○『ソクラテスの妻たち』多田淳子編（スリーエーネットワーク　97・1）　一三五九円

「極道」ならぬ「賢人」（蜷川幸雄、高見順、水木しげる、立松和平、大島渚、色川武大、妹尾河童、寺山修司）の「妻」たちのインタビュー集。

水木夫人、武良布枝さんへのインタビューから。

「（略）本が出ると、いつも私に『どうだった？』といって、必ず見せてくれます。面白いものは『これは面白いね』とか『これはヒット』とかいいます。あんまり好きじゃなかったら『うーん……』と。『これはちょっと……』なんていうと、『そうかあ』っていいますよ。まあ、私のことをごく普通の読者というか、一般的な感想だと思うみたいですね。

好きな作品はたくさんあり過ぎて、どれが一番好きというのはないですね。面白い作品は、二回、三回と読み返したりしていますから。私は、どちらかというと戦争物より、妖怪物というか、普通の作品の方が好きです。『悪魔くん』を最初に読んだ時も『これは面白い』と思ったし、『ねこ忍』を読んだ時などは、『ああ、最高』なんていいました」（P.91～92）

「（略）片手だからといって不自由なこともないんです。サラリーマンではないので、ネクタイを結ぶ必要もありませんし、本当に何でもできるんですよ。また、それを全然気にしていないし、はたでそれを気にする必要もなければ、本人もおよそ出さないし」（P.102～103）

「いつだったか、私じゃない人と結婚してたら、どうだったんだろうね？　といったら、いや、私で良かったんだといっていました（笑）。行動的な女性は苦手だといいます。側でぼんやりしていてくれたほうがいい、というような意味のことをいっていました。それじゃ、良かったんだなと思って……。私のこの性格、そのままでいいのかもしれません。ですから、きっと相性が良かったんでしょうね」（P.103）

○『週間朝日』5月23日号　二七六円

「夫婦の階段　第一八七回　水木しげる×武良布枝」

結婚当時の秘蔵写真も掲載されている。

「水木氏の長女は小学校の教師。次女は水木プロで働く。二人とも独身」（P.131）

○『イン・ポケット』97年2月号（講談社）　一四六円

〔妖怪師弟対談〕水木VS京極夏彦　「水木氏の数ある肩書きの筆頭は『冒険家』である」（P.12）

○『稀書自慢　紙の極楽』荒俣宏（中公文庫　97・4）　一一一七円
稀書収集のために、すべてを犠牲にしているアリャマタ氏。
「第3章　倉庫に埋もれた夢、貸本屋まんがのこと　四　倉をめぐる冒険」から。
「（略）掃除整頓もどこへやら、廃品回収屋の倉庫然としたまんが本の山を掻きわけ、降りかかる埃に咳こみながら、これぞと思う貸本屋まんがの発掘に精をだした。（略）
当然ながら、われわれは各自お目当てをもってこの場に臨んでいた。四方田（犬彦）さんは比較まんが論研究のために資料として水木しげる作品が大量にいる。一方愚生は、ノスタルジアも作用して、なつかしの日の丸文庫版『影』、『魔像』、そして楳図かずおに水木しげる。
どういうわけか、水木しげる本がかち合った。おたがい、相手の探している本に出くわしたら、武士の情けで抜きだしておこう。そう誓ったのだけれども、水木さんの本についてはどうだったか。たがいに掘り出しものをひとり占めにしようと、本の山に分け入ったらしい。（略）
われわれはホクホク顔だった。さあ、あとはお勘定していただいて、五十冊以上の本をリュックとバックに詰めこむだけだ。しかし主人もさすがに業者だった。手塚本と水木本は市に出せば高く売れるから、全部没収するとのお達しである。これにはわれわれも肩を落とした」（p.131～133）

○『オンリー・ミー　私だけを』三谷幸喜（幻冬舎文庫　97・4）　五七一円
「古畑仁三郎」「王様のレストラン」の当代きっての人気脚本家のエッセイ集。
「ねずみ男と私」というエッセイから。
「（略）『そちらの雑誌でね、ねずみ男のインタビューやりませんか。独占ってことで』
（略）僕は失礼を承知でこう聞いた。
『最近はどんなお仕事を』
―いろいろ手広くやってますよ。（略）去年中野の駅前にカラオケボックスをオープンしました。『ラッツ&ベティ』っていいます。（略）
月に一度か二度は講演会の仕事が入って来ます。『ゲゲゲの鬼太郎』を見て、ねずみ男という人間の生き方に共鳴してくれた人が、今でも声をかけてくださるんで。ありがたいことです。（略）
テレビの出てた頃よりは自分の時間が作れますから、そりゃ楽ですよ。あの頃は本当、半端じゃなかったですから。タイトルこそ『ゲゲゲの鬼太郎』でしたけど、実質主役は私でしょう。毎週録りがあって、合間を縫って雑誌の取材、サイン会、日曜日はデパートの屋上でライヴショーもありますしね。休む暇がないんです。（略）
『ゲゲゲの鬼太郎』が終わった後、『ビビビのねずみ男』ってタイトルで、マジにやろうかって話もあったんです。でもね、鬼太郎サイドがいい顔しなくって。ああ見えてプライドが高い男ですから。鬼太郎君は。結局ポシャりました。

テレビの出なくなった理由ですか。そうねえ、テレビ局がねずみ男ってキャラクターを使いこなせなかった、それにつきるんじゃないのかなあ。（略）

ー鬼太郎の正義感づらしたところがいやでね。俺はあいつに人生の厳しさを教えてやったつもりです。向こうは『腐れ縁』とか言ってますが、俺は一度もあいつを友達と思ったことはないしね、だから裏切ったって意識もないなあ。

ふだん？　ふだんも仲悪いですよ。とにかく俺は本音で生きる人間だから。偽善的な奴って駄目なんですよ」

（P.218～222）

○『定本　悪魔くん　QJマンガ選書01』（太田出版　97・5）　二〇〇〇円

「月報」が、『ガバメントを持った少年』の月報と間違って入っている。

QJマンガ選書の編集部までハガキを出せば、正しい「月報」を送ってくれる。

その「月報」のなかに、復刻してほしいマンガ家として、「つゆき・サブロー」の名前がある。

『東西奇ッ怪紳士録　壱』（小学館　97・7　五五二円）のなかの「貸本末期の紳士たち」や「カランコロン漂流記ー思い出す人々　第13回」（『ビッグコミック』7月10日号　二三八円）に紹介されている、ご存じ、「霧の中のジョニー」またの名を「吸血鬼エリート」のモデルである。

つゆき・サブロー氏の写真が、『クイック・ジャパン　14号』（太田出版　97・6　八〇〇円）に掲載されている。QJマンガ選書から、『寄生人』が出版される予定。

○『消えたマンガ家　2』大泉実成（太田出版　97・6）　八〇〇円

今回は、とりいかずよし、ふくしま政美、山本鈴美香、美内かずえ、黒田みのるに、論及している。

山本、美内、黒田については、［少女マンガ家は、なぜ教祖になってしまうのか?］というシリーズタイトルで、マンガ家と新宗教の関係に迫る。

水木しげる原理主義についての説明。「世界は水木しげるを中心に回っているという『水木原理』を熱烈に信じる人々のこと。（略）主な教義は、南の島でぶらぶら楽しく暮らすこと、妖怪探訪等」（P.136）

○『21世紀を読む　99人の知恵』（朝日新聞社　97・6）　一一〇〇円

水木氏は「おばけ」について語っている。

「大人がおばけを信じないのは存在を否定する教育のせいです。妙なものに凝って、貧乏な生活、貧乏な国になるより、コンピューターが神様だ、ぐらいの方が良いと。だけど唯物論で霊を全面的に否定して、『迷信だ』もいかんですよね。いくら科学が発達したって、おばけがなくなることはありませんよ」（P.145）

そのほかにも、大友克洋さんが「アニメ」について。

「アメリカはディズニーしかないから、みんな飽きているんじゃないか。その意味で、日本のアニメのお客さんは、もう少し潜在的にいるんじゃないかと思っているんですけどね。（略）ディズニーの社内にも、『MEMORIES』みたいな仕事をしたいっていう人間がいるらしいですよ。いつも、コーヒーポットが歌っているようなのは嫌だって」（p.81）

大塚英志さんが「漫画」について。

「日本の出版物の四割が漫画で、出版社から流通、卸まで出版業界は漫画の収益に支えられているからです。講談社の文芸書も集英社の『ユリシーズ』も、漫画のおかげで出せる。角川書店がごたごたを乗り越えられたのも、吉本ばななや赤川次郎よりも、『セイント・メビウス』などのコミックの売り上げに拠ります」（P.91）

○『リトルモア　1』（リトル・モア　97・7）　一〇〇〇円

水木氏が昭和35年に東眞一郎名義で発表した短篇『壁』（20.P）が掲載されている。

「㈱リトル・モア」の社長、竹井正和君は、私の古い友人。

その人となりは、『ベストセラーの方程式』井狩春男（ちくま文庫　95・3　六〇二円）に詳しい。

「パンチパーマにサングラス。皮ジャンを着て、オートバイで乗りつける。どう見ても暴走族。どう見ても出版とは縁のない人。（略）リトル・モア（もう少し）という出版社を起こす。処女出版は、ブルーハーツの『僕の話を聞いてくれ』。この本には、どの社からも書いて欲しいとラブコールされている吉本ばななさんがエッセイを寄せている。超売れっ子が、なぜ名もない出版社に原稿を書いたのか？　答え、竹井さんがヤクザ風なので、断ったら、『東南アジアに売り飛ばされてしまう』とばななさんが、恐怖を感じたから」（P.222～223）

○『現代マンガの全体像』呉智英（双葉文庫　97・1）　五四四円

呉氏は、水木の諸作品の根源を、「明るいニヒリズム」という。

「作家論　作品論　水木しげる」から。

「ニヒリズムといえば、暗く、悲観的で、しばしば破滅的なのが、普通である。しかし、水木しげるの場合、一見矛盾するような、明るさとニヒリズムが結びついている。何の権威も信じない点でニヒリズムなのだが、自信と安堵感に溢れていて明るいのだ。この特異な魅力が読者を強くとらえている」P.235

「新作が出なくとも読み継がれる貴重なマンガ家である」P.238

水木氏を新宗教の教祖に担がない、担げない、また担がれない、理由か。

○『お楽しみもこれもなのじゃ〈マンガの名セリフ〉』みなもと太郎（河出文庫　97・4）　七六〇円

〈マンガの名セリフ〉を、みなもと氏が、登場人物の似顔絵（？）で紹介。

水木作品は、『地獄』と『霧の中のジョニー』が登場。

どちらもマンガファン必読書。単行本を持っていない人はもちろん、持っている人も是非。

○『日本一のマンガを探せ！　別冊宝島316』（宝島社　97・6）　八五〇円
「30年以上も人々から愛され続けている鬼太郎も妖怪なら、70歳を過ぎても少年の頃と同じ心でペンを握る水木もまた、偉大な妖怪だ。つややか肌でテレビに出る水木を見て『年々若返っている』と佐藤まさあきは語っていた」P.117

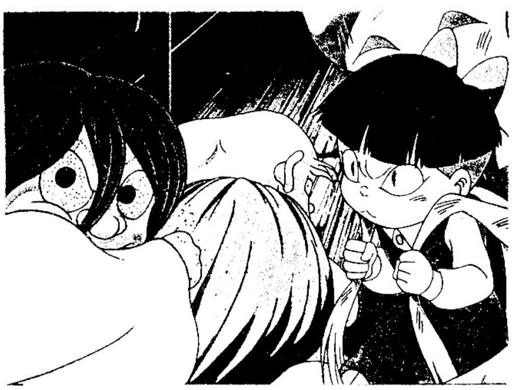
資料を掲載するときは、できるだけ出典を明らかにした方がいいと思います。「フハッ40号」の「水木しげる　佐藤有文　対談」は、ずいぶん古いものですよね。
年表に、会員増に多いに貢献した、水木伝説著『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』（松文館　93・9）の刊行が載っていなかったのは、画竜点睛を欠くのでは……。

○おまけ。角川書店のPR紙『本の旅人』に、「水木しげるの妖怪人類学」が連載されている。
手持ちの「97年7月号」には、「⑮《日本》オハテスエ」が紹介されている。
文末に「読者のみなさんの“妖怪体験”を募集します」とある。
宛先は、「〒182　東京都調布市布田　1132−5　〈水木しげるの妖怪ポスト係〉」まで。

◀NO.99　さるた　せいいち

◀NO.7　米吉　和久







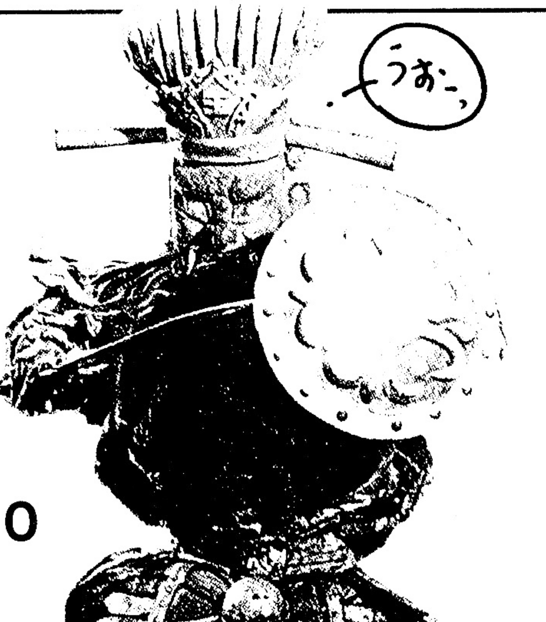
現代民話考モドキ
其え拾・えん魔大王



『猫娘とねずみ男』に登場した"三しの虫"という妖怪を覚えていますか？（ぬ～べにも出てからなんとなく知ってる人もいるでしょう。）先日、仕事で奈良に行った時にこいつ等を奉っている神社を見付けたのですが、そこの縁起によるとこいつ等は『こんにゃく』が嫌いなんだそうです。でも、こいつ等の親方であるエン魔大王は『こんにゃく』が大好物なんですよね。どういうことでしょうか？

話は変わりますが、『ウルトラマンタロウ』に『エンマーゴ』と言う怪獣（と言うより妖怪だなこいつは）が登場するのですが、この回のロケを行った時ロケバスが畑に突っ込むという事故が起きたそうです。スタッフは「エン魔様のたたりでは…」等と冗談を言い合っていたそうですが、後にエン魔大王の大好物が『こんにゃく』である事を知り、青ざめたそうです。

ロケバスが突っ込んだ場所が、こんにゃく畑だったからです。



これがウワサのエンマーゴ、タロウの首を切っちゃうラ.

あ？そー言えば今日はおぼんだナ…

みんなイベントに行ってんのか…

いいな～.

次回は必殺の話するぞ～!

いや～。手ぬきするとラクだな～

新入会員紹介

NO. 287　西尾　誠之

住所／大阪府南河内郡
好きな作品／アホな男

⑦自由欄

水木伝説への入会を希望します。
よろしくお願いいたします。
『一八一号』『水木伝説』別冊『水木伝説』の
バックナンバーを購入したくおもいますので
リストをお願いいたします。
小学生のころから水木作品が一番好き
でした。のんびりした世界が描かれて
いて、心が休まります。そして独特の
個性的な絵がいいです。

NO. 288　宮川　元樹

住所／神奈川県藤沢市
好きな作品／コケカキイキイ

⑦自由欄 初めまして、宮川元樹です
第3部（昭和60年10月～63年3月）のゲゲゲの
鬼太郎以来のファンです。水木センセイを
尊敬しております。
P.S「水木伝説バックナンバーリスト」希望
第3部「鬼太郎」の
全話リストが欲しいです。



よろしくお願い致します。

NO. 289　中広　辰巳

住所／広島県三原市
好きな作品／河童の三平

⑦自由欄

今年8月24日境港へ行きました。水木しげる
ロード、世界妖怪会議前夜祭、水木先生の話
をしてよみがえってきました。小学生中学生の時読ん
だ水木先生の作品の数々。もう一度あの感動を
味わいたくて…、水木伝説に思わず入会を？



NO. 290　上原　憲

住所／京都府綾部市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄



一度行ってみたい水木しげるロード
絶対読んでみたい『ロケットマン』『プラスチックマン』
今、最大の目標は、叢書と初期作品集を
手に入れることです。

NO. 291　帆刈　文章

住所／東京都杉並区
好きな作品／ねずみ男出演もの
　　　　　　とくに忍法秘話もの

⑦自由欄

小学生の頃は鬼太郎ファンでしたが、
20年以上もたってから水木熱が
燃えあがり、今一生懸命読んで
います。すべての水木作品を
読みきるまでは死ねません。
いやー、おおげさだなあ、もう。

NO. 292　日比野　聖巳

住所／東京都町田市
好きな作品／妖奇伝

⑦自由欄

小学生の時に妖怪なんでも入門を見てから
水木しげる先生のファンになりました。
会員の皆様となかよく楽しく交流が
持てたら幸せに思います。
よろしくお願いします。

NO. 293　土井　忠男

住所／神奈川県横浜市
好きな作品／怪奇鮮血の目

⑦自由欄

- （水木伝説バックナンバーリスト）希望です
　又（ねぼけ人生）も希望
- はじめまして。水木しげる先生の大ファンです。特に貸本（漫画）時代
の作品が好きです
現在、手に入れたい作品は「ねぼけ人生」と朝日ソノラマ（貸本漫画傑作選）
のNo.20と青林堂発行の関係書物等です。
今後もよろしくお願いします

NO. 297　岡本　裕義
住所／千葉県市原市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄　初めまして！千葉県在住の岡本裕義（15）です。
8月23日から26日まで3泊4日で鳥取県の
境港へ旅行に行くことになりました。
実は前にも一度入会を希望したのですが
四千円という年会費の高さで断念したことが
あるのです。でも今はもう働いているので金銭
面でも心配なく堂々と入会できて嬉しい
限りでございます。あまり関係のない
話でしたが、鳥取旅行メチャクチャ楽しみ
です。あと、ご近所に住んでいる方、仲良しになって
下さい。よろしくお願 —4—
いします。

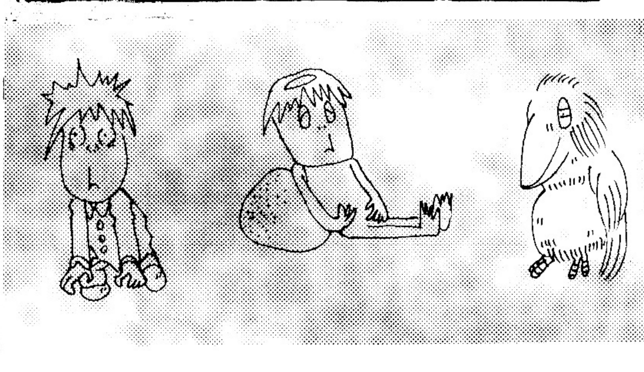
NO. 298　前田　賢治
住所／鹿児島県鹿屋市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
この夏休みは、鬼太郎グッズを探して
まわりましたが、鹿児島市にも売って
なかったので、困っています。
同じく思っている、もっと僕の近くに
いる方、お友達になりませんか。

NO. 299　川上　静子
住所／東京都渋谷区
好きな作品／河童の三平

⑦自由欄
水木先生の作品はどれも好きなので
一番はとても迷いました。
子供の頃から水木先生のファンでしたが
まわりには居ませんでしたので今回入会
させて頂いて嬉しいです。
未熟な一読者ですが
どうぞよろしくお願い致します。





NO. 294　愛路　輝美
住所／熊本県熊本市
好きな作品／全部好きですが、あえて言えば
猫又

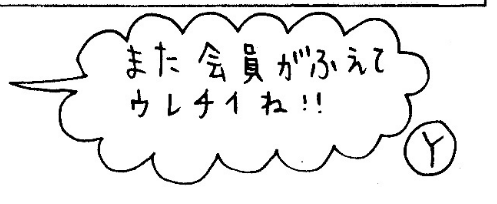
⑦自由欄
ご縁があって、入会させていただく事に
なり、すごく嬉しいです。若かりし頃の
初恋の人にやっとめぐりあった気持ちです。
仕事が急がしい為に、マンガまつり
を見に行ったり、グッズを買ったり、マンガを
見たりするのが、私のストレス解消法です。
でも、さすがに、子供からは、いい年してと
あきらめ顔で、私につきあってます。

NO. 295　加藤　圭吾
住所／福井県福井市
好きな作品／忍法庇話

⑦自由欄　僕が水木先生の作品を初めて見たのは
小学生の時に放送された鬼太郎のアニメで、
漫画の方は読んでなく、小学館の入門百科
シリーズをよく読んでいました。そして最近ま
で水木先生の作品は読んでなかったので
すが、今いろいろ読んでみて、妖怪以外の
作品もたくさん有り、もっともっと知
りたいと思っている所です。初心者ですが、
よろしくお願いします。

NO. 296　石本　絵里
住所／千葉県市原市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
⑥番はけっこう酷な質問でした。でもこの間、筑摩書房の
「水木しげる集」をやっと買い、読んだ処、どれも好きだけ
ど、やはり『ゲゲゲの鬼太郎』がいいなあ、としみじみ思い
ました。四才で鬼太郎（旧カラーの再放送かな？）に
初恋をし、七才で原作と出会い、八才まで実在する
と思ってて十才で水木しげるという作者を認識して
人は分れしたわたしとしては、鬼太郎の存在は大きい。
わたしの初恋、わたしの憧れ、わたしの自由の象徴、わたしの人生
に付き添って来た [illegible] たいけど、こんな重要な
質問が改めて思ってしまったのでしょう。[illegible]
[illegible]
あと！水木伝説がほしかったりした。希望です。



水木しげる資料館

※このコーナーのイラストは全て＝広秋



「ゲゲゲの鬼太郎―コピー妖怪対鬼太郎」

不正商品学ぶビデオ

◆大宮◆　知的所有権の大切さや不正商品とは何かを子どもたちにも分かってもらおうと、大宮署は、アニメビデオ「ゲゲゲの鬼太郎―コピー妖怪対鬼太郎」の貸し出しを行っている。

このビデオは、不正商品対策協議会が作製したもので、県警生活安全課で四本を所有、うち二本が同署生活安全課に貸し出されている。

ビデオは、さまざまなコピー商品を売り、子どもたちをだますコピー妖怪「輪入道」を鬼太郎がやっつけるというストーリーで、時間は約二十分。視聴を希望する人は同署生活安全課（048・663・0110）へ。

読売新聞　平成９年10月８日（水）　提供―池田雅範

呉智英の「マンガ狂につける薬」

第二十二回

『劇画 近藤勇』水木しげる（ちくま文庫）
『増補 幕末百話』『明治百話』上・下　篠田鉱造（岩波文庫）

文庫化される選書の名著

大手出版社はたいてい双書とか選書とか名づけたシリーズを出している。新書よりは少し詳しいが、専門書と呼ぶほど難しくはない。知的好奇心と高卒程度の学力さえあれば、かなり高度な内容が理解できるようになっており、現代の古典と言える本も双書や選書の中にいくつも含まれている。角川選書もその一つだった。いや、過去形で書くのはおかしい。角川選書は今も新刊が出ているのだから。しかし、これに入っていた良書で絶版になっているものは少なくない。

篠田鉱造の百話もの五部作も角川選書に入っていた。「幕末百話」「明治百話」「幕末明治女百話」「銀座百話」「明治開化綺談」である。書店の棚でもう長い間見かけないなあと思っていたら、岩波文庫に収録された。今年春「幕末百話」が出、続いて夏に「明治百話」の上下二冊が出た。五部作全部が収録されるのだろうか。ぜひそうなってほしいものだ。これは、幕末明治期の興味の尽きない逸話集だからである。

聞き書きの面白さ

百話ものに収められた話は全部聞き書きである。実際に幕末明治を体験した人が自ら語った口調を生かして記録されている。これは初めちょっと読みにくく感じるかもしれない。当時の俗語表現がそのまま残されているからだ。しかし、読み進むうちに慣れてくると、これがまた往時をしのばせる味になる。

それだけではない。今となっては貴重な資料である。例えば、博打うち専門の質屋を「テッカ質」と言ったという話が出てくる。鉄火場用の質屋という意味だ。関西では「質屋」を「ひちや」と発音するが、明治の初め東京でも同じように発音していたらしい。

また、今なら言論規制にひっかかることも、古典ということで許されている。「その頃の芸妓は役者の家内（妻）となっているのを恥じていたものです」とか「親父はこの通り盲ですが、一人子息は、まず有難いことに、学校教師にまで仕上げました」とか、現在なら書けないことがちゃんと書いてある。二つ目の例には、解説が必要かもしれない。息子を教師にした父親は、別に盲人だったわけではない。明き盲、すなわち文盲だった。目に一丁字もない無学な父の子が識字階級になったという話である。今は、「盲」「明き盲」はおろか、「文盲」すら書けない。という現状を批判したJ・ローチ「表現の自由を脅すもの」という本が最近角川選書から出たばかりなのも皮肉だが、それはそれとして、内容をいくつか紹介しておこう。

「幕末百話」の巻末に付載された最長話「今戸の寮」は、時代の流れの中で没落する大家の姿を描いて哀切な話だ。寮というのは金持ちの別邸のことで、隅田川沿いに、こうした別邸がいくつもあったという。その調度のたぐいの豪華さは「錦絵のような」と形容されている。三月の節句の雛人形は象牙細工、銀細工であった。しかし、これが没落すると大番頭が露店の古本屋になるほどだった。

「明治百話」には、明治十四年の斬首刑廃止で廃業した首斬朝右衛門の話が巻頭に記されている。面白いのは幽霊の話だ。世間では朝右衛門の家に幽霊が出ると噂が立ったけれど、「ざっと勘定しても三百人余りを斬った」にもかかわらず、一度も出ていない、というのだ。オカルトばやりの昨今よりよほど当時の方が健全である。

飄々とした描写

こうした幕末の雰囲気がよく出ている伝記マンガが水木しげる「劇画 近藤勇」である。

水木しげるは妖怪マンガで広く知られているが、諷刺マンガや伝記マンガも得意としている。子供向きの鬼太郎ものでしか水木を知らない人に、この「劇画 近藤勇」を薦めたい。運命に翻弄された武州の田舎武士の生涯を哀感とユーモアで見事に描いているからだ。

この作品は四半世紀ほど前「ガロ」に連載されたが、その時の原題は「星をつかみそこねる男」といった。近藤勇は、江戸の西郊調布の郷士の家に生まれた。やがて剣術家の養子になり江戸に出、ついには時流に乗って新選組の組長になる。しかし、この新選組そのものが時代の判断を誤っていた。近藤勇は官軍の手に落ち、数ケ月後には明治と改まる慶応四年春、刑場の露と消えた。たまたま調布に住む水木しげるが関心を持ちマンガ化したものだが、純朴でさして政治的才能もない田舎武士の側から歴史を読める視点がいかにも水木らしい。「星をつかみそこねる男」という皮肉な原題にそれがよく表れている。

劇画と銘打たれてはいるが、描線もコマの展開もいわゆる劇画の激しさとは無縁で、飄々とした感じが楽しい。それでいて、近藤勇の最後は不思議と胸に迫るものがある。天仰な表現、構えた表現では、歴史の実像は描けないのかもしれない。名もない人たちの記録である篠田鉱造の百話ものに通じるところがあるだろう。

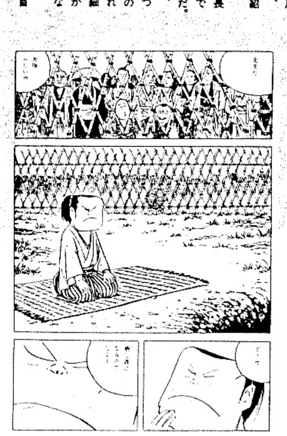


「増補 幕末百話」
篠田鉱造　岩波文庫　620円

「明治百話」（上・下）
篠田鉱造　岩波文庫　上520円・下570円

今より三十年前の家庭には、幕末の古老が、どこの家にも、ごろごろしていた。祖父母といい、父母といい、幕末維新を、まのあたり見聞して、佩刀から丸腰、ちょん髷から散切、士族の商法、お長屋住居、お扶持米、旗本の栄燿、官軍と彰義隊、薩摩屋敷焼討で、演劇に生首がころがっていたこと、町に朱に染んだ死骸の辻斬り、吾妻士大騒ぎのお駕入り、安政の大地震、辰歳の大暴風雨、道具御式の投売、物価の安かったこと等、すべて幕末維新の話で持切っていた。





©水木プロ／筑摩書房



『劇画 近藤勇』
水木しげる　ちくま文庫　980円

くれともふき／評論家
1946年名古屋市生まれ。大の本読みであり、活字に限らずマンガもかなり読み、目を通す。呉流極論的論争スタイルを持つ論客。著書に『バカにつける薬』（双葉社）、『インテリ大戦争』（宝島社）、『読書家の新技術』（朝日新聞社）、『現代マンガの全体像』（史輝出版）、『言葉につける薬』（双葉社）など。タイトルどおり過激で斬新な持論を展開中。



← 提供「微塵子」


にんげん劇場

サンケイ

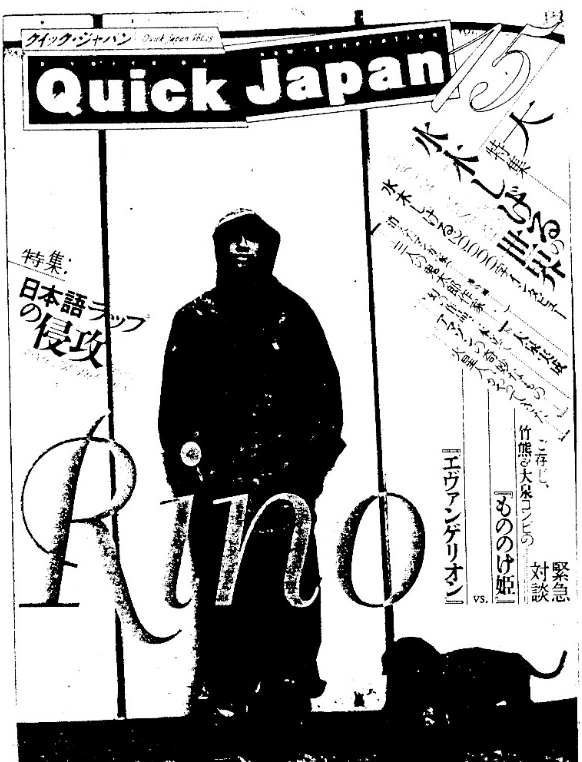
「天国の島」再訪 水木しげるさん

「戦争は残忍なものですが、わたしが人間らしさを失わずにいられたのも、大自然に包まれて暮らす島の人たちとの触れ合いがあったからです」

太平洋戦争の激戦地・パプアニューギニア。そこで漫画家、水木しげるさん(七三)は左腕を失った。が、いまでも「天国の島」と呼ぶ。忌まわしい戦争体験よりも、ある「少年」との思い出が鮮烈だったからだ。そして、ゲゲゲの鬼太郎をはじめとする妖怪うごめく水木ワールドが生まれた。

終戦から五十年目。この夏、水木さんはニューギニアを訪ねた。「少年」の葬儀に参列するために。（社会面に続く）

← 「クイックジャパン」―【水木しげるの世界】鬼太郎の同人誌をやっている奴に読ませたい！





私と本 ⑥

～読書週間に寄せて～

水木しげる氏（漫画家、妖怪研究家）



ぼくの読書法は、便所でも、自宅の机でも、常に本をおいておく。そこに座ったとき、読むといったぐあいである。

なにしろ、あまり時間がないから大変だ。

やはり、旅行中の飛行機の中とか喫茶店の中で読む。仕事机の上で本は読んだことがない。

ぼくの場合、読んでおぼえておかないとまずいことが多いので、エネルギーが要る。

読むのが仕事という人も世の中にいるが、ぼくは読みすぎると仕事にならないから、推理小説とか旅行記といったものは読まない。

読むのはやはり〝妖怪とは何か〟ということに関係したものばかり。もともと読書ぎらいで、ぼんやりしているのが好きだったが、いつしか〝妖怪の大家〟といわれるようになったため、知らぬ存ぜぬではすまされなくなった。やむなく、二十年前から読書家になってしまった。

ぼくは冒険を好むから、未知のところへ行って感じて読むといった奇妙な読書法（これは自然から学ぶ）も心得ていて、よく探検に出かける。

そして自宅で〝あれはなんだったのか〟ということで読書すると、なんとなく身につくような気がする。

最近になって、なんだか生きてることが面白くて仕方がない。これも年のせいだろうかなァ。

年十一月一日サンケイ

水木しげるの

妖怪図鑑

名作200選

日本篇① ●予価6,800円

名作200体の妖怪についてのデータベース！ アニメや音声も楽しめる妖怪情報が満載。妖怪世界を探検するゲームや水木しげるがムービーで語る「水木塾」も楽しめる、妖怪入門者向きのCD-ROM!

8月7日発売

スクリーンセーバーとデータベースを両方お買い求めの方全員に、ペーパークラフト「妖怪紙相撲」を収録したフロッピーディスクをプレゼント！

すべての妖怪ファンに捧げる、妖怪ソフトの決定版！



©1997 水木プロ／講談社



スクリーンセーバー

好評発売中！

日本篇 妖の巻 ●予価3,980円

データベース「名作200選」に収録した有名妖怪50体プラスαがスクリーンセーバーに！ 静止画だけでなく、音声・動画も楽しめます。

シリーズ第2弾！
傑作400選 日本篇② 11月30日発売予定
スクリーンセーバー 日本篇 怪の巻 11月1日発売予定
※両方お買い求めの方にペーパークラフト「妖怪紙飛行機」プレゼント

シリーズ第3弾！
秀作350選 世界篇 12月10日発売予定
スクリーンセーバー 世界篇 魔の巻 '98年1月発売予定
※両方お買い求めの方にペーパークラフト「妖怪めんこ」プレゼント

シリーズ第1弾！

HYBRID版
（Macintosh、Windows95対応）

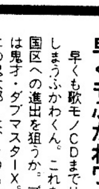
●お問い合わせ先 講談社 映像ソフト販売部 TEL.03-5395-3631
発売元＝講談社　制作協力＝TYO

↑ 週刊現代

季刊怪（KWAI）創刊第零号

水木しげる／荒俣宏
京極夏彦 他
定価：本体1000円

妖怪＝精霊＝スピリチュアリティを現代人の心の中に取り戻すべく設立された「妖怪協会」が世に問う季刊ムック。



ふかわくん、ついにレコードデビュー！

早くもふかわワールドの新境地を開拓。

早くも歌モノCDまでリリースしてしまうふかわくん。これを機に一躍全国区への進出を狙うか。プロデュースは鬼才・ダブマスターX。この〝レゲエの鬼太郎〟は、その名の通り妖怪アニメソングをレゲエ風にアレンジしたモノ。あのアニメタルの姉妹企画にあたる。さてこのアルバムで、彼はどんな新しい笑いを見せてくれるのか。



↑「レゲエの鬼太郎」は6／21にソニーレコードから発売。夏向きのレゲエアレンジで待ち遠しい

↑ ポパイ6月10日

世の中探見

現代おばけ考 ④

目に見えないもの、科学的・合理的でないものがとかく疎んじられる世の中にあって、近年、アニメや漫画の世界を中心に「妖怪」が復活してきている。「妖怪学新考」などの著書で知られる国際日本文化研究センター教授の小松和彦さんは、文化人類学・民俗学の立場から、文明の最先端にいるはずの現代人がなぜ、幽霊信仰や妖怪にこだわるのかを解き明かす。

「生命」めぐるメッセージ託され

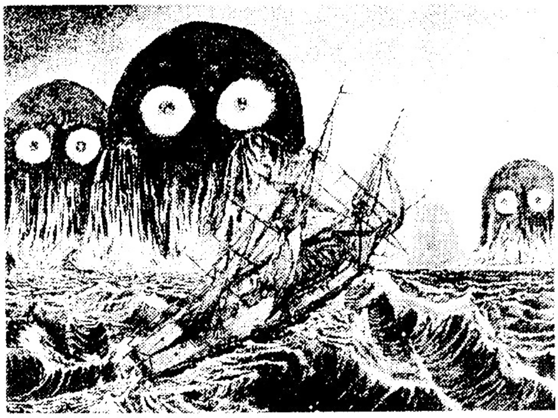
小松 和彦
国際日本文化研究センター教授



「学校の怪談」が話題になっている。だが、巧みに隠蔽されているために記録されることが少ないが、怪談は学校ばかりでなく、オフィスビルでも、病院でも、盛り場でも、住宅地でもまことしやかに語られている。興味深いのは、そのほとんどが幽霊系の怪談が圧倒的に多いということである。たとえば、幽霊を乗せたタクシーの話はその典型であるが、苦しんで死んだ患者の幽霊が病室に出現したり、ホテルの一室で自殺した者の幽霊がその部屋に泊まった者の前に出現する話、等々、その体験談と称する話は枚挙にいとまがない。私自身は幽霊を見た経験がない。だが、中学時代に住んでいたある古家で、この家にこれまで泊まったことのないという来客の寝室に老夫婦の幽霊が出た話を、その翌日に本人から直接聞いてぞっとした体験を持っている。

なぜ科学・物質文明の最先端にいるはずの現代人が、幽霊の信仰を否定できないのだろうか。一番の理由は、死後の世界への再生・生まれ変わりを、あるいは肉体は消滅しても霊魂は不滅であるという思いを捨てきれないでいるからであろう。幽霊を否定することは、霊魂は不滅という観念＝「あの世」の否定を意味するのだ。それはまた、恨みを抱く者に対してあの世からタタリをなすといった信仰も成立しないということである。

妖怪の復活



マンガにおける妖怪ブームの先駆けとなった水木しげるの世界。海辺に現れて、人を見るとぬるぬるした身体の油をぬりつける「海坊主」（©水木プロ）

もう一つの理由は、人間という存在は死者の人生を振り返り、その評価を行い、それに対してさまざまな思いを抱いてしまう存在だからである。若くして殺されたり事故で死んだ人や、虐げられた人生から抜け出すことなく亡くなった人の心中を思いやり、ときには自分たちが生きていることに対して「うしろめたさ」を感じることさえある。こうした死者への想像力が、霊を想定させ幽霊を呼び招く土壌を形成しているのである。



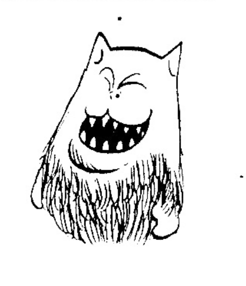
このように、現代では、怪談といえば、幽霊談が中心になってしまっている。だが、昔からそうだったわけではない。かつては、姿をかえる能力をもつとみなされた猫や狐、狸などが引き起こす怪異談や、山や森、川などに宿る霊魂が引き起こす神秘などについての怪異談が語られていた。怪談のレパートリーはたくさんあり、その一部として幽霊の話も含まれていたのであった。

ところが、私たちは人間中心主義的な文明を作り上げた結果、人間以外の怪談は遠い昔の時代のなかに捨て去ってしまったのだ。高層ビルのなかで狐にばかされたという話が成り立つであろうか。つまり迷信になってしまったわけである。その結果、「化け物」の畏怖のこめられた幼児語であった「おばけ」という語も、強固に生き続ける幽霊を指す言葉に変化していった。

もっとも、実世界での怪異談として語られることはほとんどなくなったが、化け物たちはフィクションのなかの主人公として再びよみがえりつつある。それが今日「妖怪」と呼ばれている者たちである。「妖怪」とは、かつては怪談の話題になる不思議な現象・怪しい存在のすべてを指し示していた。それが、実世界ではなお信じられていた幽霊やときには化け物と区別されて、フィクションのなかでしか活躍できない非人間的な神秘的存在一般を指し示すものとして用いられるようになったのである。妖怪ブームを引き起こした水木しげるの「ゲゲゲの鬼太郎」のテレビ・アニメの登場以降のことである。

しかし、フィクションだといってあなどることはできない。むしろ「妖怪」たちが復活してきたことが重要なことなのである。たとえば、宮崎駿の「となりのトトロ」や「もののけ姫」を想起すればよくわかるように、それらの作品には、幽霊ではなく、妖怪にしか託せない深刻なメッセージが、現代社会全体に、いや地球全体にさえかかわる「生命」をめぐる大切なメッセージが託されているのである。

こう考えると、「おばけ」は人々が捨ててきたものの価値を映し出し問い直すための鏡といえるであろう。

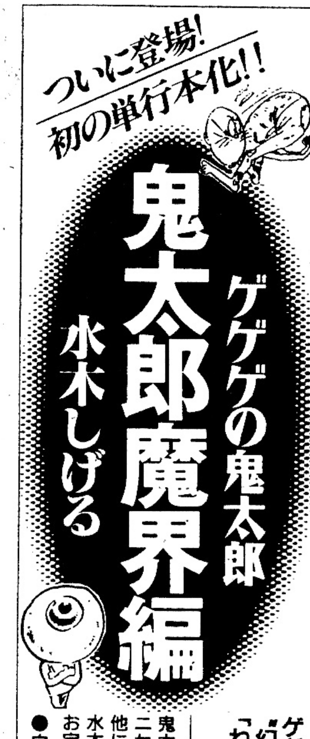


平成9年8月22日
毎日新聞（夕刊）

カラー草紙　妖怪・土俗神　各地の〝神さま〟大集合

昔、草刈りをしていたある女が、タコを見つけて八本の足のうちの一本を切ってしまった。残った七本足のタコを祭ったのが、岩手県野田村の「蛸（タコ）神様」である。地元の漁師たちは決してタコを食べないという。奈良県で「一言さん」と呼ばれている神は、一言の願いであれば何でもかなえてくれる。逆に吉凶を一言でいい放つという。岡山県北部地方には、口の裂け方がオオカミで、耳はウサギ、胴体が長く後足が発達した「オイツキ様」と呼ばれる不思議な動物神がいる。こうした「目には見えないが確実にいるもの」の正体は、神様であり精霊であり、あるいは妖怪（ようかい）ということになる。人々の心と山川にすむ、全国各地の妖怪・神様がオールカラーで大集合した。

（水木しげる著／PHP研究所・一一九〇円）



↑　ベストカー





片腕を失い人間らしさは失わずにすんだ戦争体験

古い資料ですみません(汗)

漫画家

水木しげるさん

水木しげるさん(七二)の漫画家としての歩みは、太平洋戦争での体験によって決定づけられたようだ。あの世とこの世のはざまで、人間くさい妖怪(ようかい)がうごめく水木ワールド。その作品の底には、一兵卒として赴いたラバウルでの、霊の存在を信じ人間らしさを失わない現地の人たちとの触れ合いがあった。

「ラバウル」の心、妖怪に託す

にんげん劇場

少年との出会い

日本から南に約五千キロ離れた南太平洋・パプアニューギニア。

昭和十九年の初め、水木二等兵は補充兵として、群島のひとつ、ニューブリテン島の最前線、ラバウルの奥地にいた。

前年の日本軍のガダルカナル島撤退を契機に、戦局は日本に不利に動き始めたころだ。ニューブリテン島の西半分もすでに、米豪連合軍が占領していた。

「補充兵は殴られなくてもよかったが、そのかわり、満足な食事も与えられず、来る日もくる日も斬壕(ざんごう)掘りをさせられました」

じめじめした密林のなかで、突然襲うマラリアの熱にも苦しめられた。

そばに、島の人たちの集落があったが、敵と通じているかもしれない、という理由で出入りは禁止されていた。

「空腹がこうじたんでしょうか。軍紀をやぶって、足を踏み入れたんです」

そこには、イモ畑が広がり、男も女も腰ミノだけの姿でにこやかな笑顔をみせた、という。

「『なぜ、自分は戦争をしているんだろう』と、正直思いましたね」

ある時、一人の少年と目があった。それが「トペトロ」との出会いだった。

地獄のラバウル

水木さんは初め、敵陣近くの偵察部隊にいた。

慣れないラッパを毎日吹かされ、班長に「やめさせてくれ」と直訴したところ、「南方がいいか北方がいいか」と逆に問われ、「南方です」と返答。ニューブリテン島行きが決まった。

「あとで知ったんですが、島に渡った部隊は、私たちが最後。いつまでたっても、初年兵として殴られました」

敵を殺すことだけを考える閉塞(へいそく)された世界では、眠ることが唯一のストレス解消だった、という。

水木さんは妖怪もののほか多くの戦記漫画を手掛けている。が、英雄も軍神も出てこない。そこには風さいのあがらない、それでいてこっけいな兵隊がいる。

島のなかでも敵占領地に接する地域に、消息の途絶えた仲間を捜しに向かった。機銃掃射の音がした。無我夢中で溝に飛び込み、銃を捨てた。連合軍側についたらしい島の人たちがやりを持って、陣から監視していたが「不思議に殺されるとは思いませんでしたね」。

だが、「一週間ほどジャングルをさまよって本隊に戻ると、『なぜ銃を捨てた』と殴られ、次に死を宣告されました。『真っ先に突撃して死ぬのはおまえだ』―と」。

やがて、敵の空爆が部隊を襲った。左腕に激痛が走り、意識を失った。目がさめると、軍医は「腐敗するから」という理由で、腕を切り落とした。

名前はパウロ

傷病兵になったことで、トペトロ少年との出会いが生まれた。

「トペトロはかしこい子で、戦況のことなんかもわたしよりずっと詳しかった。戦争の話なんかもしたし」

水木さんを驚かせたのは、ローマ字の現地語バイブルがあったことだ。

「おもしろ半分に声を出して読んでいたら、やたらと『パウロ』という名前が出てきたんです。読みあげるたびに、みんなが笑うんですね」

水木さんはこの日をきっかけに現地の人から「パウロ」と呼ばれるようになり、「警戒されずに、とけ込めた」という。

戦争は「ポツダム宣言を受諾した」という上官の言葉で終わった。

「捕虜となりましたが、さくには抜け道があって、その後も現地の人たちとの交流は続きました」

天国を訪ねて

復員したものの、生活は苦しかった。魚の行商、輪タク屋の親方、そして、子供のころから好きだった絵が忘れられず、紙芝居をかいた。「テレビの普及で、貸本専門の漫画家に転向したが、それも新雑誌の発刊で続きませんでした」

そして、ひらめいたのが妖怪。食えない時代は、四十年代前半の『ゲゲゲの鬼太郎』のヒットで終わった。

だが、締め切りに忙殺される日々に、心は逆に干からびていった、という。

「その時、思い出したのが、天国の島でした」。戦争のつらい記憶にも勝る、よき思い出を与えてくれた懐かしい島。

「日本に引き揚げるとき、後ろ髪引かれる思いで七年で戻ると約束したのだが、再訪は四十四年。以来、定期的に訪ねた。

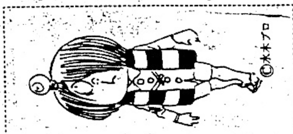
先月、娘さんらを伴って「天国」へ出掛けた。今回の旅はちょっと悲しいものだった。「人間らしさを失わずにいられた」恩人であるトペトロさんの葬儀に出席するためだ。

この夏、水木さんの作品が爆発的に売れている。

「霊さんのせいですよ」とひょうひょうと話す。

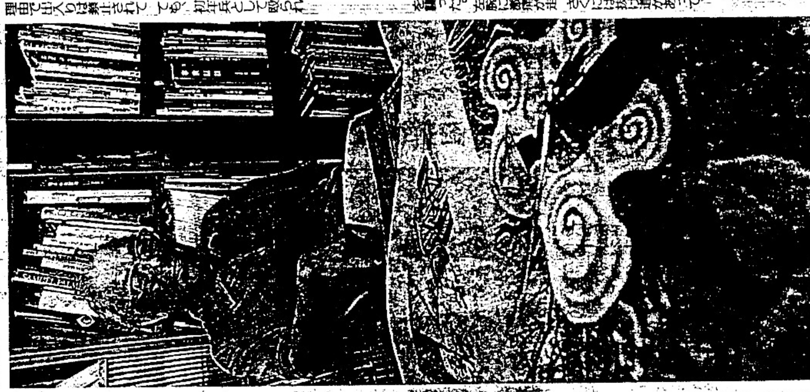
だが、話を聞いているうちに、きっと目にみえないものの存在を信じあえたトペトロ少年が後押ししているのだ、と思えてくる。

文　小代みのる
写真　佐藤　雄彦



みずき・しげる　本名・武良茂。大正11年3月、鳥取県境港市生まれ。昭和18年に召集され、ラバウルで空爆にあい左腕を失う。21年に復員、神戸で紙芝居などで生計をたてながらかいた「テレビくん」で41年の講談社児童マンガ賞を受賞。以降、「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」などのヒット作で人気漫画家に。妖怪もののほか全八巻の「昭和史」などの歴史もの、戦記ものもかく。岩波新書の「カラー版妖怪画談」が注目を集めた。平成3年、紫綬褒章受章。郷里には、妖怪像を並べた「水木しげるロード」もある。

©水木プロ



原画を前にした水木さん。「片腕は失ったが、人間らしさは失わずにすんだ」と戦争を語った＝東京・調布市の仕事場

英雄も軍神も出てこない「水木ワールド」



平成9年度　京田辺市平和のつどい・平和展

「水木しげるが描いた戦争体験」展

戦場で出会った、ひとと妖怪

◎1997年8月9日（土）〜8月15日（金）
◎午前10時〜午後4時◎京田辺市コミュニティホール
◎主催　京田辺市　京田辺市教育委員会　京田辺市平和都市推進協議会
◎監修　水木プロダクション

「水木しげるが描いた戦争体験―戦場で出会った、人と妖怪」展は、水木さんが体験し、感じたままの“戦争”に触れる展覧会です。『水木しげるの娘に語るお父さんの戦記』（河出書房新社）、『昭和史』（講談社）の原画を中心とした絵画、21点を展示しています。

水木さんは、生と死がすぐとなりにあったラバウルの戦場で、九死に一生を得たものの、左手を失い、マラリアになやまされつづけます。いちばん下の位の兵隊だったため、なぐられることが仕事のような毎日でもありました。

そんな戦場のくらしも、水木さんの生命力と強運を押しつぶすことはできませんでした。あふれる好奇心の命じるままに、「あいさつはしない。ほほえみで十分」だということをすぐに感じとって、その土地に住まう人たちと心をかよわせます。あの軍隊の中でさえ、ビンタに耐えながらしばしばはみだし、「ぼくは絵描きですが、紙をもらえませんか」と言ってみたりします。

「戦場で出会った人たちは、いい人たちでした」。そのいい人たちが、殺し殺される戦場を経て、人が生きるかなしさを抱えた明るさは、以後の作品の基調になっているように思えます。

戦場はまた、人間を超えた存在を感じる場所でもあったようです。
「真っ暗なジャングルの中で急に前にすすめなくなるんです。（略）どうしても前へ進めない。そこで手で押してみると固まりかけたコールタールの壁のようなものが立ちふさがっているんです」
あれは“塗壁”で「白っぽく描いてしまったが、本来黒だったんだな」と回想しています。
（『妖怪まんだら-水木しげるの世界』中沢新一氏との対談より）

こうした水木さんらしい物語をたっぷりと秘めている展示作品から、現在につながるなにかを感じとっていただければ幸いです。





展示作品

1) 子どものころのあそび　弟と／『トペトロとの50年』
2) 兵隊姿　兄と／『トペトロとの50年』
3) 出征／『娘に語るお父さんの戦記』
4) サンゴ海の海戦／『昭和史』
5) 前線での移動、いのちからがら／『トペトロとの50年』
6) 戦場での生活／『トペトロとの50年』
7) ラバウルの戦場／『昭和史』
8) 死ぬか生きるか／『姑娘』
9) 前線での戦い／『姑娘』
10) 丘の上のたいまつ／『娘に語るお父さんの戦記』
11) 塗壁／『娘に語るお父さんの戦記』
12) ピューピュー弾が飛ぶ／『娘に語るお父さんの戦記』
13) 畑をつくる／『娘に語るお父さんの戦記』
14) スケッチ／『ラバウル戦記』
15) 小屋の中／『娘に語るお父さんの戦記』
16) マラリアで倒れた／『娘に語るお父さんの戦記』
17) 戦場の病院／『娘に語るお父さんの戦記』
18) カナカナウィスキー／不明
19) トペトロのコブラ票／不明
20) ドクドク／『トペトロとの50年』
21) 戦後新宿／『昭和史』

「ドクドク」に平和のねがいを

平和へのねがいを書いて、「ドクドク」をつくる。

「ドクドク」／トライ族の祖先神、大地の母トンブアナのこども。太鼓をたたき、部落あげての男たちの神境にあわせて踊り、そのうちトランス状態になると記されています。（『娘に語るお父さんの戦記』による）。トライ族の人びとにとっては神聖な神様だが、親しみやすい姿形であることと、この平和展を見守っていただくという意味を込めてシンボルとしました。

「ドクドク」バッジをつくる

府王野外活動センターの木を使って「ドクドク」バッジを作るワークショップ。

ラバウルはどこ？

日本からラバウルまで、地図の上を歩いてみる。南方戦はどこで戦われたのか。なぜ、そんなところまで出かけていったのか。

メディア・スペース

ビデオ／コンピュータで、資料を見る。

年譜／歴史年表

水木さんの半生と時代の流れを並べてみたら？

資料コーナー

水木しげるさん、南方戦、ニューギニアの文化にふれる資料を用意。

ボランティア・スタッフ

愛称／ドクドク・スタッフ
（）安達艶代（）竹内絵梨子（）日下部和子
会場でみなさんのお役に立ちます。

○水木（みずき）しげる氏プロフィール○

水木しげるさんは、本名=武良茂（むら・しげる）1922年、鳥取県境港市に生まれました。三人兄弟の二番目で、二歳違いのお兄さんと、弟さんがいます。幼ない頃、銀行員だったお父さんから、グリムやアンデルセンを、その後、お手伝いさんの“のんのんばあ”から、現実とからめた不思議話を聞いて育ちました。

1942年、召集されて陸軍の兵隊になります。やがて、ラバウルでの戦争に送られ、爆撃にあって左手を失ってしまいます。

戦争が終わってからは、紙芝居や貸本漫画の絵を描いて生活しますが、苦しい時代が長く続きました。

1966年、『テレビくん』で講談社児童漫画賞を受賞。以後、『ゲゲゲの鬼太郎』『悪魔くん』『河童の三平』など、数多くのまんがを生み出しました。これらの作品の多くは、アニメーション化され、いっそう多くの人たちがファンになりました。

また、妖怪を訪ねて世界中を歩く妖怪研究家としても知られています。その成果は『日本妖怪大全』『妖怪画談』『図説日本妖怪大全集』『水木しげるの妖怪図鑑』などの本にまとめられています。

1996年には、境港市で「第一回世界妖怪会議」を開き、進行役を務めました。今年も第二回目が開催されます。

戦争の最中もスケッチし続けた水木さんの戦争関連の著書には、今回の絵画展のベースになっている『娘に語るお父さんの戦記』をはじめ、『ラバウル戦記』『総員玉砕せよ』『トペトロとの50年』『コミック昭和史』などがあります。1995年には、これらの作品から、「第6回東京都平和の日平和展」の催しのひとつとして、「平和への祈り―水木しげる戦争体験絵画展」が開かれました。

生まれ故郷境港市には、地域振興のシンボルとして「水木しげるロード」が敷設されています。これは、日本の妖怪たちの精巧なブロンズ像を街路に巧みに配置したもので、地元と水木プロダクションが二年の歳月をかけて作成、1996年に完成したものです。1999年春には「水木しげる記念館」も開館の予定で準備が進められています。

水木さんを紹介した新しいものには、ラバウルの時代を中心に作られたテレビ番組「驚きもものき20世紀」や、『妖怪まんだら―水木しげるの世界』（世界文化社）などがあります。今秋には、講談社からCD-ROMも発売されます。

東京都調布市にお住まいです

↑ 提供―斎藤美紀



お化けにゃ学校ないけれど…

「ゲゲゲの鬼太郎」で知られる漫画家・水木しげるさんが「世界妖怪協会」を設立、その機関誌として季刊「怪」（角川書店）を創



水木しげるさん

妖怪協会できた

水木しげるさんら"発起人"

刊した。妖怪研究者の優秀な論文に、ポケットマネーで五十万円の奨励金を出して掲載するなど、本格的な「妖怪専門誌」を目指すという。

「世界妖怪協会」は、水木さんの故郷・鳥取県境港

季刊誌も創刊　研究論文には奨励金

市で昨年から開かれているシンポジウム「世界妖怪会議」を母体に生まれた妖怪ファンと研究者の集まり。博物学者で作家の荒俣宏さん、妖怪ミステリーで人気の作家・京極夏彦さんも参加し、その活動の手始めとして、三人で同誌を創刊した。

「怪」はB6判、創刊号は三万部。水木さんの漫画や京極さんの小説のほか、第一回の奨励金受賞作として、山田陽一・広島大助教授（民族音楽学）のニューギニアの精霊信仰に関する論文を掲載している。

➡読売新聞　協力／蒼樹みずほ

⬅あの「ガロ」が廃刊

はおおいにあり得る」

不憫なのはプリンス？ To

社長のなり手がいなくて名門漫画誌「ガロ」廃刊

水木しげる、白土三平、つげ義春、蛭子能収。輩出した人気漫画家は枚挙にいとまなく、南伸坊や渡辺和博といった才人を編集長に迎えたこともある――。

一九六四年の創刊以来、常に最前線の漫画を掲載してきた『ガロ』が、事実上その三十余年の歴史を終える見込みとなった。

「ガロを発行する『青林堂』の編集スタッフが、全員辞めてしまったんです」

出版関係者が言う。青林堂は九〇年にコンピュータソフト会社『ツァイト』に買収され、同社の山中潤氏が社長に就任。今回の騒動は、その山中氏の事業失敗に端を発する。

「ガロ自体は好調なのに、膨大な借金を負ったことでツァイトが人手に渡った。関連会社である青林堂の経営にも畑違いの資本が乗り込んで来そうになり、スタッフが反発した」

青林堂だけは手元に残したかった為か、山中氏は社員に社長就任を促したり、「すぐ代表取締役になってくれる人を探せ」と命じていたという。が、火中の栗を拾う人はいなかった。



山中氏ともツァイトの新社長とも決別した七人のスタッフは、新雑誌創刊を準備中。とはいえ商標登録されているため、ガロの名は使えなくなる。

「名前が無くなるのは残念ですが、その精神を継承して欲しいですね」

と、評論家の呉智英氏。ガロの功績を漫画史に特筆されると評価している。

「多くの原石の中から宝石を捜し出し、他の漫画誌上でも輝かせた。また商業主義にのらない作品にも発表の場を与えてきた。漫画文化が豊かに育つためには、ガロが必要だったのは間違いないですから」 To

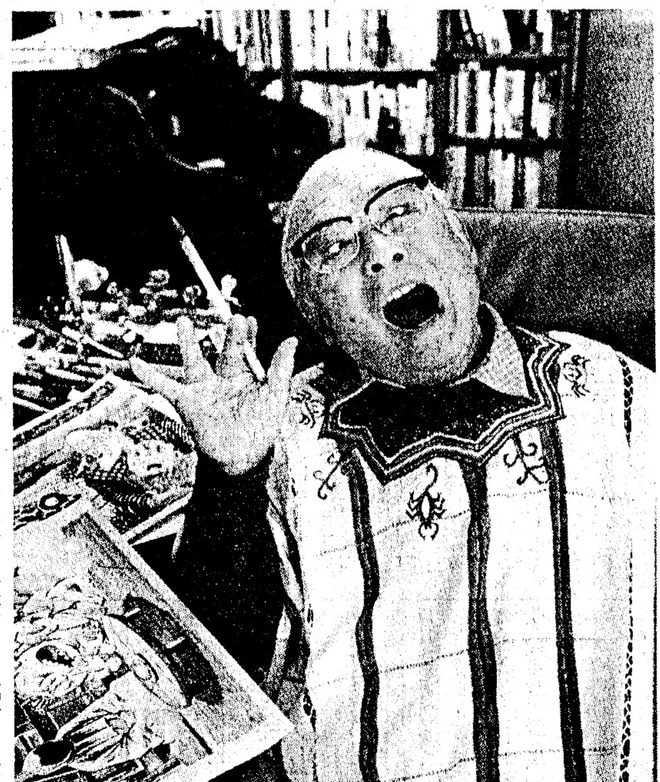


交遊サーフィン

<108>

水木しげるさん 75（漫画家）

お化け大好き、怪しいウオッチャー



「ウッヘー、と驚くことが増えた。お化けのせいだ」（東京都調布市の事務所で）

「ゲゲゲの鬼太郎」の生みの親。同人漫画誌「ガロ」の中心作家だった。妖怪にまつわる世界の民俗を研究。

「最近、周りに怪しい者が集まるんだ。日本語をしゃべるから日本人のようにも見えるけど、本当に人間なのか、お化けなのか」

その一人と目される作家荒俣宏さん（50）は「怪しい者とは、妖怪アンテナの感度がいい人のことですよ」と教えてくれた。なんでも目に見えないものを感じ取る力のことだとか。

昨年、荒俣さんらと作った季刊雑誌「怪」の第一号が今月半ばに出る。まとめ役を務める作家でデザイナーの京極夏彦さん（34）は「水木さんこそ妖怪の親分」。

土曜、日曜も仕事場に通って妖怪漫画や戦記漫画を描き、昨年、「世界妖怪協会」を設立。忙しくなる一方だ。「この年になって、どうしてこんなに仕事をしているのか、自分でも分からない。きっとお化けがボクを働かせているんだ。見えない力でね」

探求心が強い。何でもこの目と耳でと、世界を旅してきた。山田陽一・広島大学学校教育学部助教授（42）とは一九九五年、ニューギニア奥地にワヘイという少数部族を訪ね、「音楽を使い、夜通し精霊と交信する」様子を目撃した。

出身地が同じ鳥取県境港市のノンフィクション作家足立倫行さん（49）とは、米国で先住民とともにテント生活。「物や音楽に込められた霊的な力を見抜く感覚は、だれよりも鋭い」と足立さん。

昨年は、メキシコで死霊を弔う儀式に立ち会い、「お化けを一杯、連れて帰ってきた」。宗教的な意味を持つ仮面や装身具のことのようだが、「いや、あれはお化け」と譲らない。長年集めた「お化け」たちを収める「水木しげる記念館」は来春、境港市にできる。

南の国が好きだ。物の怪たちの密度が高いからかも知れない。だが、ロシアなどのシャーマニズム（霊的な存在との交流を中心にする宗教現象）を巡って、憑霊研究の第一人者、駒沢大学文学部教授佐々木宏幹さん（67）と論議するのは楽しい。宗教学者中沢新一さん（47）とは「お化けで満杯のネパールに一緒に」と誘い合っているものの、まだ果たせない。

ある調査機関によると、今年は「目に見えないものが注目される年」だという。「目に見えないもの」を追い求めてきた水木さんたちにとっては、おおいに歓迎だ。

学歴も地位も貧富も関係なし。そんなお化けの目で人の世を眺めるのが、妖怪ウオッチャーたちには面白い。先行き不透明な時代にはなおのこと。（畑）

➡ 読売新聞　協力／蒼樹みずほ

連載33

小宮悦子のおしゃべりな時間

Talkative Time

マレーシアの奥地から妖怪を百五十ほど買って持って帰ってきた。

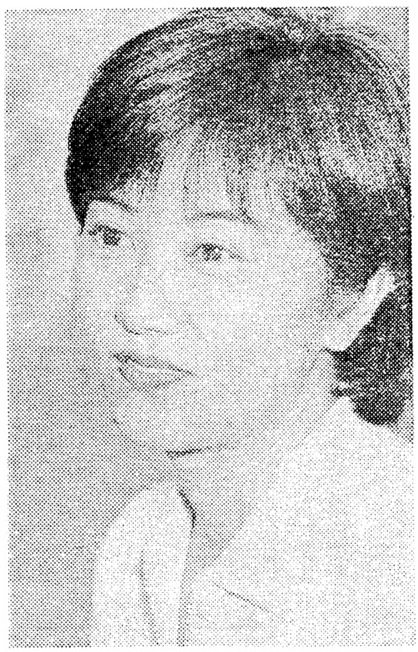
「ゲゲゲの鬼太郎」人気で、復刻本ラッシュ、夏のイベントなど、大忙しの水木しげるさん。一日十六時間労働に加え、年に数回は妖怪探しの旅に出るというから、そのパワーはまさに人間離れしています。今回は妖怪グッズに囲まれた仕事場からお送りする、夏の終わりの「妖怪譚」。小宮さんの妖怪体験も飛び出しました。

小宮　すごいですね、このお部屋は！　ゲゲゲの鬼太郎をはじめとする妖怪のキャラクターグッズが棚にギッシリ詰まってて。

水木　ここにあるのは、十分の一ぐらいですよ。まだ倉庫にいっぱいあります。

小宮　実は私も塗壁のキーホルダーを持ってます（笑）。

水木　最近はものすごいですよ。境港でもつくっているでしょう。



小宮　水木さんが育った鳥取県の境港市は妖怪で町おこしをしてますね。水木しげるロードがあって、妖怪のブロンズ像が八十体も並んでいるんですよね。一度行ってみたいと思ってるんですけど。

水木　われわれの世代は役に立たんものはムダという考えだから、いまのキャラクター商品なんかはなかなか理解できない。

小宮　「ゲゲゲの鬼太郎」のアニメはいま大人気ですが、もう四回目になるんですよね。

水木　そうそう、連鎖反応で本が復刻したり、いろんな催し物をやるから……。

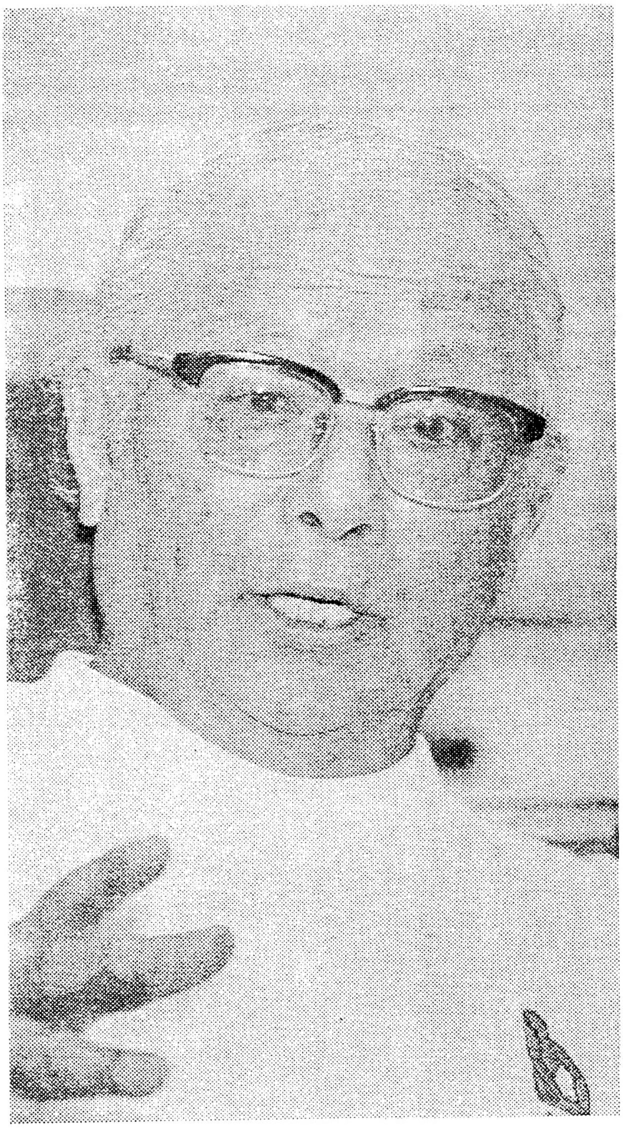
小宮　お忙しいですね。

水木　私は、人生の設計図を書いていたんですが、その設計図とはどんどん違った方向に向かって、年とってから爆発しちゃった。だから戸惑っているんですよ。

小宮　もうそろそろ、のんびり暮らしたいとおっしゃっていますね。

水木　それが常に頭にありますけれど、いろんな話が思わぬところからやってきますからね。

小宮　イベントや本の復刻のほかにもあるんですか？



21世紀へのメッセージ

ゲスト 水木しげる

みずき・しげる　漫画家・妖怪研究家　一九二二年鳥取県生まれ。武蔵野美術学校中退。ラバウル戦線から生還後、紙芝居、貸本漫画などを経て「ロケットマン」でデビュー。代表作に『ゲゲゲの鬼太郎』『悪魔くん』『河童の三平』など。九一年に紫綬褒章を受章。

水木　妖怪城をつくるとか。

小宮　妖怪城!

水木　面白いですよ。石とコンクリートで外側をつくって、妖怪の像を八十ぐらい配置して、中を博物館にするというんです。

小宮　それはどちらに?

水木　広島県の三次(みよし)市です。ここは『稲生物怪録(いなふぶっかいろく)』という妖怪話で有名だけど、それに出てくる祟(たた)り石というのがあってね……。

小宮　あっ、知ってます。触ると何か悪いことが起こるっていわれている石ですね。

水木　あれはすごいです。私は祟り石に触って帰ってきたんですよ。そうしたら三次市から「妖怪城をつくりたい」ってやたらに言われるようになった。

小宮　水木さんの事務所の入り口に「世界妖怪協会」の看板がかかっていますけど、日本から熱帯のジャングルまで、世界中いろんなところで妖怪の研究をしてらっしゃる。

水木　そういう話ばかりですけど、私は、名刺にもあるように冒険家なんです。誰もその方面のことは書いてくれないけど。

小宮　本当ですね。「妖怪研究家」「漫画家」「作家」とあって、筆頭にあるのが「冒険家」の肩書です。毎年どこかに行っていらっしゃるんですか。

水木　年に二、三回は出かけます。

小宮　やっぱり妖怪の話をお聞きしたいのですが、いままでで妖怪の多い場所っていうと、どこになりますか?

水木　マレーシアの奥地に見たい夢を自由に見ることができるというセノイ族が住んでいるところがあるんです。そこは本当に妖怪が多いんです。彼らは山の中に住んでいて、そこには妖怪が七百くらいいるんですね。人口が七百人だと言っていたから、人間の数と同じくらいの妖怪がいる。私は百五十ほど持って帰りましたけどね。彼らは、妖怪を買って日本へ持って帰ってくれれば、文化が生き残ると喜んでくれました。

小宮　エッ! 妖怪を持って帰ってきた?

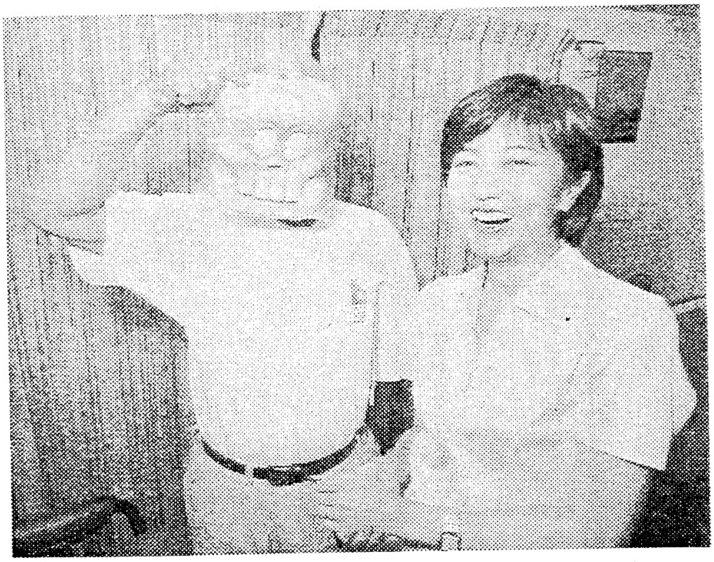
水木　約一㍍くらいの木彫りの。

小宮　妖怪の姿を彫ったものですね。ああ、ビックリした(笑)。

水木　その形がものすごく面白いんです。人間でもないし動物でもない。百五十のすべてがそうなんです。

小宮　彼らは妖怪を見ることができるんですか?

水木　妖怪の姿形の七、八割には伝統の形というものが受け継がれていて、残りの二、三割に、その時代時代のつくり手の意思が入る。日本では江戸時代に鳥山石燕(とりやませきえん)という人が妖怪を描いていますけど、私はそれに影響を受けて、それをもとにしていろいろ描いた。それと同じです。ただセノイ族は彫る人が老人



撮影／出版写真部　中村琢磨

で、若い人はダメなんです。

小宮　妖怪を感じる力がないということですか。それとも彫る技術がないんですか。

水木　ものすごく上手なんで、超える人が出ないんです。だからその老人が死んだらおしまいだろうと、遠い日本でやきもきしている。

小宮　いま妖怪がいちばん元気なのはマレー半島ですか。

水木　それを含めた東南アジアですね。

小宮　日本ではどうでしょう？　遠野あたりですか。

水木　やっぱり東北、それから沖縄。

小宮　妖怪は都会よりは田舎、森のあるところが伝統的な住処（すみか）なんでしょうか。

水木　妖怪は田舎ですよ。

小宮　東京はどうですか。

水木　東京はダメです。木や植物が多いところほど多いんです。

小宮　だからジャングルに行くんですね。

水木　初めは、日本の妖怪のことだけ研究していたんです。でも海外に行ったら同じものがたくさんいた。例えば、アフリカのマリの奥地で日本と同じ妖怪がいてびっくりした。「イエバン」という真っ黒な妖怪がいるんです。暗いところで、人間にパッと飛びついてくる妖怪なんですが、日本の妖怪にも二、三種類、似たようなのがいるんです。

小宮　水木さんは「妖怪千体説」というのを唱えているでしょう。国によって呼び名や姿は変わっても、地球上には大体千種類くらいの妖怪がいるんだと。

水木　世界を歩くと似たのがいっぱいいて、名称は違うけれども千種類で大体まとめられるんですよ。それでまず、手本を示すために日本の妖怪を千体描いた。それが『日本妖怪大全』という本になって、ボルネオに行くときに持っていったら、これがひっぱりダコですよ。

小宮　共通するところがあるから、この妖怪は見たことがあるとか、話が盛り上がっちゃう。すごいですね、妖怪の本がコミュニケーション・

すべてはわれわれが考えているよりも不思議なんです

小宮　妖怪は千体でおしまいですか？

水木　八百万（やおよろず）の神じゃないけれども、無限にいるかもしれません。でも人間の寿命は七十とか八十でしょう。その時間から考えても、とても一万も発見できませんよ。五百年でも生きれば話は別ですけどね（笑）。

小宮　水木さんなら分からないですよ。生きているかもしれない（笑）。自他共に認める水木さんのお弟子さん、作家の京極夏彦さんとお話ししたときに、「水木先生は妖怪の親玉みたいな人だ」とおっしゃってましたから。

水木　いやあ……（笑）。妖怪は、結局、口でしゃべるものじゃなくて、感ずるものですからね。オーストラリアのアボリジニは妖怪や霊と通信するためには、その姿を描くこと以外にないというわけです。本当にその通りだと思うんですよ。それがいちばん妖怪というものの本質をつかめる方法なんです。偶然私はその方法をやっていたわけだけど、どうも私一人の力ではないんじゃないかと感じているんです。

小宮　どういうことですか。

水木　絶対なにかの力が働いている。例えば、これから行く土地がどういうところか何も知らないで行っても、こと妖怪に関してはびっくりするほどの収穫があるんです。トラックいっぱいの妖怪の彫

ツールになっちゃう（笑）。

水木　こっちの話なんか聞かないです。アフリカでもニューギニアでも同じで、みんなものすごく熱心に見てる。

小宮悦子のおしゃべりな時間 Talkative Time

像を持ち帰ったり、それが本当に不思議なんです。

小宮　鬼太郎の妖気アンテナみたいなものがあるのかしら（笑）。

水木　どうもおかしいと思うようになったのは最近のことです。いい背後霊が憑いているんじゃないかと思うようになった。そういう妙なものがあって、自分以外のあるものが作用するという感じは、実際にあると思います。

小宮　これはぜひお聞きしたいと思っていたのですが、私、昔、座敷童子を見たことあるんです。

水木　ウワッハハハッ、見ましたか！

小宮　東京の世田谷のアパートなんですけど。夜中に寝室の六畳間の長い縁を、行ったり来たり、すごい速度で走っていたんです。絣の着物を着て、大五郎みたいな頭した男の子なんです。それが笑いながら走っているんですよ。

水木　それは座敷童子です、間違いなく。

小宮　前の夫が青森出身で、彼についてきたんじゃないかと思うんです。後に彼のところにも、まったく同じものが出たと聞きましたから。そういうことってあり得るんですかね。

水木　私が岩手で聞いた話ですけど、じいさんとばあさんが、月の夜には二階でよく座敷童子が二、三人集まって遊んどるよって言うんです。

小宮　二、三人ですか……。にぎやかですね。

水木　座敷童子が出ると有名な金田一温泉にも行ったけれども、私が行った時はいなかった。

小宮　岩手の有名な温泉ですね。私が見たのはなんだったんだろう……？

水木　だから、名前をつけると座敷童子ということになるわけです。人間は名前をつけることで分かった気持ちになるでしょう。われわれは妖怪というとなんでも名前をつけて規定してしまいがちですけれども、実際には、やっぱり名付けがたいものなんですよ。だから、考えてみると、憑きものっていっても、それが仮に宇宙人だといっても、結局は同じだと思う。言葉が変わっただけだと思うんです。

小宮　なるほど。

水木　妖怪とはなにかということを突き詰めていくと、やはり霊になるんです。霊というと、人はその言葉からいろいろに解釈するわけだけれども、実際にいる霊は、われわれが考えるよりも広い解釈をしていいと思います。

小宮　幽霊から精霊から、ということですか。

水木　そう。それで末端のほうは人が想像したり、ちょっとした体験をヒントにしてつくる場合もあるわけです。

イギリスのウォーレスという博物学者は「地球には宇宙の知性体というものがいて、形はないし、人間とはぜんぜん異なった発達をしているから、見ることもできないし、さわることもできない。そういうものがいる」ということを提唱した。その宇宙の知性体みたいなものを、人間は妖怪という形に感じたり解釈するんじゃないかなと思うんですね。

小宮　水木さんの偉大なところは、いままで妖怪といっても、名前だけしかなかったものに形を与えたことでしょう。例えば児啼爺なんて、柳田國男の本にほんの一行書いてあっただけで、統一した形というものはなかったそうですね。ところがいまや児啼爺といえば、水木さんの漫画が真っ先に頭に浮かんできますもの。

水木　絵を描いて形にすると、その妖怪をつかまえた気持ちになるんですよ（笑）。

小宮　絵は、ふっと思い浮かぶのですか。それこそなにかの力が作用する感覚？

水木　あれね、おかしいんですね。絵を描いている間は無心になるでしょう。そのことと関係があると思います。どう描こうとか、たいして意識しないのがいいのかもしれない。

私がコリン・ウィルソンさんに会った時に『日本妖怪大全』を渡したら、彼は、私のことをそういうものが見えるシャーマンだと思ったらしいんですよ。広く考えれば、絵でそういうことを表現するシャーマンがいてもいいわけですよ。

小宮　さっきアボリジニが絵を描くことで、霊と通信するという話が出ましたけど、それと同じですね。

水木　それで私はシャーマンなんだとハッとしたんですけどね。

小宮　水木さんの妖怪の絵は何ともいえない説得力があって、すごく好きなんです。いままで絵にしたもので、これはこれ以外にないだろうというような、ご自身で傑作だと感じた妖怪といったら、なんですか。

水木　妖怪の姿は、不思議と傑作とかよく描けたという感覚ではないんですね。ただ形を表現するということが至上命令で、それだけを命令されて描いているような気がし

ます。

小宮　でも、これじゃダメだと背後霊が言うこともあるでしょう、違うと。

水木　それはありますね。ただ、そういうことにならんように、背後霊みたいなものが命令しているかもしれないと思うんですよ。というのも四十年ぐらい前から描き出して、なんの意識もなかったけれども、絵の型がずっと同じなんです。まったく変わらない。だから昔に描いたものに新しいものを入れても違和感がないんです。

小宮　それは珍しいですね。普通少しずつ変わっていくでしょう。

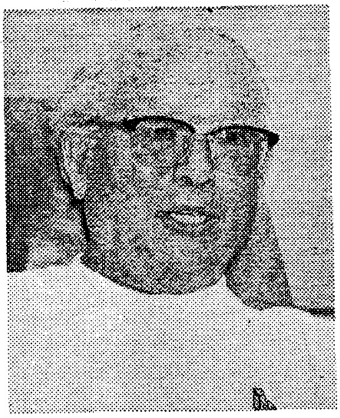
水木　そういうふうに霊が私をこき使っているわけです。

小宮　でも、みんなが親孝行してくれてる感じ、しませんか？　鬼太郎とか。

水木　いま、カネ儲けさせてくれるのは鬼太郎です。

小宮　孝行息子ですよね。

水木　有り難迷惑という感じなんですね。あまり稼いでも税金取られるし（笑）。



何でもおいしく食べて、女性はみんな美人に見える

小宮　四十年、ずっと妖怪を描いてこられて、この日本もずいぶん変わってきましたでしょう。鬼太郎がいままた大ブームになるような世の中って、どう思いますか。

水木　私も日夜不思議に思って考えているんだけど、分からないですよ。こういうことはまったく予想してなかったから、どうしたらいいか、対応の仕方がない。

小宮　なんででしょうねえ。

水木　悪いことじゃないからね。まあ、ニヤニヤ笑っているわけですけれども、どうなのかなあ。なんか不思議ななんかがあるような。

小宮　宇宙の知性体!?

水木　要するにすべてはわれわれが考えているよりも不思議なんですよ。あまり不思議だ不思議だと騒ぐと、差しつかえがあるけれどね。でも実際は人間だって不思議な存在ですよ。私という人間の体自身もわからんでしょう。

小宮　「生命」に関しては、科学でもまだまだわからないことだらけですね。

ところで、今年はどこへ行かれる予定ですか？

水木　秋にメキシコに行くんですよ。自由に遊びたいと思ってもまだまだ遊べない。

小宮　本当に遊べないらしいですね。

水木　遊べないですよ（笑）。

よく、好きなことだけやってうらやましいって言われますけど、いくら好きなことだって、無限に同じことを繰り返すというのはそんなに楽しいわけじゃないですよ。やっぱりご馳走はたまに食うからご馳走であって、毎日食っていればおいしくない。

小宮　ボヤキになってきた（笑）。

水木　キビシーですよ（笑）。人間は八時間労働でしょう。私はお休みもなく、十六時間労働なんです。

小宮　じゃあ冒険旅行に行くほかの楽しみといったら？

水木　食べることですかねえ。私はものが食べられないということがないんです。皿まで食べるという感じ。毎日人の倍ぐらい食べるけれども、それをそこで抑えるのが苦しいです。もっと食べたい。

小宮　好き嫌いもないですか？

水木　なんでも食べちゃう。

小宮　戦争で南方に行った時には、食べるものがなくて大変だったそうですけど。

水木　カタツムリをね、「これはフランスではエスカルゴといって高級な食べ物なんだ」って食べた。私はなんでもいちばん先に食べる。ほかにもヤシガニというのを焼いて食べて、エビみたいでおいしいってね。私が食べるとみんな食べる。後から知ったけど、それはサソリだったんですよ。幸い、毒がなかったからよかったけど（笑）。いまでもどんなジャングルに行って、どんな粗末な食べ物が出ても、なんでもおいしいです。

小宮　今年で七十五歳とは思えない生命力！　病気されたこともないんですって？

水木　ないですね。なんでもおいしいし、女性はみんな美人に見える（笑）。

小宮　やっぱり水木さんだったらあと四百年くらい平気で生きられちゃうような気がします（笑）。千体といわず八百万の妖怪をつかまえてください。

構成・野末友岐子
編集・仲條　満美

楽園学入門

猫みたいに楽して生きるというのが私の憲法

水木しげる

もともとらくして生きられればそれが最高と考えていたわけだが、半生はその逆にバカ苦しい人生になってしまったが、できたら、楽園か楽園みたいなところで暮らしてみたいという考えは今も変わっていない。

よく成功者とか、文豪とかいわれる人なんかが、死ぬ前まで働いてカッサイをあびているようだけど、私にはサッパリ分からない。

死ぬ時は、仕事なんかせずに、ゆっくり死ぬのが最上だということは猫でも知っていることで、ゆったり死んだほうがいいと思うが、どうしたわけか、日本人は畳の上で死なないとか、とかく短い一生を働き蜂みたいに、それこそ狂い死するほど働くのが美徳みたいにいわれているが、これも分からない。

では、なまけるのかといわれれば、そうかもしれないが、ただ、もう少しゆっくりやるだけの話だ。

まあそんなココロが反応してか、毎朝起きるのは午前十一時。厚さ五㌢のパンを食べる。あとは肉とシイタケを食べる。

二十年以上コーヒーをのんでいたが、去年インドに行ってから紅茶にしたぐらいが変わったぐらいで、二十五年ばかり同じ朝食いや昼食だ。

あまり変わらないので、家内を新宿の料理学校に一年間かよわせたが、別に味もよくならないしメニューは不変だった。

文句をいうけど、手ごたえもないから大儀になっていわない。

食後タバコを喫うのが唯一のたのしみだったが、七年ばかり前に仕事をしすぎて目まいがし、それ以来、医者にタバコをやめたほうがよいといわれて禁煙、今は何一つたのしみがない。

強いてたのしみといえば、人の大勢集まる会合なぞで、「オマンコ」というような言葉を何気なく口にして、相手がおどろくのをたのしむぐらいのことで、午前三時まで仕事をしている。

習慣というものはおそろしいもので、三十年近く同じような生活をしている。

三十年も同じ生活しているのならソレで満足しているのか、というと決して満足していない。

あるかないか知らないが、楽園といったようなところで、暮らしてみたいわけだ。

言説は不真面目みたいだけど、根が馬鹿真面目だから、毎年一回海外に楽園を求める旅に出ている。（遊び半分にみえるけどそうでもない）

きっかけになったのは、三十年前にみた南方の土人たちの楽園みたいな生活がわすれられないわけだ。日本の刻苦勉励社会はまちがっているのではないか、と思いながらいつも







土人の生活をみている。

「百聞は一見にしかず」という言葉があるが、行ってみてその土地をふめば、そこが楽園かそうでないかは、それなりに分かるような気もする。

初めは8ミリとか録音とか写真とかをとって、その楽園の空気を持ってかえることを心がけたが、やっぱりそれは画餅にすぎない、ということが分かり、地上に生まれたからには、その楽園に住むのが最上と考えたが、移住となると大変である。

第一いうことをきくと思っていた子供たちまでが、ぜんぜんその気がない。

二、三年たてば気も変わるだろう、第一子供たちいや妻までがオサナイのだ、と考えて二、三年まったが、楽園に移住するなどということは、わが家ではタブーにさえなりかけている。子供たちがいやがるのだ。

また、時たま講演をたのまれるので、「楽園について」語ってみたところ、反応がぜんぜんないどころか、若い者は手をあげて講演を中断させ、

「われわれは現在の日本の生活で十分満足してます」とか「私どもは人生経験が少なくてセンセイのいわれることが理解しかねます」

といった発言が続出。

私がいつしか、一人楽園病にとりつかれていることを発見しておどろいたわけだが、まあ、考えてみると、好きなことでも仕事となれば、やはり苦しみになるのかもしれない、だから、無意識に逃げ出したくもなるのだ。

それでいつしか、楽園病いや楽園欲求病になっていたのかもしれない。

冬は血液にコレステロールがたまっているとみえて、夜中まで仕事すると肩がこる。それを我慢してやっていると、目まいみたいなぐあいになるわけだが、そういう時は早く寝て、寝床で楽園について考える。

盆栽とか昔あった箱庭とかいうのも、考えてみると、楽園欲求の現れではないか、身近なところへ楽園を作る、という心が庭を作らせるのではないか、あるいは、空間をかざったり、異次元の園（その）みたいにすることも、楽園を身近なところに作るという心の現れかもしれない。

昔の極楽の絵をみると、たいてい花がたくさん咲いているが、花を咲かせるとか、花だらけにするというのも、案外人間の心を楽園めかせるものである。

よく最近のアメリカのカタログなんかみると、やたらに室内に花を咲かしているようだが、これは、楽園学というのができれば、その花編に該当することかもしれない。

てなことを考えて寝るとたいてい肩こりはなおっているが、楽園というのは、考えてみただけでもたのしいものだ。

それを本当に作るとした場合、などと夢の続編を仕事中に考えたりすると、能率がすこぶる悪い。

しかし人間は大昔から本能的に楽園を求める動物なのだ。

まあ楽園のことはそれぐらいにしておいて仕事のことなのだが、青少年の御機嫌をうかがう劇画が本業なのか、毎年夏になると急に忙しくなるお化け業が本業なのか、チョイチョイたのまれる随筆みたいなもの（これがまた多い）も本業か、よく仕事というのが分からないが、私は机に向かっていれば苦しむから、仕事だと思っているが、仕事というのは、食べられればよいわけで、食べるために仕事をするわけだ。

よく、人類のためとか、なにかそれ以外のことで仕事をする人があるが、私にはよく分からない。

幸運にもそれ以上もうかれば、それにこしたことはないわけだが、ただやたらに猛作というか、夜も寝ずに何十年も仕事をするといった気持にはなれない。

猫みたいにらくして生きるというのが、私の憲法みたいになっているから、仕事の少ない時はやたらに寝る。（二、三か月に二、三日しかないが）

十二時間ぐらい寝るととても気持がいい。しばらくは、楽園にいるような気持だ。

この楽園学も楽園社会学となってくると、ややこしくなってきて、あげくの果ては議論の中に消えてしまうかもしれないが。

いずれにしても、この私のやっている自由

業が、毎朝十一時におきて夜中の三時まで仕事をするというのが三十年近くつづいているということは、もう自由業ではなく、やっていることは、サラリーマン以上に拘束される猛事業である。

　だからいつしか、私の心の中に楽園病いや楽園学が芽生えたのだ。

　私は今日も十年一日のごとく、同じ顔をした妻の顔をみながら、同じ朝食をすまし、となりの仕事場まで足をはこぶ。

　仕事がないのも困るが、仕事がきすぎても苦しい。

　空は五月晴れで、鳥がたのしそうに遊んでいても、私は遊べない。

　自由業でなくて猛事業だから、毎日の仕事のリズムをこわしては、オソロシイ結果を招く。（まあ、人喰人種の中で生活していると思えばよい）

　裏の家に、いつも首輪をつながれたセパードがいるが、いつも面白くない顔してなにか考えているようだが、私も考えてみれば、裏のセパードと変わりはない。

　よく人に意味もなくほえかかるが、なんとなくそんなところまで似ているような気もする。

　ねたましいのは、いつも仕事場の前を通る自由な猫たちだ。

　ちょうど私の仕事場の前が猫の道になっているから、いつも自由に猫が散歩するのだ。町でみる猫と違って、わが道をゆく猫はのんびりとくったくのないあるき方だ。

　時々、立ちどまって部屋の中につながれた私を、私が裏のセパードを見るような目つきで見るが、私はセパードのように、うらめしそうに猫を見る。

　時たま、立ちどまって、人間様である私をじーっと不思議そうに見ていることがあるので、いきなり立ち上がって鉛筆でなぐるまねをするが、別に逃げない。

　猫はサッシのあることを知っているらしい。私が裏のセパードをバカにするような格好でゆっくり去るが、そうした時、本質的に猫と人間という区別がなくなるから不思議だ。

　案外、楽園学をかくとしたら、猫編は相当長い頁をさくことになろう、というのは、どうも猫の考え方が楽園学の鍵ではないかと思うからだ。

時代は少しさかのぼる。

六〇年、兎月書房刊『少年戦記』所収の水木しげる『決戦レイテ湾 第六部 壮絶!!特攻(8)』では、神風特攻隊の勇壮な悲劇が描かれる。ここでは、同じ時期のメジャー少年誌のマンガとくらべて、史実としての実名性がケタちがいに強調されている。



図1 水木しげる『決戦レイテ湾 第六部 壮絶!!特攻(8)』『少年戦記』60年刊 10p 兎月書房

《昭和十九年十月 レイテに上陸した 敵に対し 日本海軍は三方から 突入した。まず西村艦隊 スリガオ海峡に全滅 同時に東方から現われた 小沢機動部隊 エンガノ沖に死闘を展開》[図1]

という調子で、導入部の《今までのあらすじ》だけで五コマにわたり、戦況の解説をえんえんと詳細に語る。物語に入ったのちも一コマ分を文字で埋めた説明がしばしばなされ、孤立した艦隊を援護すべき航空隊にはわずか三十機の戦闘機しか残されておらず、敵艦隊を撃滅する任務を果たすために航空隊司令長官が、ついに「特攻」を決意するにいたる状況が語られる。

文章による説明を、まるで絵物語のようにマンガに挿入する手法は、白土時代劇が最大限に活用したものだ。初期手塚マンガが、文章よりも絵そのものですべてを語ろうとして確立した手法ののちに、史実のリアリティを与えるために劇画が復活させた手法でもあった[註1]。

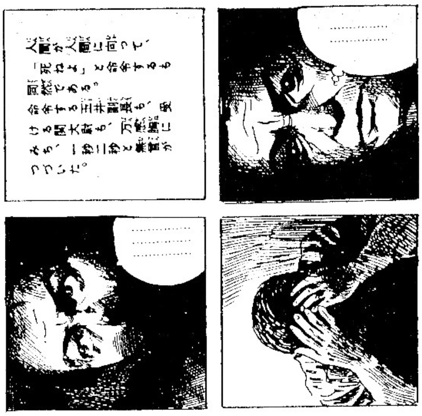


図2 同前 18p

水木は、その手法によって戦争の史実性(実名性)を強調し、メジャー少年誌の戦記物がむしろ曖昧にしようとした部分まで描きこんでいる。

この作品の前半は、戦況の説明と、特攻を命令する者と受ける者の苦悩描写だけである。苦悩する人物の顔は、当時少年マンガでは考えられないほど黒く塗りつぶされ、重苦しい沈黙を描きこんでいる[図2]。これは手塚をはじめとする少年マンガの、すっきり見やすい絵とは対照的だった。

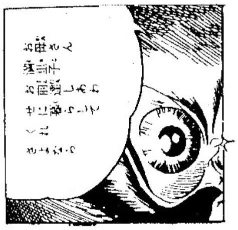


図3 同前 30p

特攻に飛び立った者の内心が描かれる数ページには、一コマ大のアップになった異様な目がくりかえし描かれ[図3]、強く心理移入を誘う。目はマンガの表情描写の核をなすもので、読者も目の表情を注視することになるが、それにしてもこの場面の目のアップによる強調は度はずれた印象を与える。

機内の表情描写の直後、敵艦に激突する。いわば戦記物としての見せ場が十数ページにわたる大ゴマの連続で描かれる。特攻する寸前まで、シリアスな人物のアップで悲壮さを強調しながら、戦闘機と敵艦の戦闘場面は、一転して人物のみえない戦闘描写に終始する。まるでドキュメント映像のような、奇妙に時間の止まったような描写。これがかえって迫力をうんでいる[図4]。

読者は、それまで人物の主観描写にひきこまれていた状態から、いきなり断ち切るような勢いで戦闘場面の客観描写に投げ出されるのである。この転換は、特攻隊長・関大尉が《全員 俺につづけーッ》と叫ぶ大ゴマでなされるが、このあたりの場面急転の荒々しさは、ざっくりした陰翳のあるペンタッチとともに、当時の他の少年マンガの及びもつかな





い迫力をつくっていた。

特攻機が空母に激突したのち、空母は沈没する。そのあとは何事もなかったかのような海面が二ページ見開きで描かれる［図5］。このおわりかたは水木マンガの常套手法である。人間的な出来事のすべてが、最後に何事もなかったような風景のなかにとけこんでおわるのだ。この手法は、水木の思想そのものといってもいい。手塚の『来るべき世界』のラストも、宇宙空間というSF的画像によって人間的物語の相対化を象徴した［図6］。が、水木のそれは視点がちがう。水木のラストは、あくまで人間と同じ水平の視線で風景をとらえているのだ。

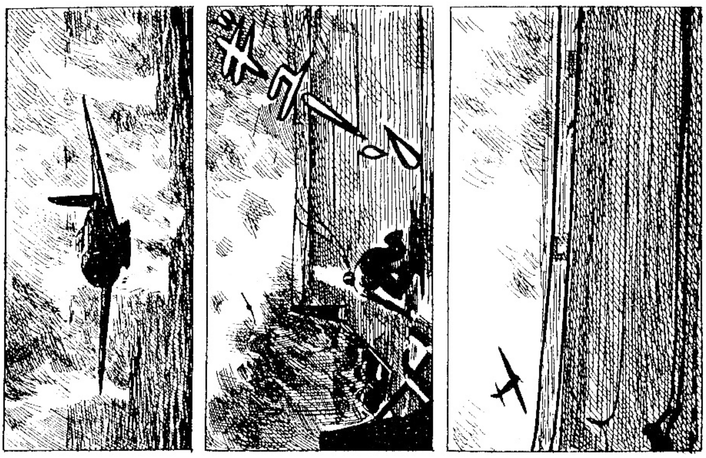
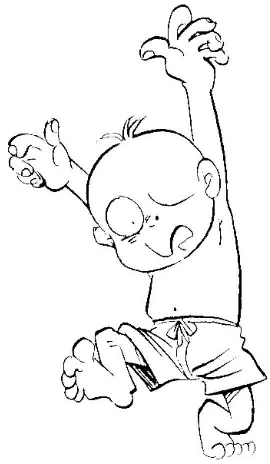


図4　同前　41p



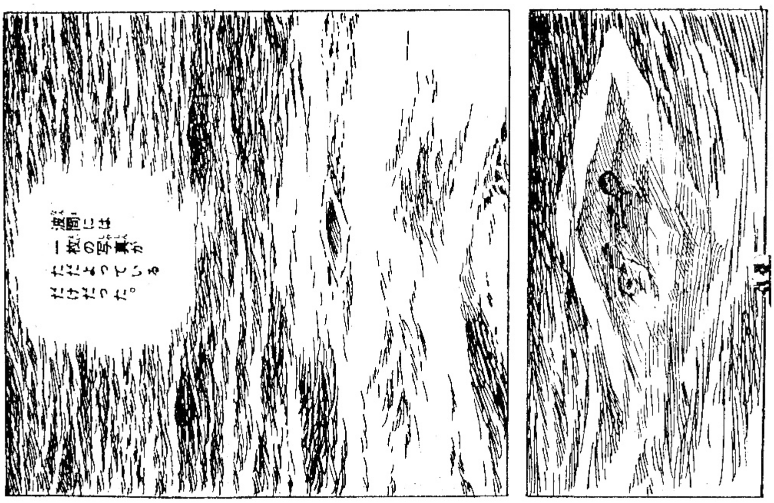


図5　同前　49p

また『壮絶!!』の最後には、この作戦の海軍省布告が加えられ、さらに特攻を指揮した関大尉の残された新婚の妻が実家に帰ったこと、母親が息子の死を信じずに帰りを待っていたこと、やがて窮迫して、息子の墓を建てる悲願も果たせず五三年に没し、同家は断絶したことまでが、すべて文章で語られる。

『紫電改のタカ』が、特攻に飛び立つ場面と面会にくる母親らの笑顔をラストに描いたこととくらべると、水木はもっともっと先まで「戦争」は尾をひくのだ、といいたげにみえる。水木のなかにある執着が、海に浮かぶ写真の場面で作品をおわらせず、戦後の後日譚まで書き込ませたのだろう。



図6　手塚治虫『来るべき世界』（前出）　手塚治虫初期傑作集3『ファウスト』420、

都合により図6は載せられません。ゴメンネ



註1　絵物語という、絵と文章を組み合せたジャンルは、手塚的物語マンガが主流になるまで、少年向け読物として大きな位置をしめていた。山川惣治『少年王者』（『おもしろブック』四九〜五六年）、小松崎茂『地球SOS』（『冒険活劇文庫』四八〜五三年）などがヒットした。

水木戦記マンガの面白さ

『壮絶!!』は戦記物ブームの頃の作品で、戦史にそった戦闘物である。いいがたい思いの迫力はあるが、水木の戦争体験そのものが直

接活かされた場面はなかった。しかし、彼が有名になってからの自伝的戦記物には、生々しい体験の描写が活きてくる。

とりわけ戦場の兵士たちの、死と生ぎりぎりの場面の描写は、手塚の理念的な戦争描写では達しえない迫真性があった。ことに戦争による兵士の死の描写は、まったく劇的でない。しばしば病死や輸送船の撃沈など、ふいにつまずいて転んだような偶然として描かれる。こうした描写こそ、水木の体験的戦記物の特徴なのだ。水木のうしろでボートにのっていた男が、音もなくワニに食われたり、手榴弾で魚をとっていた男が魚を喉につまらせて死ぬ描写など［図7］、さまざまな戦争「死」があることを水木作品は教えてくれる。



図7　水木しげる『総員玉砕せよ！』講談社文庫　95年刊　65p



『総員玉砕せよ！』（講談社、七三年刊、描きおろし）の一場面も、水木の自伝的戦記物の特徴をよくあらわしている。主人公たちの部隊が敵の銃撃から逃げるうちに、ある兵士が撃たれて倒れる。軍医の《遺骨を作るんだ》という命令で、水木に似た主人公が、まだ生きている兵士の指を切り落とし、当の兵士はその場におきざりにする［図8］。ここで非情にも立ち去る一人は、別に悪い奴でもなんでもない。むしろごく平凡な兵隊で、軍医は最後に玉砕を命令する参謀にくってかかる好人物でもある。

兵士たちは結構ずるい者であったり、まったく要領の悪い者であったり、いつも居丈高な上官が案外優しいところもあったりするが、それらは悪や善という倫理基準で描かれているわけではない。どの顔をみても、またその体をみても、ヒーローや悪党のかっこよさは微塵もなく、ただくたびれたふつうの人間たちがいるばかりだ。彼らの善や不善はどこまでも、ただ人間なんてその程度だという遠い目からみられたものでしかない。

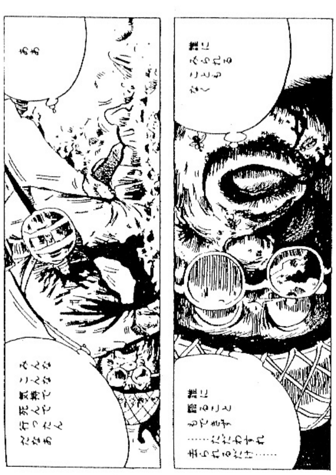

図8　同前　89p

そんな彼らが生きた戦友の指を切って置き去りにする描写は、そのあまりの「ふつうさ」によって、戦争という現場がいかに世間的な善や不善の倫理から離されてしまうかを印象づける。もしそんな場所に手塚マンガ的な過敏な自意識がいきあわせたら、劇的に悩んで泣き叫ぶかもしれない。手塚の倫理は、多分それをあたかも小さな不善であるかのように描くことを許さないだろう。けれど、水木のどこか浮世ばなれしてしまった頼りなげな輪郭線の人物たちは、もはや俗世間的な倫理からはじき出され、ふだんの表情とさほどかわらずに戦場の点景としてその場を演じる。

逆にいえば、水木は戦争体験の圧力によって日常的な倫理、規範の場所からはるか遠くまで吹き飛ばされてしまったのではないか。水木は戦争末期、ニューギニア戦線に送られ、左腕を失い、九死に一生をえて帰ってきた。南方のジャングルや原住民に親しみと慰安を感じながら、同時に地獄をみてきた［註1］。もともと浮世ばなれしていた本人の資質だけでなく、戦争体験の風圧が、水木に人間の倫理を超えた妖怪的異界の視線を強いたのではなかったか。それこそが水木の妖怪物の、「死」のとなりにある癒しのような安逸感をうんだように思えてならない。



異界の視線で世俗を遠く「見下ろす」のではない。世俗の善悪倫理を超えて、「死」を受け入れるのではないのだ。戦記物において水木は、妖怪世界のような超


図9　同前　350p

常的救いなどほとんど描かない。むしろ戦争「死」は、いつも救われない、世俗の人間の「死」である。『総員』の最後、主人公が死ぬ場面も、いかにもカッコ悪く情けなく《みんな　こんな　気持で　死んで　行ったんだなあ》と思いながら、死んでゆく［図9］。この「ふつうさ」こそが水木マンガの普遍性である。そして、そこでは英雄主義も犠牲行動の賛美も、物語の核心にはなりえなかった。

註1　このあたりの事情については足立倫行「妖怪と歩く　評伝・水木しげる」（文藝春秋、九四年刊）が詳しい。

「死」の恐怖とユートピア

手塚と水木のユートピア像を比較してみたい。

大正・昭和期モダニズムの夢が、敗戦後に架空SF的ユートピアとして復活したのが手塚マンガだとすれば、兵士として「死」を体験したときに誘発された土俗的な異界としてユートピアを描いたのが水木だった。だが、戦争体験と異界信仰が、水木の自伝的戦記物や妖怪マンガによって一種独特のユーモアへと奇跡的に昇華されるのは、戦後二十年近くをへた高度成長期のまったただなかだった。それまで水木は、戦争で死んだ人がいちばんかわいそうだと思って《人にあまり同情》できなかったと、足立倫行「妖怪と歩く　評伝・水木しげる」（前節　註1）のなかで語っている。

手塚マンガが敗戦直後に開花したのにくらべると、水木マンガは六〇年代なかばにようやく陽の目をみる。水木マンガが偶然売れなかったというより、六〇年代という時代がようやく水木妖怪物を受け入れたのだと思う。手塚と水木の資質的なちがいに加え、その戦争体験のちがいが表現する時代をも選択したのだ。水木の戦争体験は、かりにGHQの抑圧がなくても、ユーモラスな形をとるまでに長い時間を必要としたはずだ。

おのおのの戦争体験から導かれた戦争「死」の恐怖の形のちがいが、手塚と水木の資質を対極的な表現に導いた。単純化をおそれずにいえば、手塚は終生恐怖から「死」を拒否して「生きること」を選んだが、水木の「死」の恐怖のすぐ隣には、地続きで異界の安逸があった。「生きる」と「死ぬ」は、水木マンガの場合紙一重なのだ。前者が近代的な自意識の領分だとすれば、後者はより深層の土俗的な意識にちかしい。

水木マンガの土俗志向には、高度成長によって押し潰され、時代の後方へおきざりにされようとしていた何かが入りこんでいた。水木マンガが、六〇年代に突然花開いたようにみえるのは、じつは五〇年代から続く抑圧されてきたものの噴出と、六〇年代に加速していった高度成長とのきしみに、水木マンガが同調し増幅してみせたからではないか。

水木のアシスタントをしていたつげ義春の、土俗と近代がないまぜになったような風俗画像も、六〇年代の日本社会のねじれ感覚に同調していた。それは六〇年代後半から目立ちはじめる青年劇画の怨念表現とも並行している。

手塚の人工的ユートピア像とは対照的な、もっと実人生的リアリティにみちた描写が、水木やつげや他の劇画家たちの、荒く、暗さをおびた絵にはあった。が、劇画の怨念表現は、七〇年代に大友克洋などのあっけらかんとした中性的な感性にとってかわられる。そのなかで水木しげるが滅びなかったのは、やはり異界からくるような視線の距離感の大きさが、水木の怨念を透明なユーモアのようなものにかえてしまったからだろう。世俗的な人間の善悪なんて、そんなのたいした倫理じゃないよといいたげな水木の視線は、時代を超える普遍性をもっていたと思う。

戦後マンガ史に屹立する二人の作家、手塚治虫と水木しげるは、戦後マンガの戦争イメージに優れた表現の振幅をつくりあげた。あえて二人の共通点をいうなら、戦争「死」を絶対的に愚かなこととみなし、何はともあれ「生きている」ことを肯定する倫理だろう。両者の異なる表現の比較を通して、本当はまだまだくみ取るべきことがあると私には思え

てならない。

自意識のもたらす臆病さ
女々しさを抱えた幼い私に
手塚マンガは、それでいい
んだよ、人間ってそんなも
のなんだよといいつづけて
くれた。自意識があるって
ことが生きてるってことな
んだから、不安はお前が生
きていることと同じで、そ
れ自体とても貴重なことな
んだよ、と。

水木マンガは、戦争を正
義とする倫理も、世間的善
悪も、そんなのばからしい
といえる位相がどこかにあ
るんだよ、という慰安を感
じさせてくれる。戦争状態
にある国家がいかに愚かで
あるか、そんなものと自分
一個の生命をひきかえるの
がいかにつまらないかを、
本当につまらない戦争「死
の描写で示してくれた。

マンガと「戦争」P46〜P58
著者・夏目房之介



特集

水木しげるの妖怪伝®



1．妖怪伝を知っているのか？

九七年夏に、衝撃的なデビューをしたトレーディング・カード・ゲーム（以下ＴＣＧ）『妖怪伝』を君達は知っているのか？　水木先生の妖怪画を使用した三二二枚のＴＣＧは水木しげるコレクションの新しい分野を確立した。水伝スタッフ内では大ブレイクを起こしているが、読者の皆様はどうでしょう？水木しげるファンなら、ほとんどの人が興味を持ち、既に収集されている方も多いと思うが、元々水木しげるは漫画家なので、作品などの書物しか興味の無い方やアニメから入ったファンの方など、今いち、流れに乗り切れていない人もいるように思える。

このコーナーでは、そういったまだ『妖怪伝』を買っていない、興味の無い、そういう方にぜひ読んでもらいたい。『妖怪伝』の面白さ、貴重さを水伝ならではの角度から分析していきたいと思う。

（もう既に、『妖怪伝』を集めている方は「このコーナーは無かったもの」とお考えください。なんか、突っ込まれそうで…）

2．妖怪伝を集めよう！

『妖怪伝』は『妖怪画談』（岩波新書）などで知られる水木しげるの妖怪画をベースに対戦ゲームとして遊べるＴＣＧである。ルールを憶えてカードゲームをするのが基本だが、水木ファンならまず、コレクションとして集めるのが先決だろう。

カードは全部で三二二（最初に発売された基本版）＋一九六（追加版、百鬼夜行編）と特典用のカードが十数枚（非売品もある）なので全部一人で集めるには相当の出費が必要だ、この数字で挫折する方もいらっしゃると思うが、その前に、こういう集め方もあるので読んでいただきたい。

①　出にくいカード（レアと呼ばれる）はあきらめる。



本当に当たりにくい鬼太郎ファミリーの爺さん、婆さん



水伝編集部の調査の結果、最も出にくいカードが7枚あるとわかった、それは……

○鬼太郎 ●目玉親父 ○ねずみ男 ●砂かけ婆
○児なき爺 ●猫娘 ○ぬらりひょん

である。鬼太郎ファミリーと妖怪総大将だから人気が高く、どうしても手に入れたい気持ちはわかるが、この7枚を揃えるとなると相当の時間と出費がかかる。それにこの7枚が揃う頃には全部のカードが揃っていることだろう。相当のダブりが出ることになるが、とにかく、初めての人は、この7枚は「集まりにくい」と最初から腹を括ってかかるのがポイントだろう。それに気休めかも知れないが、この7枚のうち、砂かけ、児なき、ぬらりひょん以外の4枚は、絵的に価値が無い。つまり、人気キャラクターではあるが、カードに使用した絵柄が悪いのだ。

②
レアだから良いとは限らない！
そうなのである。鬼太郎も目玉も、そしてねずみ男も「もっと良いのがあっただろう」と思えるほど絵柄が悪い、それは他のレアカードにも言えることで、かに坊主、鵺、石妖、常元虫、泥田坊、井戸の神、等レアカードであるが、使用されている絵は未着色の物で苦労して当てた瞬間「なんじゃこりゃ」と吠えたくなるような代物だ。勿論、レアカードには良いものが多いが、必ずしもレアだから良いとは限らない！と言うことだ。

③
出やすいカードにも良品は沢山ある。
出やすいカードの事をコモン、アンコモンと呼んでいるが、こう言った出やすいカードにこそ良品はあるものなのだ。鬼太郎ファミリーの一反木綿、塗壁、人気のある大海獣、百目、個人的に好きなカワエロ、牛鬼、化け草履、がしゃどくろ、それに油すましやキジム



☜☞ 最後の1枚！になってしまった猫娘
と当たってもうれしくない井戸の神



ナー、一本ダタラ、河童も当たりやすいカードだ。こういった当たりやすいカードだけでも二百枚はある。初心者も、ちょっと財布を開けるだけで立派なコレクションが完成できるところが『妖怪伝』の魅力である。

④ 確実に揃えられるレギュラーカード

スターターズデッキと言う一箱千五百円のセットの中には六〇枚のカードが入っており、その内二〇枚はレギュラーカードと呼ばれる確実に揃えられるカードで更に人間カード2枚ルールカード3枚の二五枚は確実に手に入れることができる。それに残りの三五枚もそれぞれ違ったカードが入っていて、レアカードも数枚入っているのでこのスターターズデッキ一箱買うだけでも六〇種類のカードを揃えることができる。更に付け加えさせていただくが、このレギュラーカード二〇枚はスターターズデッキでしか揃えることができない。

レギュラーカード二〇枚

青―岩魚坊主、つらら女、海座頭、海和尚、水精の翁
緑―八百八狸、山婆、呼子、囀り石、くだん
赤―提灯小僧、天邪鬼、鬼女、お菊虫、朱の盆、
黄―長面妖女、枕返し、やまこ、野寺坊、逆柱

⑤ 色分けされているから綺麗

『妖怪伝』の魅力はカードが「化け物」「憑物」「助っ人」「人間」の4種類に分けられ、更に「化け物カード」は「青」「緑」「赤」「黄」の4色に分けられている。「青」は海や川、水に関係のある妖怪。「緑」は森林に出没する妖怪。草木の妖怪。「赤」は火の妖怪と鬼の妖怪。「黄」は化身。土。家に出没する妖怪。と分けられている。この色分けが大変美しく、バインダーに色分けで保存したらたまらない。著



☜☞ 良く当たる2枚。しかしカードとしての美しさは絶品！



者は河童等水の妖怪が好きだから「青」のカードを中心に集めている。種類が豊富だから色んな集め方ができるのが『妖怪伝』の特長だろう。

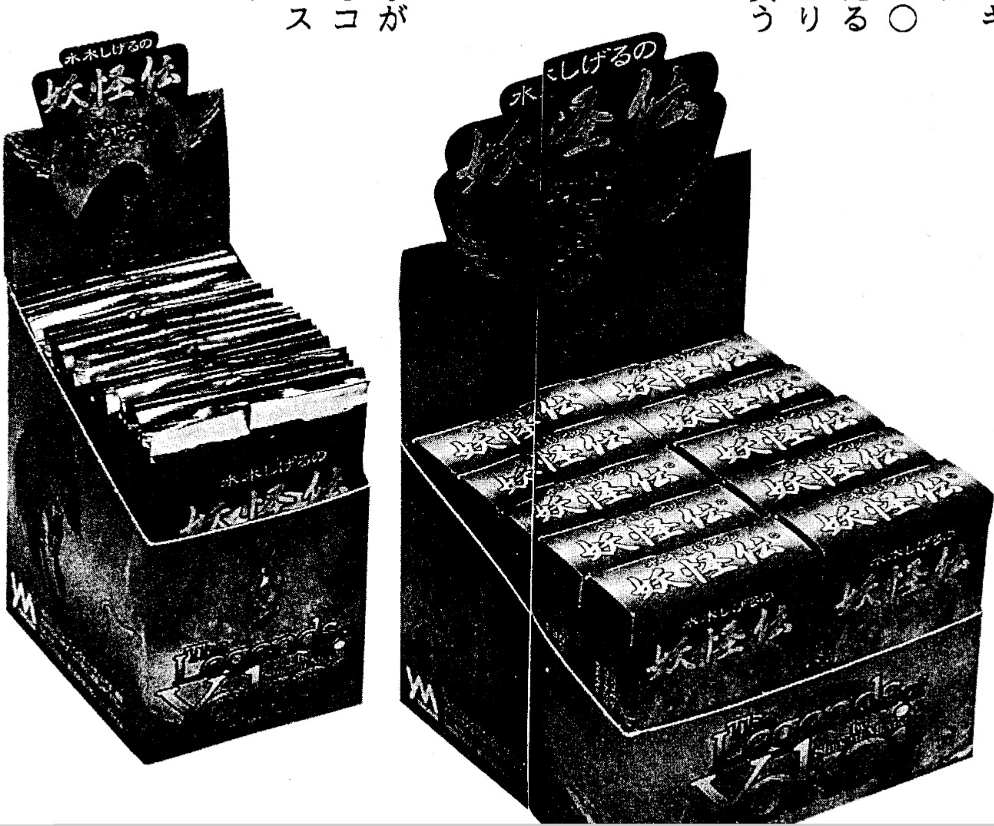
⑥初心者にお薦めする『妖怪伝』の買い方

④で紹介したスターターズデッキは一箱買っておこう、これでレギュラーカード二五枚は確実に揃う。後の補充はブースターパック(三六〇円)でコツコツと集めていこう。ブースターパック一箱二〇パックまとめ買いという手もあるが、レアカードを確実に押さえるには良い。しかし一箱のカードの配分が単調なのでたちまちダブりの山となる。一回三~五パック、できれば店も一回一回変えて買うのがダブりを少なくする方法だ。

　で、初心者の方のために、最初はこれだけは買っておこう…

●妖怪伝・スターターズデッキ　一箱……一五〇〇円
●妖怪伝・ブースターパック　2パック…三百六十円×二
●妖怪伝・バインダー「鬼籍帖」………二四〇〇円
●妖怪伝・公式ガイドブック…………二千円
●妖怪伝・公式入門マニュアル………四六〇円

※　ブースターパックは一パック十枚いり。個人の予算の都合もあるが三~五パックくらい買うのがベスト。新シリーズの「百鬼夜行編」もコツコツ集めていこう。公式入門マニュアルには特典用の「悪魔メフィスト」か「死神一〇六番」いずれかが入っている。妖怪伝・バインダー「鬼籍帖」には「河童の三平」が入っているのでぜひ買っておこう。



3.妖怪デュエルをしよう!

しかし、カード集めにダブりは憑物。いや付きもの。ダブったカードは友達と交換するのが基本だが、『妖怪伝』の良さはダブったカードでデュエルゲームが出来るところにある。ただ、難点はゲームのルールの難しさにあるのだが、実は、それを判り易くここで説明しようと思っていたのだが昨年末に、最も詳しいルールブック『妖怪伝・公式ガイドブック』(新紀元社=二千円)が発売された。この本を熟読することによってルールをマスターできるどころか、中級クラスのプレイヤーになれることができる。「ルールを覚えてゲームをしよう」と考えている方はスターターズデッキ一箱では無理。最低三箱は買っておこう。それはレギュラーカードが保存用以外に2セット必要だからだ。準備が出来れば身近な人にルールを教えてやりゲームを始めよう、ゲームをしなければ細かいところまで覚えられないからだ。いきなり「ゲーム大会」などの会場へ行って熟練者とお手合わせ願うととんでもないことになる。コテンパンにやられてしまい二度とゲームをしようなどと思わなくなるからだ。

4.最後に…

水木しげるファンとして、「やのまん」さんの『妖怪伝』のファンとして、勝手気ままに文を進めてきたが、これが正直な意見である。良いところは褒めるが悪いところも指摘する。製作社の「やのまん」さんには御不満な表現もあったかも知れないが、これも一つの意見として、今後の商品に反映させて頂ければと思います。また、読者の方々には、本当にこれを読んで『妖怪伝』に興味を持って戴けたらと思います。

文責・しげ幽鬼

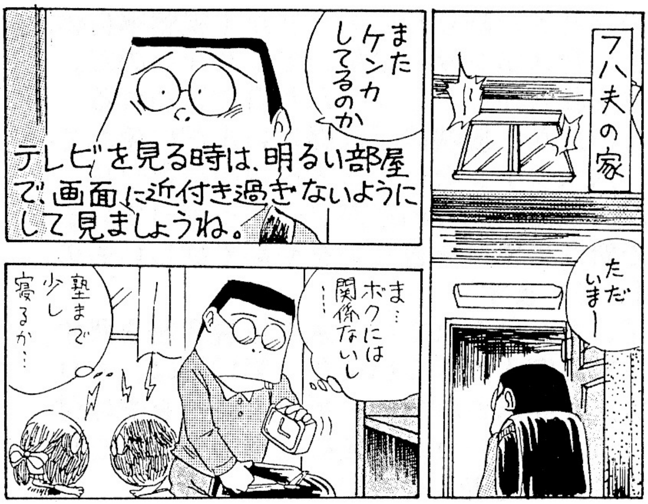


未礼じゃなくて夢霊!
本当にUCなのか?油すまし



お詫び

同局のアニメ「フハットモンスター」を見て、めまいがしたり気分が悪くなったお友達がいたので、急きょ番組の内容を差しかえる事になりました。ごめんなさい。



同人誌紹介

← キキキキキ(仮)準備号

😄 フハッの常連、古賀弘明、佐々木智美、竹内丈、大澤佳世、長澤美奈の競作

〒182-0006
東京都調布市つつじヶ丘1-47-27-
栗田コーポ203
佐々木智美(しげCHU)

↓ チオニチオチュ

😄 鬼太郎アニメ(1作から4作)のパロディ漫画本。灰汁が強いが面白い。

〒230
横浜市鶴見区上ノ宮1－10－22
長沢方ジャンガ

↶ まんじだらけ

😄 元水木プロの森野達也先生の公式データーブック。姉妹サークルAMIGO!制作だよ。

〒236-0054
横浜市金沢区能見台通 42-19
木村香織





編集後記

☺ もう始まってしまった1998年。昨年こそは「遅れた分を取り戻そう」と気合を入れたのだが結局駄目だった。「今年こそ！」と言いたいところだが、今年はスタートから悪い。会長の私が年頭すぐに肺炎でダウン！音信不通のスタッフも何名かおり状況は厳しいのだ。だから今年は誌面で大きいことを言わない。遅れている発行物はできるだけ早く仕上げるつもりだが、ここは控えめに今年の６月までに『水木伝説・怪獣漫画特集』(第９期会員発送分)と『水木伝説・怪奇スリラー特集』(第10期会員発送分)を。そして年内に『別冊水木伝説・駆逐艦魂』を発行したいと考えている。

☽ 昨年の９月だったか？現在放映中のアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」が放送終了すると聞いたのは。なんでもスポンサーのＢとＫが降りたいのだとか！視聴率自体は安定しているのだがグッズが売れないとスポンサーは付いてくれないのだ。アニメが放映されると水木しげる先生の収入がＵＰしブームも自然と訪れる。水木伝説も会員が増え言うこと無しなのだが、放映終了危機はいまだに免れていない！作品の好き嫌いはともかく、水木ファンなら、水木伝説の会員なら、ましてやスタッフなら盛り上げるのが当然だと思うのだが足を引っ張っている奴がいる。自分の感情を抑えて誌面で新作の悪口を書くのをやめて欲しいものだ！(注意すればするほど書くので困っています)

☆ 一応第11期の「フハッ」はこれで終了。あとは遅れている水木伝説３冊を残すのみなのだが、今年に入ってもまだ12期に突入できないのだ。第12期は、とりあえず『水木伝説・怪奇スリラー特集』が発送されてから更新手続きを受け付けます。もう既に「会費を送っちゃったよー」という方。先に12期の手続きを行いますのでこちらから連絡があるまで会費を発送しないでね。

☹ 突然連絡が途絶えたり、また殆ど連絡しない者や〆切を守らないもの。最近目立ちます。仏の顔も三度まで。会長！切れかかってます。

フハッ・第41号

{GEGEGE TOUR '97特集}

【特集！墓場鬼太郎】

★平成10年２月28日発行
★表紙／絵(水木しげる)、写真撮影(原嶋秀行)、レイアウト(大西いるす)
▲編集／馬場茂幸、吉田温代、北迫耕治
▲担当／高橋知和、米吉和久、木村香織、吉田良恵、文月廻、デーモン佐藤、幸治亮、竹内丈、日比野聖巳、佐々木卓
▲協力／石川明子、原嶋秀行、竹田勝二、川口彰敬、笠井友紀子、三柴友太、森本浩行、さるたせいいち、古賀弘明、柳葉蛙、斎藤美紀、福田淳一
★多謝／水木しげる先生、水木プロの皆様、株式会社・やのまん様
★印刷／太陽出版株式会社
制作・発行／水木しげるＦＣ・水木伝説
〒654－0151
兵庫県神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７号練７０９号室


3
召 喚
ガラッパ
Garappa
奄美大島などの南の島に棲む河童
に似た妖怪。頭には皿があり、始
終よだれを流していて、生臭い。
©水木プロ／YANOMAN 1997


4
召喚対空
貂
Ten
鼬に似ているが、鼬より知恵があ
るとされている。人を化かすこと
では、狐や狸の一枚上手をいく。
©水木プロ／YANOMAN 1997


貫通奪取
天井下
Tenjokudari
天井からいきなり落ちてくる女の
妖怪。姿を見せて、人を驚かせる
だけで、ほかには何にもしない。


3
召 喚
方相氏
Hososhi
黄金の4つの目の仮面をかぶり、
黒い衣と朱色の裳を着て、手に持
つ剣で疫病神や悪霊を追い払う。
©水木プロ／YANOMAN 1997


守護再
恐山の霊
Osore-Zan no Rei
恐山の菩提寺にある湯治の窓の外
には、会いたいと念じた人の霊が
夕刻に、あの世からやって来る。


2
麻 痺
あかなめ
Akaname
家人が寝静まった夜に、風呂場に
現れる。風呂場や風呂桶にたまっ
た垢が大好物で、ペロペロなめる。


5
無二防専
塗壁
Nurikabe
山道を歩いている人間の前に立ち
塞がり、行く手をさえぎる。棒で
下のほうを払うと、消えてしまう。


6
身代り 3 貫通
大海獣
Daikaiju
ニューギニアで発見された、3億
年前の生物で、鯨の祖先。不老不
死の肉体を持つと思われている。


8
生け贄 2 貫通
輪入道
Wa-Nyudo
車輪の真ん中に大入道の顔があり、
火に包まれつつ、方々を走り巡る。
見た者は、魂を抜かれてしまう。
©水木プロ／YANOMAN 1997